

14.3

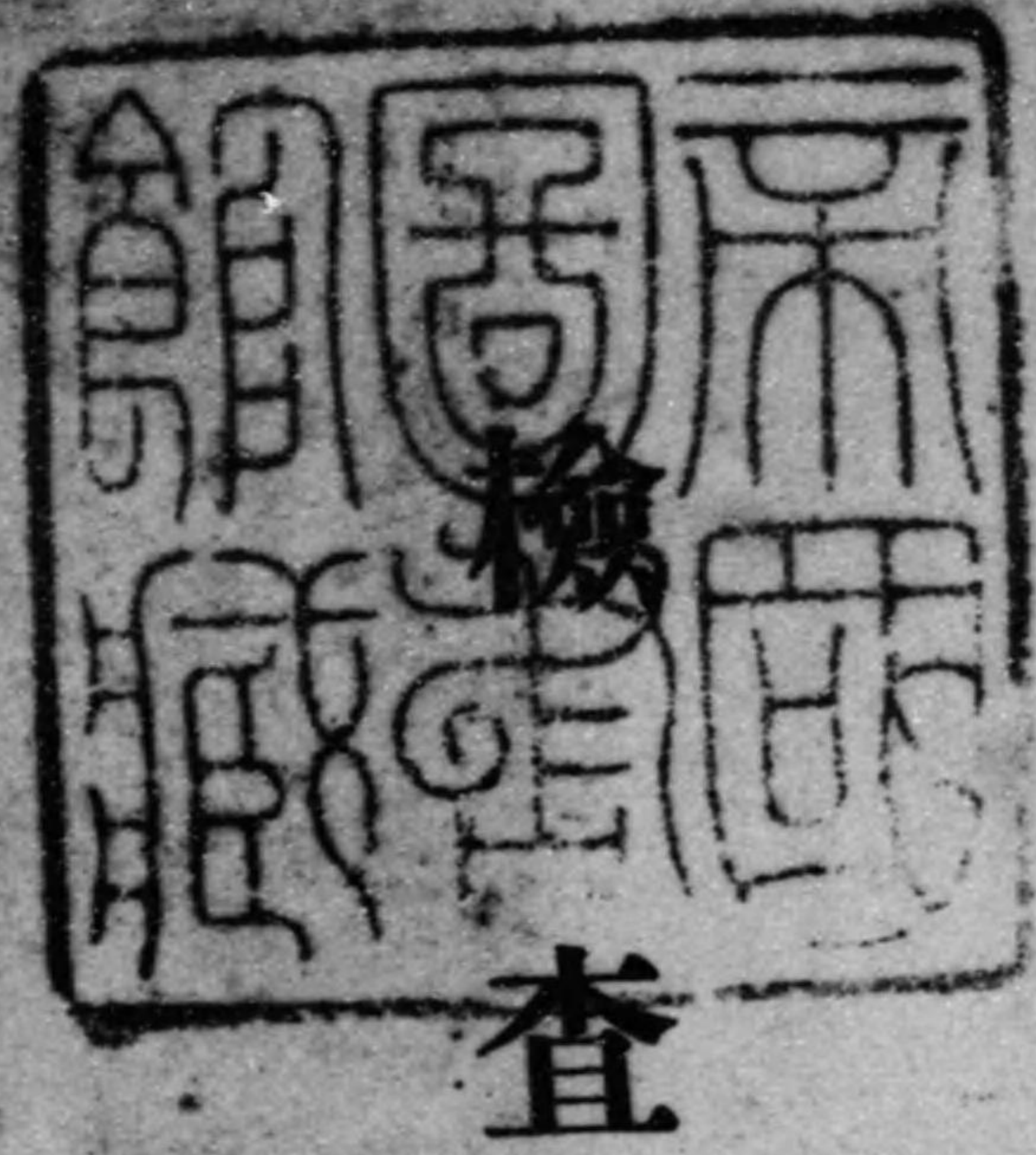
110

會計検査院長官房調査科編纂

検査報告

昭和七年度





検査報告

昭和七年度



會計検査院長官房調査科編纂

同
7候
寄贈本

正誤

既刊「検査報告 昭和六年度」

八九頁 五行目 傳染病豫防法施行規則

(訂正)

○傳染病豫防法施行規則(大正十五年四月一日)

第五十一條 傳染病豫防法第二十五條ノ規定ニ依ル國庫補助ハ左ノ區別ニ依リ州又ハ廳地方費ノ支出精算額(事業ニ伴フ收入

又ハ寄附金アルトキハ之ヲ控除シタル額ニ對シ之ヲ爲ス

- 一 「コレラ」「ペスト」ノ豫防ニ關シ特ニ要シタル費用及臺灣總督必要ト認メタル費用 二分ノ一
- 二 其ノ他ノ諸費 三分ノ一

143-110

凡 例

- 一、本書ハ昭和七年度歳入歳出決算検査報告ヲ集録シタルモノナルモ會計検査院ヨリ政府ニ送付セル歳入歳出決算検査報告トハ其ノ體裁ヲ異ニス
- 一、本書ニハ豫算及法律勅令違背ノ事項ニ對スル政府ノ辯明及貴衆兩院ノ決議ヲ併セ掲記セリ
- 一、本書中【報告】ハ検査報告、【辯明】ハ政府辯明、【貴決】ハ貴族院決議、【衆決】ハ衆議院決議ノ略稱トス

昭和九年六月

會計検査院長官房調査科

昭和七年度歳入歳出決算検査報告

目次

索引	一
昭和七年度歳入歳出總決算	一
昭和七年度各特別會計歳入歳出決算	一
決算額ト日本銀行證明額トノ對照	四
豫算及法律勅令違背ノ事項	五
一般會計	七
歳入	七
歳出	一四
内務省所管	一四
大藏省所管	一八
陸軍省所管	三二
海軍省所管	三三
農林省所管	三五
商工省所管	四〇
逓信省所管	四一
特別會計	四八

大藏省所管	四八
造幣局	四八
歳出	四八
印刷局	四九
歳出	四九
專賣局	四九
歳出	五〇
大藏省預金部	五四
歳出	五四
陸軍省所管	五五
陸軍造兵廠	五五
歳出	五五
海軍省所管	五六
海軍工廠資金	五六
歳出	五六
文部省所管	五九
學校及圖書館	五九
歳出	五九
農林省所管	六〇

米穀需給調節	六〇
歳出	六〇
商工省所管	六一
製鐵所	六一
用品勘定	六一
歳出	六一
作業勘定	六一
歳入	六一
鐵道省所管	六三
帝國鐵道	六三
資本勘定	六三
歳出	六三
用品勘定	六四
歳出	六四
收益勘定	六九
歳出	六九
拓務省所管	六九
朝鮮總督府	六九
歳入	六九

朝鮮鐵道用品資金	七四
歲出	七四
臺灣總督府	七七
歲入	七七
歲出	八一
臺灣官設鐵道用品資金	八二
歲出	八二
樺太廳	八四
歲入	八四
歲入	八四
豫算超過及豫算外支出	八九
既往年度	九一
既往年度未確定金額ノ檢査確定	九一
豫算及法律勅令違背ノ事項	九一
昭和四年度	九二
昭和五年度	九三
昭和六年度	九七
衆議院附帶決議	一二六
昭和七年度總決算未確定金額表	一二六
昭和七年度各特別會計決算未確定金額表	一二九

既往年度總決算未確定額中檢査確定金額表	一三三
既往年度各特別會計決算未確定額中檢査確定金額表	一三八

附錄

昭和七年度豫算及法律勅令違背事項別件數並金額表	一
-------------------------	---

索引

目次

(一)	租	五
(一)	税	五
(一)	歳入	五
(一)	租	五
(1)	徴收不足ニ屬スルモノ	五
(2)	徴收過ニ屬スルモノ	七
(3)	賦課徴收ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ	八
(二)	租税外歳入	八
(1)	徴收ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ	九
(2)	徴收ニ關シ監督其ノ宜シキヲ得サルモノ	九
(3)	土地竝物件ノ賣拂又ハ貸付ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ	一〇
(二)	歳出	一〇
(一)	賞與又ハ慰勞金等ノ支給	一一

租税外歳入
 租
 税
 歳入
 歳出
 賞與又ハ慰勞金等ノ支給

(一) 豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ……………二

(二) 工事ノ施行……………一四

(1) 措置其ノ宜シキヲ得サルモノ……………一四

(2) 請負契約ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ……………一五

物品ノ購入……………一五

(三) 措置其ノ宜シキヲ得サルモノ……………一五

(2) 豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ……………一七

(3) 豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ……………一八

(四) 補助金ノ交付……………一八

(1) 措置其ノ宜シキヲ得サルモノ……………一八

(五) 鹽ノ回送計畫其ノ宜シキヲ得サルモノ……………二〇

(六) 虚構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノ……………二〇

索引 目次

(一) 臨時國庫證券整理借入金ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ……………二二

(一) 租 稅

歲 入

(1) 徵收不足ニ屬スルモノ

所管局及	應名	摘 要	款	項	金 額	會計年度	報告頁
水道橋稅務署	水道橋稅務署	日本石油會社ノ營業純益額ヲ決定スルニ當リ非課稅營業ノ經費ニ屬スル鑛產稅ヲ損金ニ計算シタル等ニ因ルモノ	租	營業收益稅	三、六七五、三三〇	昭和五	(51) 九六
幸橋稅務署	幸橋稅務署	日本電氣會社ノ營業純益額ヲ決定スルニ當リ非課稅營業ノ經費ニ屬スル鑛產稅ヲ損金ニ計算シタル等ニ因ルモノ	租	營業收益稅	五、六一五、六八〇	昭和五	(54) 九九
永代橋稅務署	永代橋稅務署	日本電氣會社ノ營業純益額ヲ決定スルニ當リ非課稅營業ノ經費ニ屬スル鑛產稅ヲ損金ニ計算シタル等ニ因ルモノ	租	相續稅	二、五二四、五〇〇	昭和五	(55) 九九
神田橋稅務署	神田橋稅務署	日本電氣會社ノ營業純益額ヲ決定スルニ當リ非課稅營業ノ經費ニ屬スル鑛產稅ヲ損金ニ計算シタル等ニ因ルモノ	租	同	五、五九六、〇〇〇	昭和五	(53) 九八
		日本電氣會社ノ營業純益額ヲ決定スルニ當リ非課稅營業ノ經費ニ屬スル鑛產稅ヲ損金ニ計算シタル等ニ因ルモノ	租	所得稅	六、四六八、五七〇	昭和六	(53) 九七
		日本電氣會社ノ營業純益額ヲ決定スルニ當リ非課稅營業ノ經費ニ屬スル鑛產稅ヲ損金ニ計算シタル等ニ因ルモノ	租	所得稅	三、六二〇、八六〇	昭和五	(53) 九八

索引 租稅 徵收不足ニ屬スルモノ

(前) 五

所管局及	應名	摘要	租	税	項	金	會計年度	頁
品川稅務署	品川區松崎某ノ會社ヨリ受ケタル賞與ヲ脱漏シタル五年分所得額ヲ決定スルニ當リ脱漏シタル賞與ヲ六年度ニ於テ追加決定セザリシニ因ルモノ	品川區松崎某ノ會社ヨリ受ケタル賞與ヲ脱漏シタル五年分所得額ヲ決定スルニ當リ脱漏シタル賞與ヲ六年度ニ於テ追加決定セザリシニ因ルモノ	租	所得稅	所得稅	四、三三、五〇〇	昭和六	(53) 九八
澁谷區福澤某ノ會社ヨリ受ケタル配當所得額ヲ脱漏シタル四年分所得額ヲ決定スルニ當リ脱漏シタル配當所得額ヲ報告ニ於テ追加決定セザリシニ因ルモノ	澁谷區福澤某ノ會社ヨリ受ケタル配當所得額ヲ脱漏シタル四年分所得額ヲ決定スルニ當リ脱漏シタル配當所得額ヲ報告ニ於テ追加決定セザリシニ因ルモノ	澁谷區福澤某ノ會社ヨリ受ケタル配當所得額ヲ脱漏シタル四年分所得額ヲ決定スルニ當リ脱漏シタル配當所得額ヲ報告ニ於テ追加決定セザリシニ因ルモノ	同	同	同	二六、二九、八五〇	昭和五	(50) 九四
澁谷區鍋島某ノ會社ヨリ受ケタル配當所得額ヲ脱漏シタル四年分所得額ヲ決定スルニ當リ脱漏シタル配當所得額ヲ報告ニ於テ追加決定セザリシニ因ルモノ	澁谷區鍋島某ノ會社ヨリ受ケタル配當所得額ヲ脱漏シタル四年分所得額ヲ決定スルニ當リ脱漏シタル配當所得額ヲ報告ニ於テ追加決定セザリシニ因ルモノ	澁谷區鍋島某ノ會社ヨリ受ケタル配當所得額ヲ脱漏シタル四年分所得額ヲ決定スルニ當リ脱漏シタル配當所得額ヲ報告ニ於テ追加決定セザリシニ因ルモノ	同	同	同	三、六六、三〇〇	同	(50) 九四
同	同	同	同	同	同	五、一四、二一〇	昭和六	(53) 九八
同	同	同	同	同	同	二、一六、七六〇	昭和五	(50) 九五
同	同	同	同	同	同	四、六、一八〇	昭和四	(49) 九二
同	同	同	同	同	同	二、四、五〇	同	(49) 九二
同	同	同	同	同	同	一、六〇、四七六〇	昭和五	(50) 九四

(2) 徴收過ニ屬スルモノ

所管局及	應名	摘要	租	税	項	金	會計年度	頁
神戸稅務署	日本毛織會社ノ所得額及營業純益額中ノ損金タル税金引當金ヲ過當ニ計算決定シタルニ因ルモノ	日本毛織會社ノ所得額及營業純益額中ノ損金タル税金引當金ヲ過當ニ計算決定シタルニ因ルモノ	同	營業收益稅	營業收益稅	四、九三、五六〇	昭和七	(2) 八
西宮稅務署	紐育ナシヨナル、シチー、バンク神戸支店ノ所得額及營業純益額ヲ決定スルニ當リ支拂利子中資本金ニ對スル部分ヲ損金ニ計算シタル等ニ因ルモノ	紐育ナシヨナル、シチー、バンク神戸支店ノ所得額及營業純益額ヲ決定スルニ當リ支拂利子中資本金ニ對スル部分ヲ損金ニ計算シタル等ニ因ルモノ	同	營業收益稅	營業收益稅	一七、〇四五、九〇〇	昭和四	(49) 九二
西宮稅務署	西宮市辰馬某ノ四年分所得額ヲ決定スルニ當リ他人名義ト爲シタル株式ノ配當所得額ヲ脱漏シタルニ於テ之ヲ追加決定セザリシニ因ルモノ	西宮市辰馬某ノ四年分所得額ヲ決定スルニ當リ他人名義ト爲シタル株式ノ配當所得額ヲ脱漏シタルニ於テ之ヲ追加決定セザリシニ因ルモノ	同	所得稅	所得稅	二、六三、二七〇	昭和五	(50) 九四
石卷稅務署	齊藤株式會社ノ所得額及營業純益額ヲ決定スルニ當リ貸付利息等ヲ益金ニ加算セザリシニ因ルモノ	齊藤株式會社ノ所得額及營業純益額ヲ決定スルニ當リ貸付利息等ヲ益金ニ加算セザリシニ因ルモノ	同	營業收益稅	營業收益稅	二九、三二、七五〇	同	(50) 九三
石卷稅務署	同	同	同	營業收益稅	營業收益稅	四、八六、三〇〇	同	(50) 九三
名古屋稅務署	名古屋市笹田某ノ他人名義ト爲シタル株式ノ配當所得額ヲ脱漏シタル六年分所得額ヲ決定スルニ當リ同様脱漏シタル配當所得額ヲ本年分ニ於テ追加決定セザリシニ因ルモノ	名古屋市笹田某ノ他人名義ト爲シタル株式ノ配當所得額ヲ脱漏シタル六年分所得額ヲ決定スルニ當リ同様脱漏シタル配當所得額ヲ本年分ニ於テ追加決定セザリシニ因ルモノ	同	所得稅	所得稅	五、九七、六一五〇	昭和七	(2) 八

所管局及	應名	摘要	租	税	項	金	會計年度	頁
神田橋稅務署	麴町區中内某ノ貸付金利息ヲ過大ニ計算シタルニ因ルモノ	麴町區中内某ノ貸付金利息ヲ過大ニ計算シタルニ因ルモノ	租	所得稅	資本利子稅	二、一四、九七〇	昭和七	(2) 八
峰山稅務署	丹後縮緬精練會社ノ所得額及營業純益額ヲ決定スルニ當リ損金タル期末職員及従業員賞與金ヲ否認決定シタルニ因ルモノ	丹後縮緬精練會社ノ所得額及營業純益額ヲ決定スルニ當リ損金タル期末職員及従業員賞與金ヲ否認決定シタルニ因ルモノ	同	營業收益稅	營業收益稅	二、〇一、八四〇	同	(2) 九

歳出

(一) 賞與又ハ慰勞金等ノ支給

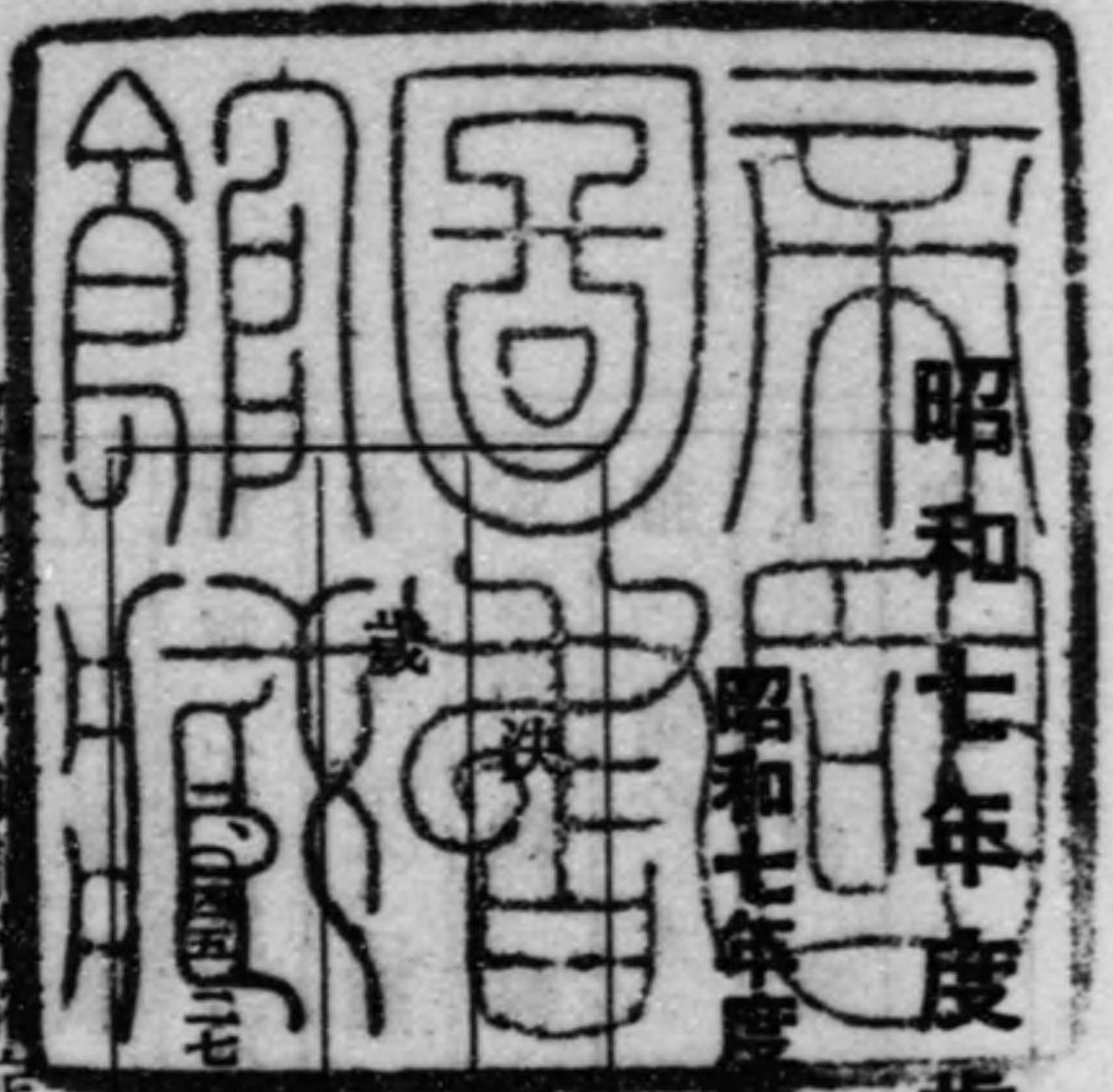
(1) 豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ

所管局及	應名	摘要	款	項	金額	會計年度	頁
大藏省	營繕管財局	掲出各廳ニ於テ官吏ニ支給セル慰勞金ナルモ慰勞金積算額ノ四倍乃至七倍ニ達スル支出ヲ爲シ且當然ノ職務ナルニ拘ラス營繕管財局ノ事務ニ關セリトノ理由ヲ以テ本省内他部局ノ官吏多數ニ對シ慰勞金ヲ支出シタルモノ	營繕管財局	事務費	一七、四七二、〇〇〇	昭和七	(11) 一九
大藏省	大藏省及東京外六稅務監督局	同	國有財產整理費	國有財產整理費	七〇、三六三、〇〇〇		
大藏省	大藏省	同	賠償事務取扱費	賠償事務取扱費	一八、六五〇、〇〇〇		
大藏省	大藏省	同	産業獎勵費	農事改良獎勵費	一七、〇二八、〇〇〇		
大藏省	大藏省	同	農村振興費	開墾及土地改良費	一〇、〇二九、〇〇〇		
大藏省	大藏省	同	産業振興計畫著手費	産業振興計畫著手費	三三、〇六二、〇〇〇		
大藏省	大藏省	同	農村經濟更生施設費	農村經濟更生施設費	一五、六三六、〇〇〇		
大藏省	大藏省	同	農林省	事務費	一八、九〇九、〇〇〇		(19) 三六

所管局及	應名	摘要	款	項	金額	會計年度	頁
農林省	農林省	各項豫算中ニ官吏ニ對スル慰勞金ノ積算ナキニ拘ラス之ヲ多額ニ支出シタルモノ	農林省	事務費	二二、三九四、〇〇〇		
農林省	農林省	同	特許局	事務費	三五、三二〇、〇〇〇		
農林省	農林省	同	貿易振興費	事務費	二二、一八五、〇〇〇		
農林省	農林省	同	調査及試験費	事務費	二四、五二五、〇〇〇		(21) 四〇
農林省	農林省	同	臨時産業合理局	事務費	一九、五八八、〇〇〇		
農林省	農林省	同	産業振興計畫著手費	事務費	三二、五五五、〇〇〇		
農林省	農林省	同	中小産業統制指導促進費	事務費	一四、二二五、〇〇〇		
農林省	農林省	同	造幣局	造幣局作業費	二七、八七八、〇〇〇		(25) 四八
農林省	農林省	同	印刷局	印刷局作業費	八三、四四〇、〇〇〇		(26) 四九
農林省	農林省	同	大藏省預金部	出大藏省預金部支	一一、二四〇、〇〇〇		(28) 五五
農林省	農林省	同	米穀需給調節費	事務費	三六、〇四八、〇〇〇		(33) 六〇

昭和七年度歳入歳出決算検査報告

昭和七年度歳入歳出總決算



本決算額ノ前記未確定金額ヲ除クノ外之ヲ検査確定セリ其ノ未確定ニ屬スルハ證明未済又ハ審理ニ對スル答辯未済ナルモノアルト犯罪事件ニ關シ尙審査ヲ要スルモノアル等ニ因ル其ノ款項ノ金額別表第一號表ノ如シ

昭和七年度各特別會計歳入歳出決算

部局別	決算額		未確定金額	
	歳入	歳出	歳入	歳出
對支文化事業	七、七九一、四九二 ^円	二、八二〇、一八九〇 ^円		一、六〇〇 ^円
健康保險	一七、一〇九、四四一	一五、五六八、四四一		
勞働者災害扶助責任保險	一、二〇七、〇七四	二四二、〇五八		
造幣局	四、一七七、六六三	三、二九六、三六四		
資金部	三、〇七〇、九三三	二、二五〇、九一六		
	四、四七四	三、三七四		

昭和七年度

部局別	決算		未確定金額
	歳入	歳出	
印刷局	七、八四五、〇六三	四、九六三、八一七	二、八八二、二四六
專賣局	三二一、八九五、九三三	一三〇、四四〇、六三四	一九一、四五五、二九三
大藏省預金部	二〇六、七二九、七六三	一三七、三二二、八四九	八三、四〇七、九一四
教育基金	二二、九八二、七九二		
國債整理基金	一、〇九〇、二九三、二七〇	一、〇五六、六七三、六七二	
公有債金	七三七、九三三、一三二	七三七、九三三、一〇五	
國有財産整理資金	六、五七九、一九一	五、八二三、六三五	七四六、三四四
教育改善及農村振興基金	七、八〇二、二九九	七、七二六、四五八	七五、八二六、八三三
陸軍造兵廠	四二、七三三、〇三八	三六、二四七、六〇七	六、四八五、四七〇
千住製絨所	二、九〇〇、〇七七	二、九三三、二七五	
海軍工廠資金	三四、八七二、九七七	三八、〇五四、五四九	三、一六八、四二八
海軍火藥廠	四、三四一、八六九	四、四五九、二五八	
海軍燃料廠	一五、二三三、五六九	一四、四九九、九九七	
帝國大學	二五、五〇七、五六三	二四、二五四、三二八	
資本金部	一、五九八、五二八	一、六八四、九三五	
官立大學	一二、五五九、七八一	一一、九三三、四六八	
合計	四六九、七八六、四三五	五一二、九〇九、五九七	三三三、四七六、八五八

部局別	決算		未確定金額
	歳入	歳出	
資本金部	四六九、七八六、四三五	五一二、九〇九、五九七	
學校及圖書館	一六、二八三、二七二	一五、八七六、九四五	六六、九五六、〇〇〇
米穀需給調節	六六四、〇二二	八二七、八八〇、八三〇	
家畜再保險	五五、一九五、四三九	四九、九三三、二四七	
製資本勘定	一五七、二二三	一三九、五二六、九三〇	
鐵用品勘定	二七、九五一、〇〇七	七、二四四、五二一	
所作業勘定	五三、六六八、八七六	五二、一九九、六三八	
簡易生命保險	一〇一、二七〇、一九七	八四、〇一七、八〇九	
郵便年金	一九八、九九三、二九五	九七、〇五五、〇六八	
帝國資本勘定	一四、二七五、九二六	三、四七〇、二一九	
國用品勘定	一一七、〇五八、九六六	一〇六、〇六六、〇九二	
鐵道收益勘定	一一三、八三九、四三〇	一一五、〇三〇、二七五	
朝鮮總督府	五三〇、九九五、七〇〇	四六九、九一六、一六三	
朝鮮鐵道用品資金	二二四、四四四、七二九	二二四、四四四、七二九	
朝鮮簡易生命保險	一四、六五七、四四三	一四、四五二、七四一	
臺灣總督府	四、八二五、六六五	一、九九三、二八四	
臺灣官設鐵道用品資金	一一〇、三〇三、二七八	九七、二四〇、二九四	
合計	四、六五三、一五七	四、六八八、〇一〇	二八、七六七、五〇〇

部局別	決算		未確定金額
	歳入	歳出	
關東廳	三〇、一三、〇四八、六六一	三三、九三七、六四九、二七八	一、〇、五八四、九四〇
神奈川廳	二二、六三八、四一五、五三八	二〇、八六三、七七八、四三六	五、〇、一、五九、〇〇〇
南 洋 廳	七、九五三、九八六、七七七	四、七三三、七四三、四八一	

右決算額へ前記未確定金額ヲ除クノ外之ヲ検査確定セリ其ノ未確定ニ屬スルハ證明未済又ハ審理ニ對スル答辯未済ナルモノアルト犯罪事件ニ關シ尙審査ヲ要スルモノアル等ニ因ル其ノ款項ノ金額別表第二號表ノ如シ
以上ノ外歳入事務管理廳タル外務省ニ於テ收入済ニ屬スルニ之ヲ歳入決算ニ編入セサリシモノ
一般會計ニ於テ 五九、三、一五〇、〇一一
對支文化事業特別會計ニ於テ 八七、三〇四
アリ

決算額ト日本銀行證明額トノ對照

總決算及各省決算報告書並各特別會計決算及各特別會計決定計算書ノ金額ト日本銀行證明額トノ對照ハ左記ヲ除クノ外符合セリ

事項	一般會計	特別會計	
		朝鮮總督府	南洋廳
歳入 決算額	二、〇四五、二七五、五六八、五七六	二二〇、三〇〇、七〇三、一八八	七、九五三、九八六、七七七
日本銀行證明歳入額	二、〇四五、一二六、五一二、三九三	二二〇、二八九、六五五、六七八	七、九五三、一〇二、八七七

内 容	増 減	
	増	減
本年度出納閉鎖期迄ニ拂込 ヲ了セサリシ金額	一五〇、七〇三、四九三	一一、三一〇、八四〇
本年度歳入ヲ翌年度歳入ト シテ誤納セシ金額	一〇六、八二〇	三三、一一〇
翌年度歳入ヲ本年度歳入ト シテ誤納セシ金額	一、七五四、一三〇	二、六三三、三三〇
差	一四九、〇五六、一八三	二、八八三、八九〇

豫算及法律勅令違背ノ事項

昭和七年度歳入歳出總決算及各特別會計歳入歳出決算ノ内歳入ノ賦課徴收及歳出ノ使用ニ於テ豫算又ハ法律勅令ニ違背シタル事項ハ一般會計ニ於テ二十八件百六拾七萬五千六百拾貳圓拾壹錢特別會計ニ於テ二十四件參千七百四拾七萬九拾五圓貳拾八錢合計五十二件ニシテ即チ左ノ如シ

一般會計

- 歳入ニ於テ
 - 租税ノ賦課徴收ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ二件 一、〇、〇三三、〇七〇
 - 租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ二件 一、二、七二七、六四〇
 - 租税ノ徴收過ニ屬スルモノ三件 二、四、二六〇、七二〇
 - 租税外ノ歳入ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ三件 七、七、六二二、七三〇
 - 租税外歳入ノ徴收ニ關シ監督其ノ宜シキヲ得サルモノ一件 一、二、一、四〇八、三三〇
- 合計十一件 一、一、八、三、六八、二二〇

歳出ニ於テ
昭和七年度

昭和七年度

補助金ノ支給ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ三件
 豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ三件
 工事ノ施行ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ二件
 物件ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ四件
 物件ノ製作ヲ請負ニ付スルニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件
 豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ一件
 其ノ他不當ナルモノ三件
 合計十七件

特別會計

歳入ニ於テ
 物件ノ賣拂ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ二件 一、二四五、〇九七五〇〇
 租税ノ賦課徴收ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件 四、四九〇八三〇
 租税外歳入ノ徴收ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ二件 三、八六六〇三二〇
 官有地ノ貸付ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件 五八七三〇〇
 官有地ノ拂下ニ當リ價格ノ決定其ノ宜シキヲ得サルモノ一件 一、二七、二〇四六〇〇
 合計七件 一、三二六、〇四〇五五〇
 歳出ニ於テ
 豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ六件 三、四三、七四、七四七二七〇
 物件ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ六件 一、五四〇、四二一〇三〇

六

工事ノ請負及物品ノ購入ニ關シ不當ナルモノ一件 一、〇五五九六〇
 虚構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノ一件 一、二二一〇四三〇
 物件ノ製作ヲ請負ニ付スルニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件 九二、〇九七七五〇
 補助金ノ支給ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件 一、三、八、九七〇五三〇
 其ノ他不當ナルモノ一件 四、五五、一七六〇
 合計十七件 三、六、一、五四、〇五四七三〇
 總計五十二件
 ナリ

一般會計

歳入

租税ノ賦課徴收ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ二件(一)(三) 一、〇、〇三三、〇七〇
 租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ二件(二) 一、二七、二七六四〇
 租税ノ徴收過ニ屬スルモノ三件(一) 一、四、二六〇、七二〇
 租税外ノ歳入ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ三件(四)(五)(七) 七、二六、一二七三〇
 租税外歳入ノ徴收ニ關シ監督其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(六) 一、二七、七五一一〇
 合計十一件 一、一、二、四〇、八二七〇

歳入經常部

第一款 租 税 第一項 所得稅

【報告】

(一) 本項ニ於テ神戸稅務署ノ徴收ニ至ラサルモノ 一、二六八、三九四〇
 第四項資本利子稅ニ於テ同署ノ徴收ニ至ラサルモノ 一、〇七三、五八〇

昭和七年度 歳入(一)

七

昭和七年度 歳入 (二)

アリ右ハダソツプ護謨極東株式會社ノ支拂濟ニ係ル昭和五年十一月及六年五月利拂期分社債利子五萬參千六百七拾九圓

【報告】ニ對シ税金ノ徵收ヲ脱漏セルニ因ルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【審明】會計検査院検査報告ノ通

但シ昭和八年度ニ於テ更正濟

【貴決】將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】不當

五、九七六^円一五〇

【報告】

(二) 名古屋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

アリ右ハ名古屋市西區笹田某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ他人名義ト爲シタル阪神急行電鐵株式會社外二十數會社ノ配當所得壹萬四千百拾圓ヲ脱漏シタルト昭和六年分所得額ヲ決定スルニ當リ同様脱漏シタル配當所得貳萬七千九百七拾圓ヲ所得稅法第二十六條第二項ニ依リ本年度ニ於テ追加決定スヘキモノナルニ之ヲ爲ササリシトニ因ルモノナリ

四、九二二^円五六〇

本項ニ於テ神戶稅務署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

一、八二八^円九三〇

第三項營業收益稅ニ於テ同署ノ徵收不足ニ屬スルモノ

アリ右ハ日本毛織株式會社 自昭和六年十一月事業年度分所得額及營業純益額ヲ決定スルニ當リ前期末積立金ニ屬スル税金引當金中當期減少額貳拾八萬參千八百拾九圓ヲ損金ト爲スヘキニ參拾參萬七千六百拾壹圓ト爲シタル等ニ因ルモノナリ

九、〇一八^円七五〇

名古屋稅務署ノ徵收過ニ屬スルモノ

アリ右ハ中華民國上海西川某カ豐田紡織株式會社ヨリ配當金拾貳萬貳百五拾圓ヲ受ケタルモノトシテ第二種所得稅ヲ徵收セルモノナルモ該配當金ハ事實名古屋市東區豐田某ノ所得ニシテ從來同人ノ所得額中ニ加算シアルニ誤テ第二種所得稅ヲ徵收シタルニ因ルモノナリ

二、二四九^円七七〇

本項ニ於テ神田橋稅務署ノ徵收過ニ屬スルモノ

三、〇〇〇〇〇

第四項資本利子稅ニ於テ同署ノ徵收過ニ屬スルモノ

アリ右ハ東京市麴町區中内某ノ所得額及資本利子額ヲ決定スルニ當リ貸金利子六千貳百八拾圓ヲ貳萬千貳百八拾圓ト爲シタルニ因ルモノナリ

一、〇二八^円八四〇

本項ニ於テ峰山稅務署ノ徵收過ニ屬スルモノ

七、六三三^円三六〇

第三項營業收益稅ニ於テ同署ノ徵收過ニ屬スルモノ

アリ右ハ丹後縮緬精練倉庫株式會社 自昭和七年七月事業年度分所得額及營業純益額ヲ決定スルニ當リ損金タル期末職員及従業員賞與金貳萬貳千四百五拾貳圓ヲ否認決定シタルニ因ルモノナリ

五、九七六^円一五〇

右ハ執モ取扱ノ過誤ニ因リ徵收上過不足ヲ生セシメタルモノニシテ不當ナリトス

【審明】

名古屋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

ニ關シ所得稅法第十四條第一項第四號ニ所謂法人ヨリ受ケタル利益ノ配當トハ株主又ハ社員カ其ノ株主又ハ社員タル資格ニ於テ法人ヨリ受ケタル收入ト解スヘキモノナルヲ以テ所得稅ノ課稅ニ於テハ株主名簿上ノ株主ヲ以テ所得者ト認ムヘク從テ當該稅務署長カ當初株式名義人ニ對シ所得ヲ決定シタルハ敢テ不當トハ認メ難キモ本件ハ既ニ納稅者ノ申出モアリタルヲ以テ昭和八年度ニ於テ適當ニ更正シタリ其ノ他ニ付テハ會計検査院検査報告ノ通

但シ會社解散シタルモノノ外昭和八年度ニ於テ更正濟

【貴決】將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】注意(名古屋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ 五、九七六^円一五〇) 不當(其ノ他)

(參照) ○所得稅法(大正九年七月三十一日) 法律第十一號

第十四條第一項 第三種ノ所得ハ左ノ各號ノ規定ニ依リ之ヲ算出ス

四 法人ヨリ受ケタル利益若ハ利息ノ配當又ハ剩餘金ノ分配ハ前年三月一日ヨリ其ノ年二月末日迄ノ收入金額(無記名株式ノ配當ニ付テハ支拂ヲ受ケタル金額)ヨリ其ノ十分ノ四ヲ控除シタル金額

第二十六條第二項 所得調査委員會閉會後第三種ノ所得ノ決定ニ付脱漏アルコトヲ發見シタルトキハ其ノ決定ヲ爲スヘカリシ年ノ翌年ニ於ケル所得調査委員會ノ調査ニ依リ政府ニ於テ其ノ所得金額ヲ決定スルコトヲ得

第五項 相續稅

【報告】

(三) 名古屋稅務署ニ於テ收入未濟ニ屬スルモノ

昭和七年度 歳入 (三)

九

六、二七四^円五五〇

アリ右ハ東京市小石川區奥田某ノ課税價格五拾萬貳千八百貳拾八圓ニ對スル税額壹萬四千九拾貳圓貳拾六錢ノ内未納ニ屬スルモノニシテ大正十年二月相續開始アリタルニ對シ十三年二月課税價格ヲ決定シ同年三月擔保ノ提供ナキニ拘ラス年賦延納ヲ許可シ十四年三月ニ至リ之ヲ取消シ同年五月滯納處分ニ著手セルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

名古屋市東區奥田某ヲ保證人ト爲スコトトシ年賦延納ノ申請アリタルヲ以テ之ヲ許可シタルニ同人ハ保證書ヲ提出セス其ノ後同區尾崎某ヲ保證人ト爲スヘキ旨申出アリタルモ同人亦保證契約ヲ爲サス依テ十四年三月年賦延納ヲ取消シ一時調定ヲ爲シタルモノニシテ此ノ間折衝ノ爲時日ヲ經過セリ

ト謂フニ在リ然レトモ年賦延納ハ相當ナル擔保物ノ提供又ハ保證人ヲ立ツルコトヲ要件ト爲スモノナルニ單ニ納税者ノ申出ヲ信シ保證ノ確否明ナラサルニ先チ之カ許可ヲ爲シタルモノニシテ失當ノ措置ナルノミナラス許可後擔保ノ提供ヲ遲滞セルニ拘ラス其ノ取消ヲ爲サス荏苒經過シタルカ爲財產ヲ散逸シ又ハ國稅徵收法第三條ノ優先者ヲ生シ未納額ノ大部分ヲ缺損處分ノ外ナキ状態ニ至ラシメタルハ措置其ノ宜シキヲ得サルモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

(參照) ○國稅徵收法(明治三十年三月二十九日法律第二十一號)

第三條 納税人ノ財産上ニ質權又ハ抵當權ヲ有スル者其ノ質權又ハ抵當權ノ設定カ國稅ノ納期限ヨリ一箇年前ニ在ルコトヲ公正證書ヲ以テ證明シタルトキハ該物件ノ價額ヲ限トシ其ノ價權ニ對シテ國稅ヲ先取セサルモノトス

第三款 官業及官有財産收入 第二項 森林收入

【報告】

(四) 北海道廳石狩支廳外四箇所ノ徵收ニ係ル

ハ北海道國有未開地處分法第二條後段ニ依リ賣拂ヒタル札幌外五市所在雜用地九十二町餘ノ代金六萬五千七百四圓六拾八錢ノ内ニシテ壹萬千九百貳拾五圓八拾九錢ハ八年度ニ收入シタルモノナリ右ハ昭和六年度検査報告ニ掲載セシ如ク既ニ開

五三、七七八、七九〇

拓セラレタル土地ナルニ之ヲ北海道國有未開地處分法ニ所謂未開地ト看做シ處分シタルモノニシテ措置當ヲ得タルモノニ非ス昭和六年度検査報告ニ對シ當局者ハ

處分土地ノ未開地ナリヤ否ヤノ認定ハ現況ノ既墾地タルト否トニ依リテノミ爲スヘキモノニ非ス拓殖乃至土地整理ノ必要上ヨリ廣ク解スヘキモノトシ多年實行シ來リタルモノナレハ此等處分土地ノ場合ニ於テモ北海道國有未開地處分法ニ依ルヲ妥當ト認メ處分シタルモノナリ

ト辯明スト雖同法ハ未開地ノ開拓目的ト爲スモノニシテ同法第二十一條ハ「拓殖上又ハ土地整理上必要アル場合ニ於テハ既ニ開墾セラレタル部分ヲ含ム土地ト雖本法ニ依リ處分スルコトヲ得」ト規定シ既墾地ト未開地トヲ一團トシテ處分ヲ要スル特別ノ事情アル場合ニ限り既墾地拂下ノ途ヲ設ケタルノ趣旨ニ照シ既墾地ノミヲ賣拂フ場合ニ於テハ本法ヲ適用スヘキモノニ非サルコト明ナリ而シテ本件土地ハ孰モ札幌、函館、小樽、旭川、室蘭、釧路等主要都市内ニ介在シ住宅又ハ倉庫ノ敷地等トシテ利用セラレツツアルモノニシテ其ノ現況ニ於テ毫モ未開地ニ非サルニ同法ニ依リ處分ヲ爲シ之カ代金ヲ國有財産整理資金特別會計ノ所屬ト爲ササルノミナラス開拓後相當年月ヲ經過セル熟地ニ對シ拂下ノ翌年ヨリ十箇年間地租ヲ免除シ且登錄稅ヲモ免除スルノ結果ヲ來スカ如キハ失當ノ措置ト認メサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス(昭和六年度(一)五頁參看)

【辨明】

處分土地ノ未開地ナリヤ否ノ認定ハ當局ニ於テハ現況ノ既墾地タルト否トニ依リテノミ定ムヘキモノニ非ス拓殖乃至土地整理ノ必要上ヨリ廣ク解スヘキモノトシ多年實行シ來リタルモノナレハ本件處分土地ノ場合ニ於テモ北海道國有未開地處分法ニ依ルヲ妥當ト認メ處分シタルモノナリ然レトモ北海道國有未開地處分法ト國有財産法トノ關係ニ付テハ相當考究ヲ遂ケ適當ニ措置スヘキ見込ナリ

(參照) ○北海道國有未開地處分法(明治四十一年四月十五日法律第五十七號)

第二條 土地ノ賣拂ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ一定ノ期間内ニ其ノ土地ニ關スル事業ヲ成功スヘキ者又ハ素地ノ儘使用セムトスル者ニ對シ之ヲ行フ
第二十一條 拓殖上又ハ土地整理上必要アル場合ニ於テハ既ニ開墾セラレタル部分ヲ含ム土地ト雖本法ニ依リ處分スルコトヲ得

第十一項 刑務所收入

【報告】

(五) 本項決算額ノ外姫路少年刑務所ニ於テ收入ニ至ラサルモノアリ右ハ姫路市服部某ノ昭和二年四月ヨリ十月ニ至ル各月分ノ葛細工作業受負賃金ニシテ數年ヲ經過シ納入ニ至ラサルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

大正十五年度迄ハ時時滞納アリシモ年度内ニハ必ス完納シ居タルヲ以テ受負ヲ繼續セシメ來レルモノナルモ財界不況ノ昭和元年度迄ハ時時滞納ヲ來スニ至リタルモノニシテ爾後納入方嚴重督促シ來レルモ糊口ニモ困難セル状態ナルヲ以テ支拂能力ナキ旨自訴シ來リ資産状態等ヲ調査スルニ全ク資力ナク且一定ノ常職ヲモ有セス信用皆無ノ状態ナリト謂フニ在リ然レトモ昭和二年四月月末未納額ハ既ニ擔保額ヲ超過セルニ拘ラス徵收確保ニ關シ適當ノ措置ヲ講セス同年十月迄作業受負ヲ繼續セシメ且契約ニ基キ製作品ノ引渡ヲ停止スルコトナク之カ爲多額ノ滞納ヲ生シ收納ノ見込ナキニ至リシメタルカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【審明】 會計検査院検査報告ノ通

【査決】 將來ノ注意ヲ促ス

【兼決】 不當

【報告】

(六) 京都刑務所ニ於テ收入ニ至ラサルモノアリ右ハ同刑務所作業係看守部長齋木某カ印刷製作品代ノ取立事務ニ從事中昭和七年九月頃ヨリ八年四月頃ニ至ル間ニ於テ横領費消セル刑務所作業製作品賣却代等貳千九百參拾圓貳拾壹錢ノ内ニシテ百五拾五圓拾錢ハ八年度ニ屬スルモノナリ右ハ監督其ノ宜シキヲ得サリシニ因ルモノニシテ不當ナリトス
備考 右ノ内七百五拾壹圓拾六錢ハ辨償済ナリ

【審明】 會計検査院検査報告ノ通

【査決】 將來ノ注意ヲ促ス

【兼決】 不當

第四款 雜收入 第十一項 雜入

【報告】

(七) 本項決算額ノ外山梨縣ニ於テ歳入ニ編入スヘキモノアリ右ハ大正十二年九月ノ震災ニ因ル同縣災害土木費ニ對スル補助金ノ内相當額ヲ超過シ支給セル金額ナリ

一四、四六七、二八〇

抑本件補助金ハ大正十三年勅令第二百三號震災ニ因ル府縣災害土木費國庫補助規程ニ依リ縣工事費(六分ノ雜費ヲ含ム)ニ對シ七割五分以内下級公共團體工事費(雜費同上)ニ對スル縣補助費ニ付十割以内ノ支給ヲ爲スモノニシテ精算額縣工事費百七拾八萬七千餘圓市町村工事費ニ對スル縣補助費五拾萬千貳百餘圓合計貳百貳拾八萬八千餘圓ナリトシ之ニ對シ十三年度以降昭和三年度ニ互リ百八拾參萬八千八百餘圓ヲ交付セリ然ルニ右精算ニ當リ市町村工事費ニ對スル縣補助費ヨリ縣工事雜費ヘ流用支出セル貳萬參千五百餘圓ヲ縣工事費支出額ニ計上セルニ拘ラス内貳萬參千參百餘圓ヲ縣補助費支出額中ニ重複計算セルヲ以テ國庫補助金ニ於テ同額ノ超過ヲ來スコトト爲リタルモ他方國庫補助金算出ニ誤謬アリ參千圓餘ノ支給不足アリタル爲差引貳萬參百餘圓ノ補助超過ト爲ルニ至レリ依テ右超過額ハ速ニ返納セシムヘキモノト認メ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

國庫補助金超過額ハ壹萬四千四百六拾七圓貳拾八錢ト爲ルヘキ旨主務省ヨリ通知アリタルモ縣ニ於テ當時國庫補助ヲ缺タス單獨負擔ヲ以テ施行セル工事業アルヲ以テ此等工事業ヲ剩餘金處分工事業トシテ追認ヲ受クヘク主務省ニ對シ實地再審査申請方考慮中ニ屬シ尙打合せノ要アルモノナリ

ト謂フニ在リ然レトモ本件補助超過額貳萬參百餘圓中五千八百餘圓ハ市町村工事業ニ於テ直接設計監督シタルカ爲要シタル貳萬參千五百餘圓ニ對シ全額補助ヲ認ムルモノトシ姑ク之ヲ措クモ殘額壹萬四千四百餘圓ニ對シテハ速ニ返納セシムヘキモノナルニ精算後數年ヲ經過シ未タ之カ返納ヲ爲サシメサルハ措置緩慢ニ失スルモノト謂ハサルヲ得ス尙七年六月縣ハ本件超過額ニ關シ剩餘金處分工事業ノ追認方ヲ内務省ニ申請セルニ對シ同省ハ八年九月右詮議シ難ク國庫補助超過額ハ國庫ニ返納スヘキ旨通牒シタルノ狀況ナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

會計検査院検査報告ノ通

但シ國庫補助超過額ハ返納方徴収手續中

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

(参照) ○震災ニ因ル府縣災害土木費國庫補助規程(大正十三年八月三十日抄録)

大正十二年九月ノ震災ニ因ル(中略)山梨縣ノ災害土木費ニ付テハ國庫ハ災害土木費國庫補助規程ニ依ラス左ノ區分ニ從ヒ補助スルコトヲ得

(上略)山梨縣ニ對シテハ縣工事費ノ七割五分以内及下級公共團體ニ對スル縣補助費ノ十割以内

前項ノ規定ニ依ル府縣補助費ニ對スル補助ノ割合ハ下級公共團體ノ災害土木費ニ對シ(中略)山梨縣ニ在リテハ其ノ七割五分ヲ超ニルコトヲ得ス

前二項ノ規定ニ依リ補助スヘキ災害土木費ノ範圍及補助額ハ内務大臣之ヲ定ム

歳出

内務省所管

補助金ノ支給ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得ルモノ二件(八)(一〇)

其ノ他不當ナルモノ一件(九)

合計三件

歳出臨時部

第一款 補助費

第十二項 都市失業應急事業費補助

【報告】

(八) 岐阜縣ノ支出ニ係ル

ハ岐阜大垣間國道改良工事費中勞力費ニ對スル補助トシテ同縣ニ交付シタル金額ニシテ内貳拾五萬六千五百參拾四圓拾壹錢ハ精算未了ニ屬スルモノナリ

抑本件工事ハ昭和五年十月縣ニ於テ失業救済事業トシテ國道十二號線中稻葉郡加納町ヨリ大垣市ニ至ル道路延長七千四百

餘間ノ改築ヲ企劃シタルニ偶伊勢電氣鐵道株式會社ニ於テモ同區間ニ地方鐵道敷設ノ計畫アリ新國道中長良川揖斐川及犀川ニ架設セラルヘキ各橋梁有效幅員ヲ八間トシ内四間ヲ軌道敷トシテ使用セムカ爲該橋梁工事費ノ二分ノ一ニ相當スル百貳拾四萬五千貳百四拾貳圓ヲ寄附スルノ條件ヲ以テ工事施行方ヲ出願シタルニ依リ縣ニ於テハ之ヲ承認シ寄附金ヲ併セ工事費豫算額ヲ參百八拾四萬貳千五百圓ト爲シ勞力費百參拾九萬千五百餘圓ノ内會社寄附ニ屬スル四拾六萬八千九百餘圓ヲ除キ殘額九拾貳萬貳千貳百餘圓ニ對シ二分ノ一ニ相當スル四拾六萬千五百餘圓ノ補助ヲ申請シ五年度以降七年度ニ至ル三箇年繼續事業トシテ施行中ニ屬スルモノナリ而シテ右寄附金ノ内會社ハ六年九月僅ニ千五百餘圓ヲ納付シタルニ止ルニ縣ニ於テハ道路工事ト共ニ長良川及揖斐川ノ橋梁架設工事ヲ施行シ七年度末迄ノ工費支出額ハ貳百拾貳萬七千六百餘圓ニシテ勞力費六拾五萬七千參百餘圓ノ内會社負擔ニ屬スル八萬九千七百餘圓ヲ控除シ殘額四拾六萬七千六百餘圓ニ對シ其ノ二分ノ一額貳拾參萬參千八百餘圓ヲ補助スヘキ計算ナルニ本年度迄ニ四拾貳萬九千九百餘圓ヲ交付セルヲ以テ拾九萬五千貳百餘圓ノ補助超過ヲ來セルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

本件補助超過ヲ來シタルハ伊勢電氣鐵道株式會社ニ於テ千五百餘圓ヲ寄附シタルノミニテ殘額百貳拾四萬四千餘圓ヲ納付セサルカ爲豫期ノ如ク工事ヲ進捗セシムルコト能ハサリシノミナラス縣單獨ニテ工事ノ完成ヲ必要トスルノ已ムナキニ至リ會社負擔ニ屬スヘキ工事費ヲ總テ縣費ヲ以テ支辨シ來レルモノナレハ之ニ對シテモ補助ヲ受クルコトト爲セシニ因ルモノナリ又殘工事ノ施行ニ關シテハ工事費ノ節減ニ努メ當初豫算額參百八拾四萬貳千五百圓ヲ參百五拾五萬七千九百餘圓ニ變更シ内請負ニ因ル減少額貳拾參萬九千參百餘圓及會社ノ納付寄附金千五百餘圓ヲ控除シ殘額參百參拾壹萬七千五百圓ヲ縣費負擔ニ改メ補助超過ノ分ト共ニ認可申請中ニ屬シ不足財源ニ對シテハ該認可ヲ埃チ起債又ハ其ノ他適當ノ方法ヲ講シ補填セムトス

ト謂フニ在リ然レトモ本件補助ハ勞力費豫算額百參拾九萬千餘圓中會社負擔額四拾六萬八千餘圓ヲ控除シ殘額九拾貳萬貳千餘圓ニ對シ二分ノ一ヲ補助スルモノナルヲ以テ縣ニ於テ會社負擔ニ屬スル勞力費ヲ支辨シタリトスルモ之ニ對シ補助ヲ

交付スルカ如キハ妥當ナル措置ト認め難シ今假ニ答辯ノ如ク會社負擔ヲ併セタル勢力費支出額六拾五萬七千餘圓ニ對シ其ノ二分ノ一ヲ補助スルモノト爲スモ參拾貳萬八千餘圓ヲ相當トシ尙拾萬四百餘圓ノ補助超過ト爲ルノ計算ナリ而シテ會社ノ寄附ハ百貳拾四萬五千餘圓ノ多額ニ上レルニ對シ僅ニ千百餘圓ヲ納付シタルニ過キサルニ拘ラス橋梁工事ハ會社ノ軌道敷ヲ併セ概ネ施行濟ニ保リ其ノ工事ノ殆ト全部ヲ舉ケテ縣ノ負擔ト爲スノ已ムナキニ至レルハ其ノ開用意ノ周到ヲ缺キタルモノト認めサルヲ得ス要スルニ本件ハ工事進捗ノ程度ニ伴ハス過當ノ補助金ヲ交付シタルモノニシテ不當ナリトス

本件ハ岐阜縣ニ於テ失業救済ノ目的ヲ以テ昭和五年起工以來極力工事ノ進捗ニ努ムルト共ニ伊勢電氣鐵道株式會社ニ對シテハ工事費支出ノ狀況ニ應ジ寄附金ノ納入ヲ命シ來リシ處同會社ハ昭和六年九月一、一〇六圓ヲ納付セルノミニシテ其ノ後昭和七年八月ニ至リ財界不況ト社運頓ニ振ハサルノ理由ヲ以テ寄附取消方ヲ申出タリ然ルニ既ニ長良、揖斐兩橋ノ下部工事ハ昭和七年七月末竣功シ上部工事モ亦請負ニ付シ相當進捗シ居リ設計變更ノ餘地ナカリシニ依リ止ムナク工事ヲ進行セシムルト共ニ會社ニ對シテハ納付方ニ付更ニ嚴重ナル督促ヲ爲セルモ延擱ヲ要請シツツ依然トシテ納付セサル爲昭和八年十二月ニ至リ遂ニ縣ハ會社ノ未納寄附金繰入ヲ一時見合セ總工費ヲ參百拾參萬八千四百拾圓ニ變更シ全額單獨負擔ノ計畫ヲ樹立スルノ止ムナキニ至レリ而シテ國庫補助ニ付テハ目下精算中ニ屬スルモ會社寄附ニ相當スル工事費ハ之ヲ補助基本額ニ算入スヘキ筋合ニ非サルヲ以テ約拾六萬五千八百餘圓ヲ國庫ニ返還セシムル様措置シタリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 警告

第三款 港灣改良費 第四項 橫濱港修築費

【報告】

(九) 内務省橫濱土木出張所ノ支出ニ係ル

三二八、一七五、七〇〇

昭和七年五月ヨリ八年三月ニ至ル間ニ於テ橫濱港修築工事浚渫不用土砂三十二萬八千八百七十立米ヲ橫濱市施行ノ同市新山下町貯木場設備埋立工事現場ニ捨土ノ爲増加支出シタリト認めラルル工事費ナリ右ハ同市ノ希望ニ應ジ其ノ所要地點ニ捨土セルモノナルモ該工事費負擔ノ代價トシテ「セメント」百六萬四千九十疋、活動寫眞機一組、起重機一臺、寫眞機一臺、轉子百八十箇ノ提供ヲ受ケタルモノナルヲ以テ妥當ノ措置ニ非スト認めメ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ此ノ種ノ代物辨濟ヲ受クルノ取扱ヲ爲シタルハ從來ノ慣例ニ依リタルモノニシテ浚渫土砂捨土作業ニ直接必要ナキ物件

ヲ受入レタル事例ハ昭和六年度ニ於テ渦卷「ポンプ」二臺、「セメント」四十八萬四千七百餘疋ヲ捨土工費壹萬五千四百餘圓ニ對スル代價トシテ受入レタルモノアリ尙浚渫土砂捨土作業ニ直接必要アル物品ヲ成ルヘク債務者ニ提供セシムルヲ穩當ト認めラルルモ結局橫濱港修築費ニ關聯スルモノナルヲ以テ本件ノ如ク措置シタル次第ナリ

ト謂フニ在リ然レトモ港灣修築工事等ヨリ生スル不用土砂ノ讓渡ヲ爲スニ當リ讓受人ヲシテ其ノ作業ヲ施行セシムルハ工事ノ實施上不便ナルヲ以テ便宜ノ措置トシテ讓受人ヨリ該捨土ニ必要ナル燃料及勞力等ヲ提供セシムルハ已ムヲ得ストスルモ元來正規ノ取扱ニ非サルヲ以テ其ノ範圍ヲ擴張シ本件ノ如ク全ク捨土作業ニ必要ナキ物品ノ提供ヲ受クルカ如キハ延イテ歲入歳出ヲ混同スルノ結果ヲ招來スルモノニシテ妥當ノ措置ト認めムルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辯明】

本件ハ橫濱港修築工事ニ關聯スルモノト認め前例ニ從ヒ提供ヲ受ケタルモノナルモ將來ハ當該工事ニ直接必要ナル物件ノ外提供ヲ受ケサル様相當考慮スヘシ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第三十八款 中小河川改良費 第一項 中小河川改良費

【報告】

(一〇) 本項ニ於テ青森縣ノ支出ニ係ル

一一、七三七、五〇〇

第四十三款農村振興道路助成費第一項農村振興道路助成費ニ於テ同縣ノ支出ニ係ル

計壹萬九千六百拾貳圓貳拾七錢ハ同縣三戸郡上長苗代村ニ於テ施行セル農村振興土木事業工事費貳萬六千五百拾參圓四拾錢ニ對シ縣費補助ヲ爲シタルニ付縣ニ交付シタル國庫補助金ナリ昭和八年六月之方實地ヲ檢查スルニ同村ニ於テハ右工事費ノ支拂ニ當リ六千七百餘圓ヲ留保シ之ヲ公衆集會所敷地ノ購入及同建物ノ建築費ニ充當セルモノナルヲ以テ之ニ對シ補助ノ支給ヲ爲スカ如キハ當テ得サルモノト認めメ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

工事費ノ内就勞者及材料納入者等申合セノ上其ノ取得額ノ四分ノ一額ヲ村ニ寄附セルモノニシテ工事ニ要セル費用ハ減少セルニ非サルヲ以テ事業費總額ヲ補助基本額トシテ認めタルモノナリ

ト謂フニ在リ然レトモ材料費ニ就キテ觀ルニ本件工事中河川改修工事ニ於ケル建築欄用杭木松丸太ハ設計單價五拾四錢合

計五千參百餘圓ヲ以テ購入セルモノナルモ本院ノ調査ニ依レハ同地方ニ於ケル時價ハ單價貳拾五錢餘乃至貳拾七錢餘ナルヲ以テ右購入單價ハ高價ニ失スルモノニシテ寄附該當額約千參百圓ヲ控除スルモ材料供給者ハ尙利得アルノ計算ト爲リ又本件工事ニ於ケル勞力費ハ一人當平均八拾參錢餘總額壹萬貳千六百餘圓ト爲セルヲ以テ寄附額約參千圓ヲ控除スルモ一人當平均六拾貳錢ト爲リ三戸町ノ時局匡救事業ニ於ケル平均六拾五錢餘ナルニ比シ大差ナキヲ以テ本件工事ハ寄附額ヲ控除スルモ施行シ得タルモノト認メラレ右ハ畢竟形式ヲ寄附ニ藉リ其ノ實工事費ノ一部ヲ公衆集會所ノ設置費ニ充當シタルモノト認メサルヲ得ス然ルニ之ニ對シ支出シタル縣費補助金ヲ其ノ儘基本額トシテ承認シ國庫補助金ノ交付ヲ爲スカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 本件ハ青森縣上長苗代村ニ於テ工事ニ從事セル者及工用材料納入者カ同村發展振興策トシテ其ノ取得額ノ四分ノ一ニ相當スル額ヲ村ニ寄附ノ申合ヲ爲シ各自ノ取得シタル金額中ヨリ總額六千七百八拾四圓ヲ便宜同村長名義ヲ以テ村ニ寄附セルモノニシテ同村ニ於テ工事費ノ支拂ニ當リ留保シタルモノニ非ス而シテ村ハ之ヲ公衆集會所敷地ノ購入及同建物ノ建築費ニ充當セルモ之カ爲工費トシテ支出セル金額ニハ毫モ影響ナキヲ以テ寄附金額ヲ補助基本額ヨリ控除セスシテ國庫補助金ノ交付ヲ爲シタルモノニシテ失當ノ措置ナリト謂フヲ得ス尙本工事ニ要シタル連柴柵用杭木松丸太ノ購入單價及人夫賃ハ何レモ青森縣工事設計標準額以內ニシテ高價ニ失スルモノト認メ難ク殊ニ同村ハ東北本線八戸線及五戸線ノ分岐點タル尻内驛所在地ニシテ八戸市ニ近接セル關係上人夫賃ノ如キモ他ノ町村ヨリ比較的高ク三戸町ノ女人夫賃ヲ含ミタル平均額一日六拾五錢餘ニテハ到底備上不可能ナリ

【貴決】 措置適當ヲ闕ク 【衆決】 注意

大藏省所管

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(一一)
 一九九〇九二一五〇
 工事ノ施行ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(一二)
 二二六五六〇〇〇
 合計二件
 二二二、七四七、一五〇

歳出經常部

第十四款 營繕管財局 第二項 事務費

【報告】 (一一) 本項ニ於テ營繕管財局ノ支出ニ係ル

臨時部第一款營繕費第二項中央諸官衙建築費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル
 一七、四七二、〇〇〇
 第二款調査費第九項無届異動地整理調査費ニ於テ大藏省及東京外六稅務監督局ノ支出ニ係ル
 二八、八七八、〇〇〇
 第四款國有財産整理費第一項國有財産整理費ニ於テ營繕管財局及東京外六稅務監督局ノ支出ニ係ル
 六三、七二八、一五〇
 第十四款賠償事務取扱費第一項賠償事務取扱費ニ於テ大藏省ノ支出ニ係ル
 七〇、三六三、〇〇〇
 計拾九萬九千九拾壹圓拾五錢ハ前掲各廳ニ於テ官吏ニ對シ支給シタル慰勞金ナルモ豫算上官吏以下ニ對スル慰勞金ノ積算額貳千五百餘圓乃至四千九百餘圓ナルニ約四倍乃至十七倍ニ達スル多額ノ慰勞金ヲ支出シ妥當ナラサルノミナラス營繕管財局事務費、中央諸官衙建築費及國有財産整理費ノ内壹萬六千餘圓ハ本省内他部局官吏ニ對シ營繕管財局事務ニ關與シ勤勞勲カラストシ支給セルモノナルモ此等本省官吏カ該事務ニ關與スルハ當然ノ職務ナルヲ以テ特ニ本費ヨリ慰勞金ヲ支出スルカ如キハ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

備考

官吏ニ對スル賞與及慰勞金ノ支給ニ關シ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得ス各廳ノ間著シク權衡ヲ得サルモノアルハ屢次検査報告ニ詳悉シ來リタル所ニシテ之カ改善ノ蹟多少ノ見ルヘキモノナキニ非スト雖本年度ニ於テモ一般特別各會計ヲ通シ(一)豫算ニ積算ナキニ之ヲ支給シ或ハ事業費材料費等ヨリ多額ノ流用ヲ爲シ(二)豫算ニ積算アルモ之ニ數倍スル支給ヲ爲シ(三)特別會計ノ經費ヲ以テ職務上當然ノ事務ニ關與セルニ過キサル一般會計所屬ノ官吏ニ對シ給與ヲ爲ス等其ノ措置當ヲ得スト認メラルモノ尠カラス依テ此等ノ内各省所管各項ニ於ケル支出額ノ多額ニ上レルモノヲ當該各項ニ掲記ス

【辨明】 營繕管財局、稅務監督局等ニ於テ各其ノ廣汎ナル事務ノ支障ナキ進捗ヲ圖ルニ付テハ當務者以外ノ職員ヲシテ之ヲ補助セシメタルコト多ク其ノ勤勞多大ナル者ニ對シ相當ノ慰勞金ヲ支給スルハ當然ノ措置ナリト認メタルニ依ルモノニシテ支出額ノ多額トナリシハ給與ノ公平ヲ期シタル爲メカ人員ノ多カリシ結果ニ外ナラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 【衆決】 不當

歳出臨時部

第一款 營繕費 第二項 中央諸官衙建築費

【報告】(111) 營繕管財局ノ支出ニ係ル

二二、六五六、〇〇〇

ハ昭和六年十月東洋コンプレッソル株式会社ニ請負ハシメタル特許局廳舎新築基礎杭打工事費拾九萬貳千圓ノ内ニシテ拾六萬九千參百四拾四圓ハ六年度ニ屬スルモノナリ右ハ「マルチベデスタル」式工法ニ依リ

杭ノ耐荷重	八〇噸
杭構成用ノ外管	外徑五一種弱
杭ノ長	A印約一七米二 B印約一六米二
杭ノ本數	A印 九二六本 B印 九二二本
杭ノ單價	一本當 BA印 一七四圓 B印 一六五圓

ト爲シ鐵筋入混凝土基礎杭ノ施工ヲ爲シタルニA、B印兩杭ニ於テ實績杭長ノ標準杭長ヲ超エタルモノ二百八十餘本標準杭長ニ達セサルモノ六百八十餘本ニシテ豫定全長一萬七千四百餘米ニ對シ實績全長一萬五千六百餘米ト爲リ千八百餘米ヲ減少セリ然ルニ請負單價ハ杭一本當ヲ以テ之ヲ定メ杭長ノ伸縮ニ應ジ増減スルノ約款ナカリシ爲契約額全部ノ支拂ヲ要シ多額ノ損失ト爲ルニ至リタルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

一本當標準杭長ヲ決定セルハ敷地「ボーリング」ノ成績ニ基キ八十噸荷重ニ耐ヘ得ル打止リ地層ヲ砂利層ト見込ミA印杭ヲ約十七米二B印杭ヲ約十六米二ト定メタルモノナリ然ルニ實績ハ意外ニモ部分的ニ標準長ニ達セサル以前ニ所定ノ荷重ニ耐ヘ得ル打止リ地層アリタル爲實績全長ハ標準全長ニ對シ短縮ヲ來セルモノニシテ本件契約當初ニ於テ請負金額ヲ増減スルノ條項ヲ存セサリシハ斯ク著シキ差異ヲ生スル場合アリトハ豫測セサリシト本件契約根本ノ目的ヲ荷重ニ耐ヘ得ル杭ノ構成ヲ主眼トセル爲特ニ之カ増減ニ對スル請負金額増減ノ條項ヲ設ケサリシモノナリ

ト謂フニ在リ然レトモ本件工法ニ依ル杭打ノ既往ニ於ケル實績ニ徴スルニ標準杭長ニ對シ實績杭長ハ常ニ差異ヲ生スルヲ免レサル所ナルヲ以テ本件ノ如ク敷地三千七百餘坪ニ對シ五箇所ノ「ボーリング」ヲ行ヒタルニ止リ試驗杭打ヲ省略シタルモノナルニ於テハ杭長ニ増減ヲ生スヘク隨テ契約上之ニ應ジ請負代金ノ増減ヲ爲スヘキ適當ノ約款ヲ設クルヲ相當トス當局者ハ本件契約ノ根本ヲ荷重ニ耐ヘ得ル杭ノ構成ニ在リト爲シ請負金額増減ノ條項ヲ設ケサリシモノナリト辯明スト雖杭長ノ著シキ増減ニ對シ何等請負代金ノ増減ヲ要セサルモノト爲スカ如キハ當ヲ得タルモノニ非ス尙所要混凝土體積ヲ觀ルニ一本當ノ所要ヲ外管體積ノ約二倍ト爲シ設計全長一萬七千四百餘米ニ對スル總體積ヲ六千九百餘立米ト豫定シタルモノナルモ之カ實績ハ全長一萬五千六百餘米ニ對シ五千五百餘立米ニ過キスシテ千八百餘立米ノ減少ト爲リ杭全長ノ短縮ニ依ル分ヲ控除スルモ尙千九百餘立米ノ減差ニシテ右ハ一基當混凝土所要見込量過大ナリシニ基因シ當ヲ得タルモノト認メ難ク其ノ損失額ハ杭長ノ短縮ニ依ルモノヲ併セ參萬千餘圓ニ達スルノ計算ナリ要スルニ本件ハ工事ノ施行ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辯明】

本件施行ニ際シ杭延長ノ増減ニ伴ヒ請負金額ノ増減ヲ計ルヘキ條件ヲ附セサリシハ當ヲ得タルモノニ非スト謂フモ一、本件ハ敷地「ボーリング」成績ニ基キ既往ノ經驗ニ徴シ耐八十噸荷重打止リ地層ヲ地下約十八米ノ砂利層ナリト見込ミ而モ該地層ニハ著シキ不陸無キモノト認メタルヲ以テ其ノ標準長ヲ決定シタルモノニシテ之カ實施ニ當リテモ其ノ長サニ著シキ増減アルヘシトハ豫想セサリシカ故ニ契約上精算方法ノ條件ヲ附スルノ要ナシト認メタルニ依ルト

二、一面既往ニ於ケル杭長當リ精算契約又ハ杭「コンクリート」量當リ精算契約等ニ伴フ不利ノ點ヲ考慮シ之等ノ方法ヲ避ケ其ノ重點ヲ專ラ所要荷重八十噸ニ耐ヘ得ル杭ノ構成ニ置キ責任荷重ニ對シテハ請負人ニ絕對ノ責任ヲ負ハシムルノ方法ヲ採ルヲ長策ナリト爲シタルニ依リ所掲ノ如キ條件ヲ附セサリシモノニシテ本件施行ニ當リ本方法ニ依レルコト蓋シ不得巳モノトス
追テ一基當リ所要「コンクリート」見込量カ過大ニ失スト謂フモ本積算ニ當リテハ之カ根據ヲ既往ノ經驗並「ボーリング」ノ成績ニ求メ適當ト認メタル所ニ隨ヒ之ヲ定メタルモノニシテ實績上多少ノ差異ヲ生シタルハ不得巳所ナリ尙本件ニ關シ精算條項ヲ附セサリシハ長サ關係ト同一ノ理由ニ因ルモノトス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

陸軍省所管

物件ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ三件(一三)(一四)(一六)
物件ノ製作ヲ請負ニ付スルニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(一五)
合計四件

三六五、一四九^円九九〇
二八、八〇〇、〇〇〇
三九三、九四九、九九〇

歳出經常部

第二款 軍事實 第四項 衣糧費

四六、二二五、二四〇

【報告】

(一三) 第三師團經理部ノ支出ニ係ル

ハ同經理部ニ於テ昭和七年八月靜岡縣田方郡農會ヨリ隨意契約ニ依リ購入シタル三島屯在部隊及同秣倉庫納馬糧用干草百三十萬五千七百九十八疋ノ代金ナリ右百疋當單價ハ參圓五拾四錢ナルモ、靜岡部隊納參拾八錢豐橋市所在高師秣倉庫納參圓拾八錢五厘(同倉庫ニ於ケル精撰費ヲ含ム)ニ比シ高價ニ當リ其ノ單價計算ノ基礎ヲ觀ルニ素品購入代、減耗、壓搾費、雜費等ニ計上セル人夫一人一日當賃金ヲ壹圓貳拾五錢ト爲シ靜岡部隊及高師秣倉庫納干草價格計算ノ基礎タル人夫賃ハ孰モ壹圓ナルニ比シ高價ト認メラルルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

三島部隊納干草ニ關スル人夫賃ノ高價ナルハ草刈地カ箱根山系ナル爲草刈ニ要スル勞働時間及勞力ノ程度カ靜岡、豐橋派出所關係ノ人夫ト異ルト精撰倉入等ニハ相當ノ熟練ヲ要スルトニ因ルモノナリ
ト謂フニ在リ然レトモ本件干草生産地タル靜岡縣田方郡地方ニ於ケル一般人夫賃ハ本院ノ調査スル所ニ依レハ壹圓以內ナルヲ通例トシ又干草價格計算ニ於テモ靜岡及豐橋ノ分ハ人夫一日一人當生草刈取數量ヲ三百七十五疋ト爲セルニ對シ本件ハ其ノ約七割二百六十二疋ト爲シ功程ニ於テ之ヲ斟酌セルモノナルヲ以テ本件人夫賃ヲ壹圓貳拾五錢トシテ計算セルハ高キニ過クルモノト認メサルヲ得ス又精撰倉入等ノ人夫ハ相當ノ熟練ヲ要スルカ爲高價ナリト謂フト雖高師秣倉庫ニ於テ精撰ノ爲使用セル人夫賃ハ壹圓五錢ナルニ徴シ答辯ハ事由アルモノト認メ難ク本件干草單價參圓五拾四錢ハ高價ニ失スルモ

ノト謂ハサルヲ得ス要スルニ本件ハ物件ノ購入ニ當リ價格ノ決定其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件三島屯在部隊及同秣倉庫納馬糧用干草購入價格決定ニ當リ其ノ算定ノ基礎タル人夫賃ヲ一圓二十五錢トナセルハ左ノ事由ニ依ルモノニシテ其ノ干草購入價格高價ニ失スルモノト認メス

即チ

(1) 干草價格算定ノ基礎タル一人一日生草刈取量(概ネ平地三七〇疋、山岳地帯二六〇疋)ノ蒐集ヲナスニハ夏期炎天下一日十數時間ノ勞働

ヲ必要トスルヲ以テ之ヲ一般ノ日傭勞働者一日十時間ヲ基準トスル勞働賃銀ニ對比シ自ラ高價トナルヘキモノナリ

殊ニ三島地方ニ於テハ干草資源地箱根山中腹以上ニアルヲ以テ該山麓ニ居住スル草刈人夫ハ日々三里乃至五里ニ及フ山路ヲ往還シ且地勢亦險阻ナルヲ以テ干草蒐集ノ爲馬ヲ使用セサルヘカラサル等特ニ經費ノ増加ヲ要スルノ實情ニアリ

從テ同地方人夫賃一圓内外ナルニ對シ草刈人夫賃ヲ一圓二十五錢トセルハ高價ニ失スルモノニ非ス

又本件人夫賃カ靜岡及豐橋地方ノモノニ比シ高價ナルハ之等地方ノ干草ハ之ヲ平地ニ求メ得ラル、ニ反シ三島地方ノモノハ前述ノ如ク蒐集ノ爲勞力大ナルノミナラス特ニ馬ヲ使用ヲ要シ且三島地方一般日傭人夫賃モ一日平均一圓ナルニ靜岡及豐橋地方ノモノハ八十錢(商工會議所調査ニ依ル)ニシテ一般ニ三島地方ノ勞銀高キニ因ルモノナリ

尙干草價格計算ニ於テ靜岡及豐橋地方一日刈草量三七五疋ナルニ三島地方ノモノヲ二六二疋トナセルニ對シ會計檢査院ハ功程ニ於テ斟酌セルヲ以テ此ノ點ヨリ觀ルモ本件人夫賃ヲ高價ナリト謂フモ右數量ハ數年間ノ實績ニ基テ實際刈取數量ニシテ該數量ノ刈取ニ於テ更ニ三島地方ノモノハ前述ノ如ク馬ヲ要シ且勞働時間大ナル等ノ特殊事情アルヲ以テ勞銀ノ増加ヲ要スヘキモノトス

(2) 干草ノ精撰壓搾倉入等ニ使用スル人夫ハ相當ノ熟練ヲ要スルモノニシテ普通日傭人夫賃銀ト對比シ高價ナルヘキモノトス而シテ本件人夫賃カ高師秣倉庫ノ臨時人夫賃一圓五錢ニ比シ高價ナルハ後者ハ該倉庫常備熟練職工業務補助ノ爲メ臨時傭役セラレタル者ノ賃銀ナルト前述ノ如ク一般日傭賃銀ハ三島地方高價ナルトニ因ルモノナリ

之ヲ要スルニ本件人夫賃ハ之ヲ當該地方一般日傭人夫賃ニ對比スルモ亦靜岡及豐橋地方ノモノト對比スルモ適當ノモノト認メラル、ヲ以テ干草單價參圓五拾四錢ハ高價ニ失スルモノト認メス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 警告

歳出臨時部

第二十四款 滿洲事件費 第一項 滿洲事件費

【報告】

(一四) 陸軍省經理局主計課ノ支出ニ係ル

三二〇、〇四四、七五〇

ハ關東軍野戰兵器廠及同軍野戰航空廠ニ於テ昭和七年八月ヨリ八年一月ニ至ル間(八年二月一日以降ノ購入品ハ熱河作戰用ト認メ除外セリ)在滿部隊補給用自動車燃料トシテ大谷米外六名ヨリ購入シタル赤貝「ブラッチ」「テキサス」印等ノ揮發油四萬二千六百四十箱及同一萬千四百二十罐ノ代價ナリ右ハ單價一箱當六圓參拾五錢乃至六圓七拾五錢一罐當參圓貳錢五厘乃至參圓拾七錢五厘ヲ以テ契約ヲ爲シタルモノナルモ之ヲ内地ヨリ追送セハ一箱當壹圓貳拾錢内外低廉ト爲ル計算ナルニ現地ニ於テ斯ル高價品ヲ購入シタルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

一本品ヲ現地調辨ト爲シタルハ

(イ) 關東軍ノ疾風迅雷的行動ハ一ニ自動車ニ負フモノニシテ之カ爲燃料補給ノ確保ハ絕對的必要要件ナリ然ルニ七年度ニ於テハ北滿ニ於ケル馬占山討伐東邊道及三角地帯ノ討伐呼倫貝爾作戰ニ次テ熱河作戰ノ初期ニ當リ軍行動ノ變移タルヤ全ク豫測ヲ許サス隨テ自動車燃料ノ需要ノ如キモ急速突發的ニシテ所要量モ亦一定セス所謂急需多量ニシテ到底豫想ヲ許ササリシト一方補給廠ニハ大量貯藏ノ設備ヲ有セサリシノミナラス匪賊ノ跳梁便衣隊ノ跋扈ニ依リ放火ノ危險多ク又之カ爲警備兵力ヲ増加スルコトハ軍作戰上到底之ヲ許ササリシヲ以テ貯藏ニ依リ急需ニ應スル事ハ不可能ナリシコト

(ロ) 内地ヨリ追送ヲ仰クコトハ請求ヨリ受領ニ至ル迄相當ノ日數ヲ要スルノミナラス鐵道沿線各地ニ於ケル匪賊ノ襲來ノ爲列車ノ延著常ナク適時急需ニ應スルコトハ到底不可能ナリシヲ以テ軍ノ補給ヲ確保スル爲ニハ現地調辨ニ依ル外策ナカリシコト

(ハ) 又滿洲ハ交通ノ關係上自動車ノ發達極メテ幼稚ニシテ自動車燃料ノ配給ノ如キモ未タ十分ナラス然ルニ滿洲事件ノ推

移ハ豫測ヲ許サス將來大需要ノ必要ヲ生シタル場合又ハ奧地ノ配給ヲ顧慮スル時ハ海外ヨリ常時民間ニ相當ノ商流ヲ作成セシメ以テ資源ヲ培養シ配給ヲ圓滑ナラシメ置クコトハ軍事上ハ勿論産業ノ開發上ニ於テモ緊要ナルコト

(ニ) 此等ノ事情竝輸送途中及貯藏中ノ漏洩ノ不利危險ヲ顧慮シ揮發油ハ之ヲ現地調辨ニ依ルコトトシ供給者ヲシテ準備セシメ適時軍ノ要求ニ依リ急需ニ應セシメタルモノトス

(三) 價格ニ付テハ當時滿洲ニ於テハスタンダード、テキサス、アジャノ三會社ノ協定價格ナルモノアリタルモ奉天ニ於ケル代理店相互間ノ競争ヲ利用シ決定セルモノニシテ内地追送品ニ依ル場合ノ左記價格ニ比シ現地購買品價格ハ相當ナリト認

内地軍用一號品一箱(二罐分)中味代	三六六
罐代二箇分	八〇
箱代一箇分	四〇
内地大連間船運賃	四五
大連埠頭陸揚賃及倉庫料	一〇八〇
大連奉天間鐵道運賃(半賃)	二五
容器破損漏レ(四%)	一一一
小計	五八八
現地購買品品質優良ニ伴フ値上リ	自六〇 至八〇 自六四八 至六六八
合計	六三八

ト謂フニ在リ然レトモ本品購入ニ關シ事件突發當時ニ在リテハ補給ノ確實ヲ期スルト國産品使用ノ見地ヨリ現地購買ヲ爲サス内地品ヲ追送シ來リタルニ當時ニ於ケル現地調辨價格ハ内地追送品ニ比シ品質優良ナルモノアリシニ拘ラス價格ハ却テ三、四割安價ナルノ狀況ナリシヲ以テ六年十一月以降現地調辨ニ依ルコトト爲シタルモノナリ然ルニ其ノ後現地ニ於ケ

ル價格漸騰シ内地追送品ヨリモ不利ナル傾向ヲ示スニ至レルヲ以テ當局者ハ之カ利害ヲ考慮シ狀勢ニ應シテ内地追送ノ方
法ヲ講スルヲ妥當トスルニ拘ラス悉ク現地ニ於テ調辨セルノミナラス其ノ購入ニ當リテモ仲介者ヲ經テ購入セルモノ多數
ヲ占ムルノ狀況ニシテ本件ノ如ク高價ノ購入ヲ爲スニ至レルハ畢竟物品ノ購入上措置其ノ宜シキヲ得サリシニ因ルモノト
認メサルヲ得ス

(一) 現地調辨ニ關シ當局者ハ馬占山討伐東邊道及三角地帯ノ討伐呼倫貝爾作戰等急速突發的ナル作戰上ノ需要ニ應シ之カ補
給ノ確保ヲ期スル爲ニハ現地調辨ニ依ルノ外策ナシト謂フト雖(馬占山討伐ハ五、六月ナルヲ以テ本購入品ニ包含セス)現
ニ關東軍所要ノ航空機用揮發油ハ其ノ需要ノ急速ニシテ所要多量且不定ナルコト本件自動車用揮發油ト同様ナルニ拘ラ
ス專ラ補給確保ノ見地ヨリ總テ之ヲ内地ヨリ追送シツツアルノ狀況ニシテ假ニ本件揮發油ノ若干ヲ現地調辨ニ依ルノ要
アリシトスルモ其ノ需要ノ全部ニ對シ現地調辨ヲ必要トシタルモノトハ認メ難シ又當局者ハ内地ヨリ追送ヲ受クルトキ
ハ補給廠ニハ大量貯藏ノ設備ヲ有セサリシヲ以テ貯藏ニ依リ急需ニ應スルコト不能ナリシノミナラス輸送途中鐵道沿
線ニ於ケル匪賊ノ襲撃ノ爲汽車ノ延宕常ナク適時急需ニ應スルコト能ハス又一面資源涵養上現地調辨ノ必要アリシニ因
ルモノナリト謂フモ現地調辨ノモノモ亦大連ヨリ奉天ニ汽車輸送ヲ爲スモノニ係リ且購入品ハ概シテ奉天野戰兵器廠等
ノ構内ニ納入セシメタル後更ニ前線部隊へ補給スルモノナルヲ以テ内地追送ト現地調辨トノ間格別ノ差異アルモノト認
メ難ク資源涵養ノ點ヲ考慮スルモ自動車用燃料ノ全部ヲ高價ナル現地調辨ト爲スハ妥當ノ措置ト認ムルヲ得ス
(二) 價格ノ點ニ關シ當局者ハ内地軍用一號品一箱單價參圓六拾六錢ノ外容器代トシテ壹圓貳拾錢ヲ要スト爲セルモ本件購入
當時内地ニ於テ購入セル軍用一號品(自動車用)ノ單價ハ納入後容器ヲ返却スルモノトシ參圓六拾六錢ト定メ容器ヲ返却
セサル場合ハ參拾六錢ヲ加算シ支拂フ(飛行機用揮發油ヲ追送スル場合亦同様參拾六錢ヲ増價シ契約セリ)ノ契約ナルヲ
以テ之ヲ追送スル場合一箱當容器共四圓貳錢ヲ以テ足り當局者ノ採算ハ全ク事實ニ適セサルモノニシテ又八年二月關東
軍野戰兵器廠ニ於テ現地調辨セル日石軍用一號品(内地購入品ト同一ノモノ)ト外國品赤貝及「ブラッチ」印トノ品質相違

ニ依ル差額ハ參拾五錢ニ過キササルヲ以テ當局者ノ六拾錢乃至八拾錢ノ値開アリト爲セルモ亦過大ニ失セリ今右ニ依リ内
地追送品ノ現地價格ヲ推算スレハ

内地軍用一號品一箱容器共

四、〇二

奉天著運賃

八〇

容器破損漏レ(四%)

一九

計

五、〇一

ト爲リ之ニ品質相違ニ依ル値開ヲ見込ムトスルモ現地調辨品ニ比シ壹圓貳拾錢内外低廉ト爲ルノ計算ナリ

要スルニ本件ハ物件ノ購買ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ボシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本件會計檢査院批難ノ要旨ハ

- (1) 關東軍所要自動車用燃料ハ事變當初ニ在リテハ補給ノ確保並ニ國產品使用ノ見地ヨリ内地ヨリ追送シ來リタルモ現地調辨價格ハ内地追
送品ニ比シ安價ナリシヲ以テ昭和六年十一月以降現地調辨ニ依ルコト、爲セリ然ルニ其ノ後現地ニ於ケル價格漸騰シ内地追送品ヨリモ
不利ナル傾向ヲ示スニ至レルニ拘ラス内地追送ノ方法ヲ講セス悉ク現地調辨ヲ爲セルハ措置宜シキヲ得ス
- (2) 關東軍所要ノ航空機用揮發油ハ專ラ補給確保ノ見地ヨリ總テ内地ヨリ追送シツ、アルノ狀況ニシテ假ニ本件揮發油ノ若干ヲ現地調辨ニ
依ルノ要アリシトスルモ其ノ需要ノ全部ニ對シ現地調辨ヲ必要トシタルモノトハ認メ難シ
- (3) 現地調辨ノモノモ亦大連ヨリ奉天ニ汽車輸送ヲナスモノニ係リ且購入品ハ概シテ奉天野戰兵器廠等ノ構内ニ納入セシメタル後更ニ前線
部隊ニ補給スルモノナルヲ以テ貯藏設備鐵道輸送途中ノ危險等ニ就テハ内地追送ト現地調辨トノ間格別ノ差異アルモノト認メ難シ
- (4) 現地調辨品ノ多數ハ仲介者ヲ經テ購入シタルノミナラス内地ヨリ追送ノ場合ニ於ケル價格計算上當局者ノ採算ハ全ク事實ニ適セス若ク
ハ過大ニ失スルヲ以テ會計檢査院ノ推算ニ依レハ現地調辨品ニ比シ壹圓貳拾錢内外低廉トナル計算ニシテ
要スルニ本件ハ物件ノ購買ニ當リ措置宜シキヲ得スト爲スモノナリ

然レトモ

(1) 關東軍所要ノ自動車用燃料ニアリテハ當初ヨリ軍事行動ノ關係上現地調辨ヲ方針トセルモノニシテ内地ヨリ追送セルノ事實ナシ

(2) 關東軍所要ノ航空機用揮發油ヲ内地ヨリ追送セルハ當時品質ノ關係上軍ノ要求スル精度ノモノヲ現地ニ於テ適時ニ調辦スルコト困難ナリシト航空機用燃料ノ特性ニ基ク國產獎勵ノ見地ニ於テ内地ヨリ追送スルノ已ムヲ得サシニ依ルモノニシテ自動車用燃料トハ其ノ事情ヲ異ニセルモノナリ

又自動車用燃料ノ全部ニ對シ現地調辦ヲ爲シタルハ當時軍事行動上迅速確實ニ軍ノ需要ヲ充足スルノ要アリシト追送ニ依ルトキハ後述スル如ク輸送及貯藏間ノ危険ト之ニ伴フ經費ノ増加ヲ來ス等幾多ノ不利アリシ等ニ依ルモノナリ

(3) 内地ヨリ追送スル場合ニアリテハ相當ノ日數ヲ要スル爲メ補給確保上常ニ豫備ヲ加算シ貯藏スルノ要アルヲ以テ新ニ相當ナル貯藏設備ヲ必要トスルノミナラス匪賊ノ襲撃、便衣隊ノ跋扈ニ依ル放火ノ危険ニ對シ警備上尠カラサル苦心ヲ要シ若シ夫レ火災ノ厄ニ遇ハシカ忽チ補給上支障ヲ生スルノ虞アリ又當時ニ於テハ滿鐵沿線ト雖モ匪賊ノ襲來屢アリ特ニ軍用貨物ヲ目標トセシヲ以テ鐵道輸送間ノ危険甚シキモノアリ然ルニ現地調辦品ニアリテハ所要ニ應シ若干量宛購入スルモノニシテ而モ供給者ヲシテ一般民需品ト共ニ輸送セシメ且購入品ハナルヘク軍ノ貯藏ヲ避ケ奉天驛構内ニ於テ檢査受領ノ上直ニ前線部隊ニ補給セルモノナルヲ以テ貯藏設備、貯藏間ノ警備並輸送途中ノ危険等兩者ノ間ニ於テ其ノ程度ヲ異ニス

(4) 本件自動車用燃料購入ニ當リ仲介者ヲ經タルハ軍機保持ノ必要上外國人ノ野戰兵器廠構内ニ出入スルヲ避ケル爲身元信用共確實ナル日本人代理店ヲ經テ購入スルノ要アリシニ依ルモノナリ

又内地ヨリ追送スルモノトシタル場合ノ自動車用燃料ノ價格(輸送中ノ危険負擔額ヲ除ク)ニ比シ本件購入價格ハ多少高價トナル計算ナルモ右價格ハ當時滿洲ニ於ケル該業者ノ協定價格ヲ基礎ト爲セルモノニシテ且供給者ヲシテ輸送間ノ危険ヲ負擔セシムルコト、ナシタルモノナルヲ以テ現地調辦價格トシテハ敢テ高價ニ失スルモノトハ認メス

之ヲ要スルニ本件購入品ハ關東軍ノ作戰行動ニ伴フ自動車用燃料ニシテ當時ノ事態ニ於ケル軍ノ行動ニ鑑ミ補給確保ノ見地ニ基キ現地調辦ヲ爲スノ要アリシモノニシテ其ノ價格モ亦前述ノ如クナルヲ以テ其ノ措置適當ト認ム

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 警告

【報告】

(一五) 陸軍省經理局主計課ノ支出ニ係ル

二八、八〇〇、〇〇〇

陸軍被服本廠ニ於テ派遣部隊追送用トシテ昭和七年四月東京製靴株式會社外三名ニ隨意契約ヲ以テ請負ハシメタル營内靴三萬組ノ製作料(材料ハ官給)ナリ右ハ特ニ隨意契約ヲ爲スノ要ナキモノト認メラルルノミナラス單價九拾六錢ニシテ之ヲ同年五月東京製靴株式會社ニ請負ハシメタルモノノ單價八拾四錢ナルニ比シ高價ナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

軍靴ノ製作ニ關シテハ特別ナル仕様規格ニ基キ技術困難ナルノミナラス特別ナル機械設備ヲ必要トスルヲ以テ資力信用アル供給者ニ付常ニ資源ヲ培養シ置キ緊急ノ際供給ヲ確保セサルヘカラサル事情アリテ競争ニ付スルヲ許サス各供給者ノ作業設備ニ應シ會計規則第一百四條第一項第一號ヲ適用シ隨意契約ニ依リタルモノニシテ五月分ノ單價ハ註文數モ僅少ニシテ常態ニ於ケル請負工賃ヲ以テ實施シ得タルモ四月分ハ時局用急遽整備品ニシテ所定期ノ關係上夜業ヲ要シ普通工賃ノ三割増ヲ支拂フヲ要スルノ已ムヲ得サル實狀ニ在リタルヲ以テ單價ニ差異ヲ生シタルモノナリ

ト謂フニ在リ然レトモ本件營内靴ハ簡易ナル代用靴ニシテ當時兵營内ニ於テノミ使用スルモノナルニ常ニ資源ヲ培養シ置キ緊急ノ際供給ヲ確保セサルヘカラサル事情アリトシテ製作者數名ヲ特定シ之ト隨意契約ヲ爲スカ如キハ妥當ノ措置ト認ムルヲ得ス又本件單價ノ高價ナルハ時局用急遽整備品ニシテ所定期ノ關係上夜業ヲ要シタルカ爲ナリト謂フト雖本品受領後ニ於ケル拂出狀況ヲ觀ルニ内一萬千餘組ハ五月中ニ於テ常用品ノ立替ニ對スル補填ニ充當シ其ノ他ハ六月ヨリ八年一月ニ至ル間ニ於テ逐次追送セルモノナルヲ以テ特ニ納期ヲ短縮シ普通工賃ノ三割増ヲ支拂フモノトシ高價ニ契約スルノ要アリシモノト認メ難シ要スルニ本件ハ製作請負ニ付スルニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ボシタルモノニシテ不當ナリトス

【附明】 編上靴其ノ他軍靴ノ精粗適否ハ直接軍ノ行軍力延テハ戰鬪力ニ至大ノ影響ヲ及ボスモノナルヲ以テ之カ製作ハ熟練セル技術ト特殊ノ機械設備トヲ必要トシ且有事ニ於ケル製造力培養ノ見地ヨリ從來機械設備ヲ有スル本件當業者ヲシテ隨意契約ニ依リ請負ハシメアル所ナリ而シテ營内靴モ亦其ノ程度他ノ軍靴ニ次クト雖堅牢ニシテ且兵ノ使用ニ適シ補修亦便ナルヲ要スル等ノ關係上其ノ製法殆ト軍靴ト同一ナルヲ以テ之カ製作ノ爲ニハ特殊ノ機械設備ヲ要スルノミナラス軍靴製作工場ヲシテ製作セシムルハ有利ナル調辦ヲナシ得ルト共ニ本品ノ製作ニ依リ機械製靴工業ノ維持助長ヲ圖リ得ルヲ以テ大正四年營内靴制式決定以來隨意契約ニ依リ請負ハシメ來リタル所ニシテ本件隨意契約ニ依レルハ敢テ失當ノ措置ト認メス

又價格ノ點ニ就テモ本件營内靴ハ上海派遣軍ノ請求ニ基キ急遽整備ヲナスノ要ニ迫ラレ自ラ價増ヲ要セシモノニシテ當時ノ事情ノ下ニ於

テハ高價ニ失スルモノトハ認メス即チ上海派遣軍ノ作戦行動一段落ヲ告タルニ至リ昭和七年四月駐留用トシテ同軍ヨリ管内靴三萬組ノ至急追送方請求ヲ受ケタルモ當時陸軍被服廠ニハ職用管内靴ノ在庫品ナカリシヲ以テ差向平時部隊七年度補給用品約一萬一千組ヲ繰替ヘ補給シ爾餘ハ右補填品ト共ニ急遽調辦ノ上補給スルコト、ナセルモノナリ而シテ本品ハ四月十二日契約ヲ締結シ約一ヶ月間ニ於テ各工場ヲシテ五千六百組乃至一萬一千餘組ヲ急遽製作セシメタルモノナルヲ以テ該工場ハ他ノ注文品ノ作業ヲ中止シ全能力ヲ之ニ傾注シ且夜間就業等ヲ行ヒ製造スルヲ要セシモノナルカ故ニ之ヲ昭和七年五月東京製靴株式會社ニ注文セシ管内靴僅ニ四百組其ノ契約期間二十二日ナルモノニ比シ自ラ價格ニ差異ヲ生スヘキハ已ムヲ得サル所ニシテ之ヲ以テ前者ノ價格高キニ失スルトナスハ當ラサルモノト認ム

尙會計検査院ハ本品受領後ニ於ケル拂出ノ狀況ヲ以テ本品整備ハ急ヲ要セサリシモノトナスト雖本件契約後情勢ニ變化ヲ來シ之ニ伴ヒ上海派遣軍ノ撤退ヲ見ルニ至リシヲ以テ未補給品ハ關東軍用ニ轉用逐次同軍ニ追送シ又前述平時用品繰替ノ分ニ對シテハ該品カ年度初頭所要給與品トシテ補給ヲ要スルモノナリシカ故ニ直ニ補填シタルモノニシテ當時ノ情況ニ照シ本品ノ急遽調辦ヲナシタルハ失當ノ措置ト認メス

之ヲ要スルニ本件管内靴調辦ニ當リ隨意契約ニ依リタルハ適當ノ措置ナルノミナラス其ノ價格モ當時ノ事情ニ鑑ミ高價ニ失スルモノト認メス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

(參照) ○會計規則(大正十一年一月九日) 勅令第一一號

第一百四條第一項 會計法第三十一條第二項ノ規定ニ依ルノ外左ニ掲クル場合ニ於テハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

一 契約ノ性質又ハ目的カ競争ヲ許ササルトキ

【報告】

(一六) 陸軍省經理局主計課ノ支出ニ係ル

八八八〇〇〇

ハ陸軍衛生材料廠ニ於テ昭和七年四月ヨリ五月ニ至ル間三回ニ互リ東京市中野區石地某ヨリ隨意契約ニ依リ單價百粒入一瓶拾貳錢ヲ以テ購入シタル「クレオソート」丸七百四十萬粒ノ代價ナリ右昭和六年度検査報告ニ詳悉セシ如ク滿洲事件用衛生材料補給ノ目的ヲ以テ急速購買ヲ要シ競争ニ付スルノ暇ナク且陸軍藥局方適合品ヲ製造セシムルハ甚ク困難ニシテ熟練且信用アル技術ヲ必要トストノ事由ニ依リ本供給者ノミヨリ購入シタルモノナルモ規格ヲ示シ納品検査ヲ嚴ニスルニ於テハ敢テ一商人ニ獨占供給セシムルノ要ナキモノト認メラルルノミナラス其ノ後本供給者ノ外數名ヲ加ヘ見積合セテ爲シ

若ハ指名競争ニ依リ別途六回ニ互リ購入セシモノノ單價百粒入一瓶七錢貳厘八毛乃至拾錢ナルニ比シ本件購入單價拾貳錢ハ高價ナルモノト認メサルヲ得ス

當局者ハ右價格ノ點ニ關シ既往ノ調辦價格及市井品ノ價格ヲ參酌シ慎重調査ノ上決定セルモノニシテ當時ノ價格トシテハ適當ノモノト認メラルルノミナラス之ヲ七年六月購入品ノ價格拾錢ニ比シ高價ナリト爲スモ後者ハ製造期間長キ等ノ事情ニ基クモノニシテ之ヲ以テ前者ノ價格高キニ失スルモノト認メスト辯明スト雖六年九月ヨリ七年五月ニ至ル間ニ於テ十ニ回ニ互リ本件供給者ヲシテ獨占供給セシメタルモノノ製造期間(契約期日ヨリ納入期日ニ至ル間)ヲ觀ルニ五日乃至三十六日ニシテ其ノ後七年六月ヨリ八年八月ニ至ル間ニ於テ八回ニ互リ購入ニ係ルモノハ十六日乃至五十三日ニ達シ一見製造期間長キカ如キモ百萬粒當ニ就キテ觀ルトキハ前者ハ四日三分乃至三十六日ニシテ後者ハ四日二分乃至三十一日ニ當リ其ノ製造期間ニ於テ大差ナキノ狀況ニシテ辯明ハ當ヲ得サルモノト謂ハサルヲ得ス

要スルニ本件ハ物品ノ購買ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス(昭和六年度(一四)三〇頁參看)

【辨明】

本件「クレオソート」丸ハ滿洲事變ニ伴フ派遣部隊將兵携帶用豫防藥トシテ購入セシモノニシテ昭和六年度會計検査院検査報告ニ對シ辯明セシカ如ク本報ハ市井品ト異リ特ニ技術經驗並ニ信用ヲ兼備スルモノヨリ供給セシムルノ要アリシヲ以テ過去戰役ニ於テ本報ヲ一手ニ供給シ又本事變ニ於テモ當初ヨリ供給シ其ノ成績良好ナリシ石地某ヨリ引續キ隨意契約ニ依リ購入シタルモノナリ

而シテ事態逐次平靜ニ向ヒ且需要モ相當繼續スルノ情勢ニ在リシト且ハ斯業ノ獨占ヲ避ケ資源ヲ培養スルヲ適當ト認メ逐次他ノ供給者ヲ指導ノ上試製セシメ漸ク昭和七年六月以降他ノ供給者ヨリモ購入シ得ルニ至リタルモノナルモ本件購入當時ニ在リテハ未タ本供給者以外ニ適當ナル供給者ナカリシヲ以テ引續キ同人ヨリ購入シタルモノナリ

又購入價格ニ就テ會計検査院ハ昭和六年度検査報告ニ對スル辯明ニ關シ製造期間ノ長短ヲ百萬粒當ニ觀テ昭和六年九月ヨリ七年五月ニ至ル間ニ購入ノ分ト七年六月以降購入ノ分トノ間ニ大差ナキヲ以テ辯明ハ當ヲ得スト謂フモ一口ノ契約ニ對スル期間ノ長短ハ作業能率ニ關係スルコト大ナルヲ以テ單ニ百萬粒當ニ觀テ其ノ當否ヲ論シ難キノミナラス昭和七年六月以降購入ニ係ルモノハ注文數量モ概シテ大ニシ

テ且他ノ供給者ト競争セシ等ノ事情ニ依リ安價ナリシモノニシテ本件購入價格ハ當時ノ事情ノ下ニ於ケル價格トシテハ敢テ高價ニ失スルモノト認メス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 警告

海軍省所管

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ一件(一七) 六〇、五八二、五五〇
工事ノ施行ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(一八) 一四、三二四、五五〇
合計二件 七四九、〇七一〇〇

歳出經常部

第二款 軍事費 第四項 衣糧費

【報告】

(一七) 本項ニ於テ吳海軍經理部ノ支出ニ係ル

第五項造船兵及修理費ニ於テ横須賀海軍經理部ノ支出ニ係ル 一五、七九六、〇〇〇
第九項艦費ニ於テ横須賀海軍經理部及舞鶴要港部經理部ノ支出ニ係ル 一八、四五〇、〇〇〇
計六萬五千八百圓五拾五錢ハ横須賀吳兩海軍軍需部舞鶴要港部軍需部及海軍航空廠ニ設備シタル啓正式「パイプハウス」
八棟ノ代價ナリ右ハ艦營用品、被服材料等ノ格納庫並製圖場トシテ使用セル固定の構築物ナルヲ以テ之カ施行ハ營繕ノ費
途ヲ以テスヘキモノト認メ本費ノ支辨ト爲シタル事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

本件ハ戰備充實ノ目的ヲ以テ購入セル用品等多量ニ上レルト事件關係等ニ依リ最近還納品激増シ既設倉庫ハ既ニ充滿シ
收容ノ餘地ナキ爲應急用トシテ一時ニ設置セルモノナルモ此等被服材料及還納古品等ノ増加ハ相當永續スヘキ見込ナ
ルニ依リ目下營繕ノ費途ヲ以テスル倉庫ノ設置ヲ考慮シツツアリ
ト謂フニ在リ然レトモ本件「パイプハウス」ノ構造ハ孰モ啓正式鐵骨造、屋根及側面共亞鉛引鐵板張平家建軒高約四米ニシテ
其ノ設計仕様ヲ觀ルニ概ネ土臺ハ「クレオソート」ニ回塗松一五〇耗角ヲ用ヒ主柱下ハ各松丸太杭打若ハ「コンクリート」打

【辨明】

トシ床板張ヲ爲シ天窗及「ベンチレーター」數箇所ノ裝備ヲ爲シ其ノ價格モ亦坪當六拾圓乃至九拾圓餘ニ當リ一時の施設
認メ難ク格納設備ノ急需ニ應スルノ事情ハ諒トスルモノナキニ非スト雖之ヲ營繕ノ費途ニ缺ツコトナク保管運搬用機械器
具費ヲ積算セル本費ノ支辨ト爲スカ如キハ妥當ノ措置ト認ムルヲ得ス右ノ外海軍技術研究所ニ於テ特別會計海軍工廠資金
歳出第一款材料物品費第一項材料物品費九千九百餘圓(内四千九百餘圓ハ八年度ニ支出ス)ヲ以テ八年二月及三月初記同様
ノ「パイプハウス」二棟ヲ施設セルモノアリ要スルニ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十四條ニ違背シタルモノトス
本件各軍需部並ニ海軍技術研究所ニ於テ設備セシモノハ滿洲事變ノ突發ニ伴ヒ軍需品ノ準備額激増シタル處既設倉庫狹隘ニシテ之カ格納
餘積ナク而モ急迫セル時局ニ對スル軍需品ノ準備ハ刻々増加ノ状態ナリシヲ以テ應急の對策トシテ設備セシモノニ係リ又海軍航空廠ニ於
テ設備セシモノハ等シク滿洲事變ニ際シ造兵事業ノ繁忙ニ伴ヒ製圖作業激増ノ爲航空廠内新築工場完成迄一時應急のニ設備セシモノニシ
テ何レモ事變突發ノ際急迫不得已ノ處置ナルコト已ニ會計検査院ニ於テ承認ノ通ニシテ蓋シ非常時ニ於ケル當然ノ措置ナリト謂フヘシ
又之カ構造ノ固定のニシテ一時の施設ニ非ラサル點ニ關シ非難シアルモ啓正式「パイプハウス」ハ何レモ一定寸度ノ既成構成材料ヲ以テ何
等ノ加工ヲ要セスシテ急速且ツ大小廣狭自由ニ簡單ニ組立テ且ツ解體シ得ルモノニシテ其ノ性質上應急一時の施設ニ外ナラス加之本件設
置箇所ハ急迫ノ際一時の便宜ノ場所ヲ選ビタルモノニシテ軍港内水陸整備ノ計劃上將來之カ移動ヲ豫期スルモノナリ只之カ骨組ヲ從來ノ
木材ニ更ヘテ鐵製「パイプ」トシ側板ヲ厚ミアル鐵板トセルニ依リ價格稍高キモ是レ解體移動ノ際再用ニ耐ヘシムル爲ニシテ又其ノ土臺ニ
松角材ヲ使用シ主柱下ニ松丸太杭打ヲ爲セルモノアルト並ニ床板張ヲ爲セルモノアルカ如キハ夫々暴風雨ニ對スル耐力上並ニ軍需品格納
上ノ必要施設ニシテ一時の構築物ト雖施サ、ルヘカラサル程度ノ設備ナリト謂フヘク之ヲ以テ直チニ固定の構築物ナリト斷スルヲ得ス現
ニ本裝置ハ其ノ構造ノ特殊性ニ鑑ミ保安警察上ニ於テモ之ニ對シ建築規程ヲ適用スルコトナキハ以テ其ノ普通建物ト異ルヲ知ルヘシ
海軍ニ於テハ從來此ノ種ノ施設ニシテ定所ニ永續のニ設置スル場合ニ於テハ右施設ニ比シ基礎工事ヲ嚴重ニシテ之ヲ營繕ノ費途ニ依ル方
針ヲ採リツ、アリト雖本件ノ如ク急迫セル特殊事情ノ下ニ設備セル應急の施設ニシテ前示ノ如キ構造ノモノハ當ニ器具整理ヲ至當トスル
モノニシテ從テ本件敢テ不當ニ非サルモノト認ム

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不法

(參照) ○會計法(大正十年四月八日法律第四十二號)

第十四條第二項 國務大臣ハ豫算ニ定メタル目的ノ外ニ定額ヲ使用シ又ハ各項ノ金額ヲ彼此流用スルコトヲ得ス

昭和七年度 海軍省 (一七)

歳出臨時部

第三款 航空隊設備費 第一項 航空隊設備費

一四、三二四、五五〇

【報告】

(一八) 吳海軍經理部ノ支出ニ係ル

ハ吳海軍建築部ニ於ケル吳航空隊敷地造成其ノ他設備工事ノ内同部ノ直營施行ニ係ル雜工事假船入場浚渫工事ニ要シタル經費ナリ

抑本件工事ハ吳航空隊敷地附近ノ東大川ニ假船入場ヲ設クル爲幅約五十米延長二百餘米ヲ基本水準面(平均水面下)迄浚渫シ浚渫土砂一萬五千六百立米一立米當工事費九拾貳錢九厘ト豫定シタルモノニシテ昭和七年十月起工シ同年十一月出來高九分七厘ニテ打切リタルモノナルモ別途六年十二月及七年九月ニ於テ八年二月ヲ期限トシ株式會社飛鳥組ノ請負ニ付シ施行ニ係ル埋立工事ハ前記假船入場浚渫工事ト近接セル箇所ニ於テ「サンドポンプ」ヲ使用シ埋立ヲ爲シ其ノ一立米當埋築費ハ貳拾壹錢又ハ參拾錢餘ナルヲ以テ「サンドポンプ」ヲ使用スルニ於テハ工費ヲ節約シ得タルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

請負工事作業中ノ飛鳥組「サンドポンプ」船ハ七百馬力ヲ有スル大型船ニシテ本件浚渫箇所ノ如キ淺所ノ作業ニ適セサルノミナラス東大川上流部ノ比較的含有土砂ナキ砂質部分ハ東大川側建造物敷地ノ埋築用ニ當テシモノナリ(東大川下流ノ時期ニ達セサルニ一方荷役用航通路ノ閉塞ハ材料運搬ニ支障アルノミナラス一般工事ノ促進上極メテ影響大ナルヲ以テ遂ニ猶豫シ難ク本件假船入場浚渫工事ヲ直營施行スルニ至レルモノニシテ埋築用「サンドポンプ」船ヲ使用セザリシハ眞ニ已ムヲ得サル事情ナリ

ト謂フニ在リ然レトモ本件直營工事ヲ以テ浚渫ノ箇所附近ハ八年二月飛鳥組ニ於テ「サンドポンプ」船ヲ使用シ埋立用土砂ヲ浚渫採集セルノ事實ニ徴シ本件浚渫箇所ノ土砂ハ建物敷地ノ埋築用ニ適セサルモノト認メ難ク「サンドポンプ」船ニ依ル

作業ニ適セストノ答辯ハ事實ト認ムルヲ得ス又當局者ハ材料ノ運搬及一般工事ノ促進上本件工事ノ施行ヲ猶豫シ難カリシト謂フト雖本件浚渫箇所ハ飛鳥組ノ請負ニ係ル埋立工事用土砂採集區域内ナルヲ以テ請負工事施行ノ順序ヲ按配シ請負人ヲシテ本件假船入場ノ浚渫ト埋立トヲ併施セシムルノ方法ヲ採ルヲ有利ナリト認メラルルニ別途ニ工費ヲ投シ浚渫工事ノミヲ直營施行シタルハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス要スルニ本件ハ工事ノ施行ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件直營工事ハ吳航空隊敷地造成埋立工事ニ際シ施工ノ都合上從來ノ工事用材料荷揚場所力使用不可能トナリ爾後附近ニ適當ナル工事用材料荷揚所無キニ至ルヲ以テ吳航空隊敷地附近ノ東大川ニ荷揚用假船入場ヲ設クル爲ノ浚渫工事ニシテ之カ浚渫ニ「サンドポンプ」船ヲ使用セザリシハ本請負工事ニ使用スル「サンドポンプ」船ハ七百馬力ヲ有スル大型船ニシテ直チニ本件浚渫箇所ノ如キ淺所ニシテ水路狹隘ナル地域ノ作業ニ適セサルノミナラス一面浚渫中ト雖引續キ材料陸揚ノ必要上出入船船ノ障害トナラサル様手摺若クハ小型浚渫船使用ノ必要アリタルニ因ルモノニシテ軍事上及技術上ノ見地ヨリ之カ使用ヲ不可トシタルモノナリ

會計検査院ニ於テハ八年二月請負人カ「サンドポンプ」船ヲ以テ本件直營工事箇所附近ヲ浚渫セルノ事實ヲ以テ當初ヨリ右工法ニ據ルヘカ

ラシメタルニ因ルモノニシテ右直營工事ナカリセハ「サンドポンプ」船ハ遂ニ該假船入場附近ヲ浚渫スルコトヲ得ザリシモノナリ更ニ本件浚渫箇所ハ請負人ノ請負ニ係ル埋立工事用土砂採集區域内ナルヲ以テ請負工事施行ノ順序ヲ按配シ請負人ヲシテ本件浚渫ト埋立トヲ併施セシムルノ方法ヲ採ルヘカリシモノナリト謂フト雖右工事用土砂採集區域ハ埋立用土砂ノ必要ニ際シテ採集許可範圍ヲ示セルモノニシテ必スシモ此ノ區域内ノ土砂全部ヲ採集スヘシトスルノ謂ニ非ス從テ官ハ其ノ指定採集區域内ナルノ故ヲ以テ請負人カ埋立工

上直接必要ト認メサル區域ノ浚渫工事ヲ濫ニ強制スヘカラサルハ本契約ノ趣旨上明カナリ又敷地造成埋立工事費一立米當二十一錢乃至三十一錢ニ比シ直營工事費一立米當九十二錢九厘ナルハ一見高價ナルカ如キモ右ハ本浚渫工事カ其ノ地質並ニ地形上大部分手摺ニ依リ而モ急速實施ノ要アリシカ爲ニシテ事實上適當ナル單價ナリト謂フヘク之ヲ要スルニ本件直營施行シタル浚渫工事ハ妥當ノ措置ニシテ之カ爲國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノナク敢テ不當ノ措置ニハ非スト謂フヘシ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

農林省所管

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(一九)

昭和七年度 海軍省 (一八)

九四、六六四、〇〇〇

昭和七年度 農林省 (一九(一〇))
補助金ノ支給ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(一〇)
合計二件

三六
二一、六三三、〇〇〇
一、二六、二九七、〇〇〇

歳出臨時部

第一款 産業獎勵費 第一項 農事改良獎勵費

【報告】 (一九) 本項ニ於テ農林省及農事試驗場ノ支出ニ係ル

第二項開墾及土地改良費ニ於テ農林省ノ支出ニ係ル

第二款農村振興費第二項事務費ニ於テ同省、農事試驗場、畜産試驗場、蠶業試驗場ノ支出ニ係ル

第三十款産業振興計畫著手費第一項産業振興計畫著手費ニ於テ農林省ノ支出ニ係ル

第三十七款農村經濟更生施設費第二項事務費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

計九萬四千六百六拾四圓ハ官吏ニ對シ慰勞金トシテ支給シタルモノナルモ本項豫算中ニハ官吏ニ對スル慰勞金ノ積算ナキニ拘ラス前掲多額ノ支出ヲ爲セルハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

右款項豫算ニハ專任職員ノ掲上アルモ極メテ僅少ノ人員ニ過キサカ故ニ之カ豫算ノ執行ニ當リテハ經常部所屬職員等ヲシテ其ノ事務ヲ兼掌若ハ援助セシムルノ必要アリ從テ此等繁劇ナル事務ニ從事シ豫算ノ目的達成ニ盡力不撓者ニ對シ此等經費中ニ掲上シアル手當金ヨリ年末退官等ニ際シ支給シタルモノナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第五項 漁港修築獎勵費

【報告】

(二〇) 農林省ノ支出ニ係ル

一、一、六、三三、〇〇〇

ハ新潟縣ノ施行ニ係ル能生漁港修築工事費支出額六拾萬五千八百六拾九圓五拾九錢ニ對シ交付セル國庫補助金貳拾七萬九千貳百六拾貳圓ノ内ニシテ貳拾五萬七千六百貳拾九圓ハ昭和五年度以前ニ屬スルモノナリ

抑本港修築工事ハ大正七年豫定總工費貳拾七萬七千圓ヲ以テ西頸城郡能生町大字能生地先ニ百六十餘米ノ防波堤ヲ築キ港

内一部ニ延長百八十餘米ノ荷揚場ヲ設クルノ計畫ニ基キ工事ニ著手シ十二年度ニ於テ荷揚場ノ築造ヲ廢シ防波堤ヲ二百二十餘米ニ延長スルト共ニ更ニ隣接小泊灣口ニ延長百十餘米ノ第二防波堤ヲ築造スルノ計畫ニ改メタル外數次設計ヲ變更シ豫算額ヲ六拾壹萬九千餘圓ト爲シタルモノナリ然ルニ右ノ内第二防波堤築造工事ハ十三年度ヨリ著手シ總工費約拾貳萬七千圓ヲ支出シ未タ竣工セサルニ拘ラス昭和七年七月工費不足ノ爲完成不可能ナリトシ遂ニ之ヲ放棄スルニ至レルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

第二防波堤ヲ築造セルハ小泊部落ハ多ク小型漁船ニ依ル漁業ヲ主トスル關係上引揚設備ヲ有スル小泊側ヲ利用スルヲ便トシ此等漁船ノ出漁ニ際シ沖合ハ波浪比較的平穩ナルニ拘ラス沿岸ハ磯波ノ爲出港ヲ妨ケラルルコト多キ現況ニ鑑ミ斯ル場合ニ於ケル航路ノ靜穩ヲ見定ムル迄ノ一時的庇蔭場所ヲ構築シ以テ出漁日數ノ増加ヲ圖ルト共ニ一方能生側港内ハ水面狭小ナル關係上第二防波堤ノ築造ト相俟テ小泊側ト共ニ一體トシテ利用スルヲ有利ト認メタルカ爲ナリ然ルニ七年度ニ於テ之ヲ廢止スルニ至リタルハ六年工事用船舶器具機械並防波堤ノ災害ニ依リ工費ニ不足ヲ生シ該工事ノ完成不能ト爲リタル關係上已ムヲ得サルノ處置ニシテ殘工費ヲ以テ前島烏帽子岩間ニ四十二間ノ防波堤ヲ築造シ以テ第二防波堤築造ノ目的ヲ補フコトトセリ

ト謂フニ在リ然レトモ本件第二防波堤ハ小泊海岸ヨリ約三百米烏帽子岩ヨリ約百米立岩ヨリ約三百米ヲ距テ灣口ニ延長百十餘米ノ島堤ヲ築造シ左ノ如ク

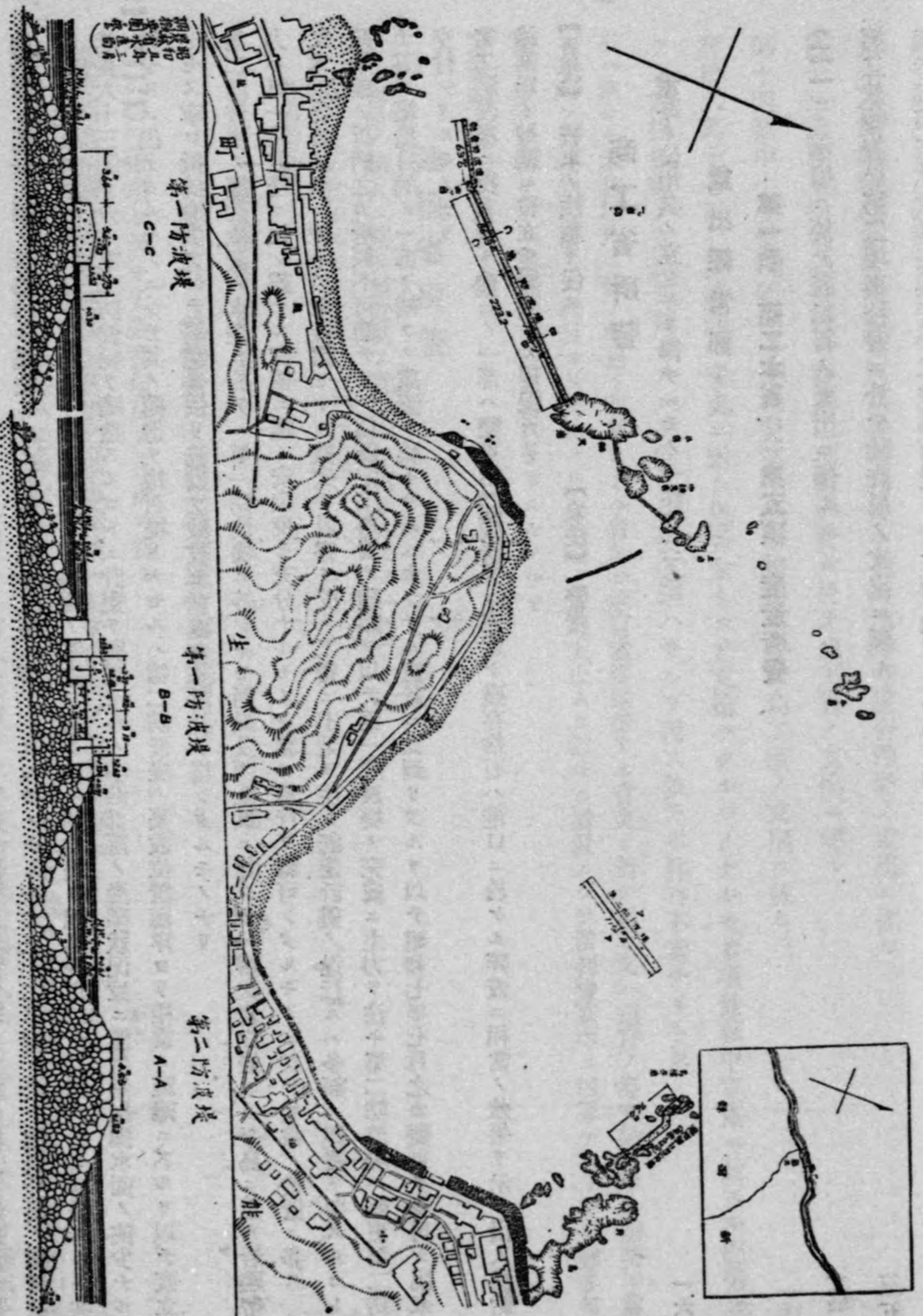
天端高	干潮面上	一米八二
同 幅		四米五五
外側法	水深三米〇三迄	三割
内側法	以下	二割
捨石重量	内部	一、八〇〇疋以上
	外部被覆	一、八〇〇疋以上
		三、七〇〇疋

昭和七年度 農林省 (二〇)

三七

トセル簡易ナル捨石堤ト爲シタルモノナルモ日本海ニ直面シテ最大風向(西風及西北風)ニ面シ水深五米乃至六米ノ箇所ナルヲ以テ斯ル島堤ニテハ到底其ノ風浪及廻波ヲ防護スルニ由ナク一時的庇蔭場所トシテモ十分ノ效果アルモノト認メ難キノミナラス能生地先ニ築設セル第一防波堤ハ水深殆ト同シキ場所ニ於テ四ツ岩、辨天岩ヲ連結シ捨石及混凝土ヨリ成ル高基混成堤ト爲シタルニ微シ本件設計ノ波力ニ對スル安定度ハ十分ナラサルモノト認メラルルニ補助工事トシテ施行ヲ認可シタルハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ヌ現ニ本件島堤ハ六年度迄ニ豫定工事費ノ大部分ヲ費シ捨石豫定高三千七百餘立坪ニ對シ二千六百餘立坪ヲ投入シタルモノナルニ激浪ノ爲散亂シ殆ト效果ナキ狀況ニシテ遂ニ工費不足ノ爲工事完成不可能ナリトシ七年七月之ヲ放棄スルニ至レルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

参照 能生漁港略圖



【辨明】

本件補助金ヲ支出セル能生漁港修築工事ハ大正七年工事費豫算二十七萬七千圓ヲ以テ能生町大字能生地先ニ延長九十間ノ第一防波堤及港内沿岸ニ延長百間ノ荷揚場ヲ築造スルノ計畫ニ基キ工事ニ著手シタルモノナルモ大正十二年度ニ於テ物價暴漲ノ影響並ニ設計變更ニ伴フ増額ノ爲工事費豫算ヲ五十二萬七千圓ニ變更シ荷揚場ノ築造ヲ廢シ第一防波堤ヲ延長百二十二間八分ニ延長スルト共ニ大字小泊地先ニ延長六十三間五分ノ第二防波堤ヲ築造スルコトニ計畫ヲ變更セルハ小泊部落ノ漁業狀況並ニ能生側擁護水面ノ狹少ナル實情ニ鑑ミ已ムヲ得サルニ出テタルモノニシテ其ノ構造ヲ捨石堤トナセルハ第二防波堤ハ築設位置海岸ヨリ相當ノ距離ニアラザリ以テ直立部ヲ有スル混成堤トセス寧ろ抵抗性少クシテ超越ニ依リ波動ヲ減殺セシムルノ設計ト爲シタルモノナリ

第二防波堤ノ築設位置ハ水深ニ於テハ第一防波堤ニ等シキモ西風及西北風ニ對シテハ辨天岩立岩ヨリ平島ニ至ル岩礁帯ニ擁セラル、爲波力ハ第一防波堤ニ比シ緩ナル實情ニ鑑ミ安定度モ充分ナルモノト認メ施行ヲ認可シタルモノニシテ失當ノ措置ニ非ス

又本港修築工事ハ著手以來豫想セサル數次ノ災害ヲ受ケ工費ニ不足ヲ生シ既定計畫ノ遂行ニハ多額ノ經費ヲ要スルコト、ナリタルモ縣財政緊縮ノ折柄之カ増額不可能ナリシ爲既定工事費ノ殘額ヲ以テ第一防波堤ノ完成ニ主力ヲ注キ第二防波堤ハ變更第二防波堤ノ築設ニ依リテ其ノ築設目的ノ一部ヲ補フノ處置ヲ講セサルヘカラサル實狀ニ立到リタルヲ以テ昭和七年七月之カ變更ヲ認可シ出來形ニ對シ補助金ヲ交付シタルモノナリ

第二防波堤ニ投入セル捨石ノ一部ハ變更第二防波堤ニ充當シ殘存捨石ハ港口ニ於ケル碎波ニ相當ノ效果ヲ示シ出入漁船及小泊部落前面道路護岸ノ被護ニ役立ち居レルノ現況ナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 警告

商工省所管

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(二二)

歳出經常部

第一款 商工本省 第五項 度量衡費

【報告】

(二二) 本項ニ於テ商工省ノ支出ニ係ル

第二款特許局第二項事務費ニ於テ特許局ノ支出ニ係ル

臨時部第二款貿易振興費第二項事務費ニ於テ商工省ノ支出ニ係ル

一六一、七七二〇〇
 一三三、三九四〇〇
 三五、三二〇〇〇
 一一、二八五〇〇

第三款調査及試験費第二項事業費ニ於テ商工省福岡鑛山監督局及燃料研究所ノ支出ニ係ル

第十二款臨時産業合理局費第二項事務費ニ於テ臨時産業合理局ノ支出ニ係ル

第十三款産業振興計畫著手費第二項事務費ニ於テ商工省ノ支出ニ係ル

第十四款中小産業統制指導促進費第二項事務費ニ於テ商工省ノ支出ニ係ル

計拾六萬千七百七拾貳圓ハ官吏ニ對シ慰勞金トシテ支給シタルモノナルモ本項豫算中官吏ニ對スル慰勞金ノ積算ナキニ拘ラス前掲多額ノ支出ヲ爲セルハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

右ハ孰レモ本務以外ニ他ノ事務ヲ兼掌シタル者又ハ兼官者等勤務アル官吏ニ對シ年末又ハ退官ノ際支給シタル慰勞手當ニシテ給與ノ權衡ヲ考慮シ比較的餘裕アル科目ヨリ支給スルハ經理ノ實際上止ムヲ得サル措置ニシテ當初豫算中ニ積算ナカリシト雖多年ノ慣例ヲ參酌シ豫算ノ目的ヲ妨ケサル範圍内ニ於テ實行シタルモノナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

逓信省所管

物品ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(二二)

其ノ他不當ナルモノ二件(二三)(二四)

合計三件

歳出經常部

第二款 逓信費 第二項 逓信事業費

【報告】

(二三) 本項ニ於テ大阪逓信局ノ支出ニ係ル

臨時部第五款電話交換擴張費第二項事業費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

計參萬四百貳拾九圓六拾參錢ハ昭和七年十月ヨリ八年三月ニ至ル間八回ニ互リ大阪市北區合名會社安田秀吉商店外一名ヨリ購入シタル配線函二千五百一十箇ノ代價ナリ右ハ高價ニシテ東京逓信局購入品ニ比スルモ著シク懸隔アルヲ以テ之カ事

昭和七年度 逓信省 (二二)

一一、〇三七四〇〇
 一九、三九二二三〇
 三〇、四二九六三〇
 九一、一九〇〇〇〇
 一一一、六一九六三〇

由ラ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

本件購入價格ハ從來東京逓信局ノ價格ニ比較シ甚シク高價ナリシヲ以テ之カ原因ヲ調査セシニ主トシテ其ノ仕様ヲ異ニセルト之カ製造業者ノ大阪ニナキニ因ルモノナルコト判明シタルヲ以テ仕様書及購買方法ノ改善等ニ關シ考究中ナリシモ仕様書ノ改定ハ直ニ實現困難ノ狀況ニ在リタルヲ以テ差當リ七年度ニ於テハ購買方法ノ改善ヲ企圖シ六年度購入當時ニ比シ諸材料ノ市價著シク騰貴シ相當値上ノ趨勢ニ在リタルニモ拘ラス六年八月購入ノ單價十三對配線函拾七圓八拾錢ナリシヲ七年度ニ於テハ十五對配線函ヲ拾四圓七拾錢ニ査定シ結局拾四圓六拾貳錢ヲ以テ隨意契約ヲ爲シタル次第ナリト謂フニ在リ然レトモ本件購入品ハ東京逓信局購入品ニ比シ高價ト認メラルルモ其ノ仕様ヲ異ニスルヲ以テ姑ク之ヲ措キ本件ト同一仕様ニ依リ七年度中逓信本省ニ於テ購入シタル價格ニ對比スルニ

品名	本省		他省	
	總數	單價	總數	單價
五對配線函	一一〇	乃至	四・五〇	九・〇〇
十對配線函	六〇八	乃至	七・四〇	二・〇〇
十五對配線函	五四七	乃至	八・三〇	二・五〇
二十五對配線函	六一九	乃至	九・三〇	四・〇〇

ニシテ縦ヒ東京、大阪間ノ運搬費ヲ斟酌スルモ本件購入價格ハ二十五對配線函ヲ除クノ外孰モ著シク高價ニ失スルモノト認メサルヲ得ス而シテ東京及大阪兩逓信局ヲ除ク各逓信局ノ用品ニ付テハ本省ニ於テ同一仕様ニ依リ之ヲ購入シ交付スルモノナルヲ以テ若大阪ニ製造業者ナキ爲直接購入ヲ不利トスルノ事情アリトセハ之ヲ本省購入ニ俟ツ等適宜ノ方法ヲ講スヘキニ本件ノ如ク高價ニ購入ヲ爲シタルハ措置當ヲ得タルモノニ非ス要スルニ本件ハ物品ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ不利ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

参照

東京逓信局トノ購入比較表

品名	東京逓信局	大阪逓信局	割高
五對配線函	八年三月二十八日契約 五・一〇	八年三月一日契約 九・〇〇	七・六
十對	八年二月一日契約 五・四〇	一・二・五〇	一三・一
十五對	八年三月三十日契約 六・八〇	一・四・一〇	一〇・七
二十五對	八年三月二十日契約 一・一・九〇	一・六・二〇	三・六

【辨明】

本件ニ關スル會計検査院批難ノ要旨ハ大阪逓信局ニ於ケル配線函ノ購入價格カ東京逓信局及逓信本省ニ於ケル購入價格ニ比シ廿五對配線函ヲ除ケハ著シク高價ナルニ不拘之ヲ本省ニ於テ取纏メ購入等ノ方法ヲ採ラス其ノ地ニ製造業者ナキ大阪逓信局ヲシテ高價ノ購入ヲ爲サシメタルハ物品購入上ノ措置其ノ宜シキヲ得サル爲國庫ニ不利ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリト謂フニアリ

由來逓信省ニ於ケル事業用品ノ調達ハ各其ノ物品ノ性質ニ從ヒ納品検査上品質機構等ニ嚴密ナル調査試験ヲ要シ地方逓信局ニ之カ試験設備ヲ缺クモノ大量購入ニ依リ有利ナル契約ヲナシ得ルモノ又ハ所要地ニ製造工場ナキ爲各地方別ニ購入スルヲ不便トスルモノ及全國的ニ規格ノ絕對統一ヲ要スルモノ等ハ總テ本省ニ於テ之ヲ調達シ其ノ他ノモノハ地方逓信局ニ於テ調達セシムル方針ニシテ本品ハ其ノ性質上本省調達品ニ屬シ總テ本省ニ於テ購入ヲ要スルモノナルカ東京及大阪ニ限り所要局検査設備其ノ他ノ關係上當該局ヲシテ購入セシムルヲ利便ナリトスル事由アリタルヲ以テ明治四十五年以來地方購入品ニ移シタルモノニシテ其ノ種類ハ概シテ廿五對及五十對ノ二種ニ限ラレ其ノ購入價格ハ本省購入價格ニ比シ何等懸隔ナカリシモノトス然ルニ最近電話加入者配線ニ「ケーブル」配線方法ノ採用盛トナリ十五對十對、五對等小形ノモノ比較的多ク使用セラルルニ至リタルカ此ノ種配線函ノ使用ハ僅ニ昭和七年度以降ノコトニ屬シ此ノ分ニ對シテハ價格ノ比較對照等ノ機會モ未タ多カラサル結果其ノ間各局購買價格上若干不合理ヲ免レサリシハ遺憾トスル處ナルモ同年度末ニ至リ本省

ニ於テ之ニ氣付クト共ニ之カ單價ノ引下方ニ關シ種々考究ノ結果八年度以降ハ會計検査院意見ノ通達テ本省ニ於テ取極メ合理的單價ヲ以テ契約シタルモノトス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 警告

歳出臨時部

第五款 電話交換擴張費 第二項 事業費

【報告】

(二三) 逓信省ノ支出ニ係ル

六七、四三〇、〇〇〇

ハ中野萩窪間市外電話用「ケーブル」布設工事用トシテ購入セル二百五十二對重信鉛被紙「ケーブル」四千九百四米ノ代價ナリ右區間ニ於ケル電話回線數ハ將來ノ擴張ヲ考慮スルモ此ノ如キ多心「ケーブル」ヲ使用スルノ要ナキモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

現在東京中野間ニハ百八十六對、中野田無間ニハ百十四對、田無日野間ニハ五十四對ノ「ケーブル」各一條アルモ孰モ其ノ心線ノ殆ト全部ヲ使用シテ少數ノ豫備心線ヲ殘スノミナルヲ以テ近キ將來ニ於テ更ニ「ケーブル」ノ増設ヲ要スルノ實狀ナルニ付中野萩窪間「ケーブル」新設ニ際シテハ單ニ當該區間ニ要スル對數ノミニ依ラス將來増設スヘキ東京日野間(將來八王子、甲府、松本等ニ延長スルモノ)「ケーブル」ノ一部ニ充當シ得ルモノヲラシムルヲ有利ト認メ二百五十二對重信鉛被紙「ケーブル」ヲ採用シタルモノナリ

ト謂フニ在リ然レトモ本件工事ハ東京萩窪間即時通話法ヲ施行スル關係上中野萩窪間ニ二百五十二對「ケーブル」ヲ布設シテ四十四回線ヲ使用スルモノナルモ中野萩窪間ニハ百十四對ノ「ケーブル」現存シ内在來ヨリ使用中ニ係ルモノハ六十三回線ナルヲ以テ相當ノ豫備並將來ノ擴張等ヲ考慮スルモ四十四回線ヲ收容スルカ爲ニハ更ニ百十四對「ケーブル」一條ヲ布設スルヲ以テ足ルヘク本件ノ如ク二百五十二對「ケーブル」ヲ布設スルノ要アルモノト認ムルヲ得ス當局者ハ將來八王子、甲府、松本等ニ延長スル東京日野間「ケーブル」ノ一部ニ充當シ得ルモノヲラシムルヲ有利ト認ムト謂フト雖同區間ハ現在二十九

【辨明】

回線ナルヲ以テ將來之ヲ倍加スルモノト爲スモ本件二百五十二對「ケーブル」布設ノ理由ト爲スヲ得ス今本件中野萩窪間ヲ百十四對重信「ケーブル」ヲ以テ布設スルモノトシテ算出スルトキハ約參萬七千圓ヲ以テ足り本件工費ニ比シ約參萬圓ヲ節約シ得ルノ計算ナリ依テ本件ハ不當ナリトス

本件ニ關スル會計検査院批難ノ要旨ハ東京萩窪間即時通話實施ノ關係上中野萩窪間ニ回線ノ増設ヲ要スルニ當テハ將來ノ擴張ヲ見込ムモノトシテ「ケーブル」一條ノ布設ヲ以テ足り之ヲ二百五十二對トシタルハ必要ノ程度ヲ超エ不經濟ナルモノニシテ不當ナリト謂フニ在リ抑電話線路ハ架空線ヨリ漸次「ケーブル」化シ其ノ施工個所ノ狀態ニ應ジテ架空又ハ地下式ト爲スモノニシテ之カ工費ハ裸線ノ場合ト異リ回線數ノ増加ニ比例シ增高スルモノニアラス殊ニ地下式「ケーブル」ニ在テハ工費ノ過半ヲ占ムル管路ノ布設費ノ如キ「ケーブル」對數ノ多寡ニ關係ナキノミナラス大都市及其ノ近郊地ノ如キ交通ノ頻繁ナル道路ノ掘鑿ハ交通障礙其ノ他經濟上勢メテ之ヲ避タルノ要アルヲ以テ之カ工事施行ニ當テハ差向ノ必要ニ對スルノミナラス更ニ相當將來ヲ豫想シ此ノ間ノ所要回線數ヲ見込ミ計畫スルヲ最モ適切ニシテ且經濟的トスルモノナリ電話交換擴張費支辨工事ハ其ノ豫算ノ建前上從來共右ノ諸點ヲ考慮ノ上施行シ來リタルモノニシテ殊ニ本件中野萩窪間工事ハ大都市近郊地ナル關係上當該地將來ノ發展ハ單ニ既往ヲ基準トシテ豫測スヘカラサルモノアルヲ考慮シ若干ノ豫備ヲ見込ミタルモノトス詳言セハ東京萩窪間即時通話實施ノ關係上中野萩窪間ニ地下式「ケーブル」布設ノ要アルニ當テハ之カ實施ノ爲差向急激ニ増設ヲ要スル回線數ノミニ止マラス本區間將來ノ所要ヲ見込ムト共ニ東京吉祥寺間ノ如キ遠カラス同様即時通話トスヘキ必要アルモノ其ノ他附近地ノ關係並此ノ地域ヲ通過シ國分寺、八王子、甲府以遠等順次遠隔ノ地ニ至ル回線ノ關係ヲ併セ考慮シ將來十五ヶ年間ノ所要ヲ見込ミタル結果合計三百五十六回線此ノ「ケーブル」心線三百二對ニ増設ノ必要ヲ認メタルモノニシテ之ニ對シ現在中野田無間ニ於テ百十四對「ケーブル」アルヲ差引キ結局百八十八對ノ所要ナルモノ之ニ前記理由ニ依ル若干ノ豫備ヲ見込ミ仍テ二百五十二對「ケーブル」ヲ採用シタルモノトス從テ會計検査院ノ謂フカ如ク此ノ際百十四對「ケーブル」ヲ採用ストスルモ差向ノ所要ニハ支障ナク而モ仍テ參萬餘圓ハ節約シ得ヘキモ恐ラクハ八ヶ年以内ニ更ニ「ケーブル」ノ増設ヲ要スルニ至ルヘク其ノ際ノ工費ハ管路布設費八萬壹千餘圓「ケーブル」布設費四萬參千餘圓合計拾貳萬四千餘圓ヲ必要トスルモノナルヲ以テ彼是比較スルニ於テハ本件ノ有利ナルコト自ラ明カナリ以上ノ如キヲ以テ本件ハ會計検査院ノ批難スルカ如ク必要ノ程度ヲ超エ不經濟ニ失スルモノトハ認メス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 注意

第十二款 震災復舊及新營費 第二項 物品購買其他設備復舊費

昭和七年度 逓信省 (二二三)

【報告】

(二四) 逓信省ノ支出ニ係ル

一三、七六〇、〇〇〇

ハ昭和八年三月外國小包行囊大型二千四百箇ノ調製用トシテ購入セル「ブック」地八百反ノ代金ナリ

抑郵便行囊類ハ從來巢鴨刑務所ニ材料ヲ交付シテ之カ調製ヲ請負ハシメ來リ其ノ「ブック」地ノ七年度末同刑務所保管殘品ハ七千餘反ニ及フノ計算ナルモ同刑務所ニ於テハ右七千餘反ヲ以テ註文外ニ多數ノ行囊ヲ調製保有シ新規註文品ニ該當スル種類ナキトキハ之ヲ改造ノ上納入シ甚ク不經濟ナルノミナラス八年度註文品材料トシテ本件「ブック」地ノ購入ヲ要スルニ至レルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

現在巢鴨刑務所ニ保管スル「ブック」地ハ三年度以前ニ於テ行囊製作材料トシテ交付シタルモノノ殘品ニシテ當時ハ震災復舊關係モアリ經濟界モ不況甚シカラサリシ爲運轉行囊數相當多ク棄却數モ亦多數ニ上ルノ狀況ニ在リシヲ以テ事業ノ圓滿ナル運行ヲ期セムカ爲當時ノ實況ニ基キ適當ナル行囊類調製計畫ヲ樹立シ刑務所作業ノ特殊性ヲ考慮ノ上若干ノ作業繼續材料ヲ加味シ夫夫所要ノ數量ヲ算出交付シタル次第ナリ而シテ三年度末ニ於テ相當數量ノ殘品ヲ生セシヲ以テ四年度ニ於テハ之カ新規購入ヲ見合セ其ノ所要ニ充當シタルモ爾來經濟界ノ不況漸次深刻化セル影響ヲ受ケ運轉行囊ノ見込數激減セルト棄却數モ亦減少セルトノ結果尙今日迄右全部ノ消化ヲ爲シ得サリシモノナリ然レトモ七年度末殘品七千餘反ニ付テハ最近經濟界漸ク好轉シ行囊ノ所要數漸次増加ノ實況ニ在ルヲ以テ遠カラス調製註文ノ上引取り得ル見込ニシテ右ノ内既ニ註文外ニ調製保有シ居ル行囊ニ對シテハ成ルヘク其ノ儘引取ル管ナルモ之カ改造ヲ必要トスル場合ハ其ノ仕様ヲ比較シ最地質ノ不經濟ト爲ラサル種類ヲ選定スル方針ナリ

前述ノ如ク右殘品ハ事實上ニ於テ既ニ其ノ大部分ハ並行囊甲ニ調製セラレアル爲之ヲ外國小包行囊ニ改造スルコトハ構造ノ關係上地質ニ於テ甚シク不經濟ニ失スルモノアルヲ以テ本件地質ヲ購入シ交付スルコトト爲シタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ巢鴨刑務所ニ於ケル大正十四年度乃至昭和三年度ノ「ブック」地使用數量ハ六萬七千五百餘反ナルニ對シ大正十三年度繰越數量ヲ併セ交付數量八萬四千九百餘反ニ及ヒ常ニ其ノ交付數量ハ著シク所要數量ヲ超エ現ニ昭和四

年度以降ノ使用數量一萬三百餘反ヲ差引クモ尙七年度末ニ於テ殘高七千餘反此ノ價格貳拾壹萬餘圓ノ多キニ上リ而モ其ノ大部分ハ刑務所ニ於テ註文外ニ各種ノ行囊ニ調製セル結果生地トシテ使用シ得ルモノ殆ト皆無ト爲リ遂ニ本件ノ購入ヲ要スルニ至リタルカ如キハ全ク既往ニ於ケル放漫ナル措置ニ基因スルモノニシテ不經濟ノ甚シキモノト謂ハサルヲ得ス而シテ右註文外ニ調製保有シ居ル行囊ニ對シ當局者ハ成ルヘク其ノ儘引取ル管ナルモ之カ改造ヲ必要トスル場合ハ其ノ仕様ヲ比較シ最地質ノ不經濟ト爲ラサル種類ヲ選定スル方針ナリト謂フモ尙之カ具體的整理計畫ナキノ狀況ナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辯明】

本件ニ關スル會計檢査院批難ノ要旨ハ郵便行囊類調製材料トシテ大正十四年度以降昭和三年度迄ニ於テ巢鴨刑務所へ交付シタル「ブック」地ハ實際ノ使用數量ニ比シ過大ニ失シ而モ其ノ過當數ヲ以テ同刑務所ニ於テハ當省ノ註文外ニ多數ノ行囊ヲ調製シタル結果外國小包行囊ニ充ツヘキ生地ナキニ至レルヲ以テ本件生地ヲ購入スルニ至リタルモノニシテ不經濟ナルノミナラス右註文外ニ刑務所ニ保有スル行囊ニ對シ具體的整理計畫ナキヲ以テ不當ナリト謂フニ在リ

由來郵便行囊ハ郵便物運送上缺クヘカラサル必需品ニシテ其ノ所要數ハ郵便物數ノ増減ニ伴フモノナルヲ以テ當省ニ在テハ常ニ一般經濟界ノ情勢ニ鑑ミ全國ニ於ケル郵便物數増減ノ趨向ニ注視シ萬一ノ場合ニ於テモ事業上些ノ支障ナカラシムル爲其ノ保管數二十分ナル準備ヲナスヲ要スルモノトス

而シテ本件實際ノ使用數ニ比シ過大ノ生地ヲ交付シタルト謂フモ時恰モ關東地方大震災ノ後ヲ承ケ燒失行囊ノ補充ヲ要スルモノ竝復興事業ノ進展ニ伴フ郵便物數ノ増加ニ對シ増備ノ要アルモノ等行囊類ノ需要ハ今日ニ比シ著シク高カルヘク豫測セラレ且需要ニ對スル相當ノ豫備ヲモ考慮スルヲ要スル實狀ニ在リタルト一面刑務所ニ於ケル作業上ノ必要ニ因ル若干ノ作業繼續材料ヲ加味スルヲ以テ結局調製費ノ經濟ヲ期スル所以ナリト思料シ夫々所要數ヲ決定交付シタルモノナリ

然ルニ其ノ後測ラスモ經濟界極度ノ不振ニ際會シ運轉行囊ノ補給見込數激減シタルト此ノ情勢ニ鑑ミ燒失補充ヲ差控ヘタル等ノ結果相當殘餘ヲ生シタルモノニシテ之カ殘餘ハ運搬其ノ他ノ關係上翌年度註文ニ繼續充當スルヲ便宜ト認メ其ノ儘刑務所ニ保留スルコトトシ昭和四年度以降ハ全然新規購入ヲ見合セ今日ニ及ヒタルモノニシテ豫定ノ期間ニ之ヲ消化スルニ至ラサリシハ當時ノ事情ニ於テ洵ニ已ムヲ得サリシモノトス

而シテ右材料殘品ヲ刑務所ニ於テ材料ノ儘保有シタルニ於テハ本件外國小包行囊大型二、四〇〇個ノ調製用ニ充當スルヲ得ヘカリシモノ

ナルモ同所ニ於テハ因徒課役ノ關係等作業上ノ都合ニ依リ其ノ程度ヲ超エ右殘品全部ニ對シテ當省既往註文ノ實績ニ基キ將來ノ調整註文數ヲ豫斷シ註文外ニ各種行儀ノ製作工程ヲ進メタル爲生地トシテ殘餘ナキニ至ラシメタルハ遺憾ナルモ右註文外製品ヲ外國小包行儀ニ改造スルコトハ仕様ノ關係上材料甚シク不經濟ナルヲ免レサルニ付既製品ハ之ヲ後年度所要數ニ充當スルコトトシ差向必要ナル本件行儀ニ付テハ別途ニ其ノ材料ヲ購入ノ上製作シタルモノナリ

尙現在刑務所ニ保有スル行儀ニ對シテハ材料ノ不經濟ヲ來スコトナク昭和八年度ニ於テ全部之ヲ當省ニ引取り得ル計畫確定セリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

特別會計

大藏省所管

造幣局

歳出

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(二五)

二七、八七八〇〇〇

第一款 造幣局作業費

第二項 事業費

二七、八七八〇〇〇

【報告】 (二五) 造幣局ノ支出ニ依ル

ハ官吏ニ對スル慰勞金トシテ支給セルモノナルモ俸給豫算ノ殘餘ヲ以テシタル賞與貳千百圓ニ過キサルニ前掲多額ノ慰勞金ヲ支給セルモノニ係リ本項豫算中官吏以下慰勞金トシテ積算セルハ參萬九千九百餘圓ナルニ對シ其ノ約四倍ニ達スル拾貳萬四千餘圓ノ支出ヲ爲セルカ如キハ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

俸給豫算ノ殘餘ヲ以テシタル賞與貳千百圓ニ過キサルニ事業費ヨリ多額ノ慰勞金ヲ支出セリト云フモ造幣局作業費ニアリテハ豫算上事業費ヨリ慰勞金ヲ支出スヘキ者ハ當初ヨリ決定セラレ居ルヲ以テ恒ニ之カ區分ニ從ヒ支出ヲナシツツアルモノニシテ俸給豫算ノ殘餘ヲ以テスル賞與ト事業費ヲ以テスル慰勞金トハ全然受給者ヲ異ニシ其ノ間何等關聯ナキモノナリ而シテ官吏以下慰勞金ノ支出額カ豫算額ニ比シ多額トナリシハ作業廳ニ於テ其ノ從業員ニ對スル給與ノ如何ハ直ニ作業能率ニ影響ヲ及ホスコト甚大ナルモノアリ造幣局ノ如キ多數ノ職

員職工ヲ擁スル作業廳ニアリテハ其ノ作業能率増進上及工場經營上少クモ此ノ程度ノ給與ヲナスハ緊要已ムヲ得サルコトニ屬スルヲ以テ之カ支出ヲナシタルモノナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

印刷局

歳出

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(二六)

八三、四四〇〇〇

第一款 印刷局作業費

第二項 事業費

八三、四四〇〇〇

【報告】 (二六) 内閣印刷局ノ支出ニ係ル

ハ官吏ニ對スル慰勞金トシテ支給セルモノナルモ俸給豫算ノ殘餘ヲ以テシタル賞與四千百參拾五圓ニ過キサルニ前掲多額ノ慰勞金ヲ支給セルモノニ係リ本項豫算中官吏以下慰勞金トシテ積算セルハ貳拾參萬九千餘圓ナルニ對シ約三倍ニ達スル六拾五萬八千餘圓ノ支出ヲ爲シ就中動力費及材料品費ヨリ流用セルモノ拾六萬九千九百餘圓ニ上レルカ如キハ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

俸給豫算ノ殘餘ヲ以テシタル賞與四千百參拾五圓ニ過キサルニ事業費ヨリ多額ノ慰勞金ヲ支出セリト云フモ印刷局作業費ニアリテハ豫算上事業費ヨリ慰勞金ヲ支出スヘキ者ハ當初ヨリ決定セラレ居ルヲ以テ恒ニ之カ區分ニ從ヒ支出ヲナシツツアルモノニシテ俸給豫算ノ殘餘ヲ以テスル賞與ト事業費ヲ以テスル慰勞金トハ全然受給者ヲ異ニシ其ノ間何等關聯ナキモノナリ而シテ慰勞金ノ支出額カ豫算額ニ比シ多額トナリシハ本件給與ヲ受ケタル者ノ大部分ハ工場ニ勤務スルモノニシテ是等ハ普通官廳ニ比シ服務時間遙カニ多ク作業ニ依リテハ其ノ性質上晝夜連續勤務ヲ要スル場合尠カラス殊ニ要急ノ製品並議會關係ノ諸印刷物ニ付テハ不眠不休之ニ當ルノ場合モ稀ナラサルヲ以テ是等多大ノ勤務ニ對シ相當ノ慰勞金ヲ支給スルハ當然ノ措置ナリト認メ之レカ支出ヲナシタルモノナリ然レトモ豫算流用ノ費目ニ付テハ將來考慮スヘシ

【貴決】 措置適當ヲ闕ク

【衆決】 不當

專賣局

歳出

物件ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(二七)

一、〇六三、九八七、五七〇

第一款 專賣局作業費 第二項 事業費

四一、〇二七、五三〇

【報告】

(二七) 本項ニ於テ東京外四地方專賣局ノ支出ニ係ル

一、〇二二、九六〇、〇四〇

第四項專賣品賠償及購買費ニ於テ東京外四地方專賣局ノ支出ニ係ル

計百六萬三千九百八拾七圓五拾七錢ハ本年度中大日本鹽業株式會社及關東州鹽業組合ヨリ購入セル關東州鹽六千五百八拾四萬五千六百五疋ノ代價及門司陸揚地間ノ運賃ナリ右購入價格決定ノ内容ヲ觀ルニ昭和六年八月ヨリ七年一月ニ至ル間ニ於ケル原鹽賣買相場ハ平均百斤當拾七錢參厘ナルモ邦人鹽業保護ノ趣旨ニ依リ六年度ニ於ケル大日本鹽業株式會社製造ノ並等原鹽生産費百斤當貳拾九錢八厘ノ二割引貳拾參錢八厘四毛ニ貯藏缺減五分ヲ見込ミ貳拾五錢ヲ百疋當ニ換算シ原價ハ四拾壹錢七厘ニ査定シ之ニ貯藏場ヨリ本船迄搬出積込費四拾五錢九厘ヲ加ヘ本船乘價格ヲ八拾七錢六厘ト爲シ上等原鹽ハ其ノ品質ノ程度ニ應シ並等原鹽ノ價格ヨリ拾參錢高ニ査定シ之ニ產地門司間ノ運賃其ノ他諸費ヲ加算シ並等原鹽壹圓五拾六錢上等原鹽壹圓六拾九錢ト爲シタルモノナルモ朝鮮總督府ニ於テ七年四月同會社ヨリ購入セル同二等鹽ノ百疋當價格ハ原鹽參拾錢六毛堆鹽積込ヨリ本船積込迄ノ諸掛貳拾八錢參厘九毛合計本船乘五拾八錢四厘五毛ニ產地釜山間運賃其ノ他諸費ヲ加算シ壹圓九錢參厘八毛ニシテ一等鹽ハ壹圓拾七錢七厘參毛ト決定セルヲ以テ之ニ比シ内地購入鹽ハ高價ニ當リ又本件購買數量決定ノ基礎ヲ觀ルニ本年度輸移入見込高中政府購買鹽ヲ二億餘萬疋トシ政府購入鹽ノ賣渡見込高ヲ一億八千餘萬疋ト爲セルモノナルモ右ハ販賣官署別賣渡見込高ニ比シ六千餘萬疋ヲ過大ニ見積リ爲ニ政府購買鹽二億餘萬疋ノ内關東州鹽二千萬疋ノ輸入ヲ増加セルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

(一) 當局購買關東州原鹽ハ色相及含有鹽化曹達量ニ依リ規格ヲ定メアルモ朝鮮輸入鹽ハ一定ノ色相ニ適合スルノミニテ

含有鹽化曹達量ノ定メナキヲ以テ兩者ノ品質ハ同一ニ論スルヲ得ス後者ハ前者ニ比シ遙ニ現品ノ蒐集納入容易ナルニ依リ彼我ノ購買價格ニ差異ヲ生スルハ當然ナリ尙當局購買鹽カ產地賣買相場ヲ基準トセス邦人製鹽ノ生産費ヲ基準トセシハ若產地相場ヲ其儘購買價格ノ基準トスルニ於テハ植民地ニ於ケル邦人經營製鹽事業ノ蹉跌ヲ來スニ至ルヘク加フルニ所謂產地相場ナルモノハ品質ノ不同且比較的劣等ナル土人製鹽ノ相場ニシテ當局ノ購買セムトスル標準ニ適合セサルモノアリ即チ邦人製鹽業者保護ノ趣旨ヲ斟酌セルモノナリ

(二) 製鹽地整理ニ依リ生産減少ト既往數年來嚴重ニ勵行シ來リタル輸移入鹽供給抑制ト更ニ六年度天候不順ニ基ク製鹽不振トノ爲内地鹽貯藏高ハ著シク減少スルニ至リタルヲ以テ需給調節ノ必要上六年度中ニ於テ輸移入鹽供給抑制ヲ撤廢シ其ノ消費増加ヲ圖ルコトト爲シタルニ依リ此ノ方針ノ下ニ七年度鹽購買數量決定ノ基礎タル鹽需給見込ニ於ケル輸移入鹽賣渡見込高ヲ算定シタルモノニシテ地方專賣局提出ニ係ル販賣官署別賣渡見込高ハ前記供給抑制時代ニ於ケル賣渡實績數量ト殆ト差異ナク需要者ニ輸移入鹽使用ヲ積極的ニ勸奨シタル結果ニ基キ作成シタルモノニ非スト認メタルヲ以テ之ヲ採用セサリシモノナリ而シテ輸移入鹽七年度賣渡實績力見込高ニ比シ減少シタルハ内地鹽ヨリ輸移入鹽ヘノ轉換豫期ニ反シ不成績ナリシト經濟界不況並北海漁業不漁等ノ爲賣行良好ナラサリシニ因ル

ト謂フニ在リ然レトモ

(一) 本件關東州並等原鹽ノ色相ト朝鮮購買ノ二等鹽ノ色相トハ畧同様ニシテ其ノ含有鹽化曹達量モ前者百分ノ八十五以上後者百分ノ八十三(朝鮮總督府調査)ニ當リ後者ハ内地購買鹽ノ規格ニ達セサルコト百分ノ二ナルヲ以テ假ニ昭和五年三月專賣局長官達甲第七七六號鹽輸移入及賣渡事務取扱細則ニ依リ其ノ百疋當價格ヲ換算スルトキハ並等ノ價格壹圓五拾六錢ヨリ百分ノ二ヲ低減シ壹圓五拾貳錢八厘八毛ト爲リ又色相モ内地購買鹽ノ規格ニ達セストセハ更ニ百分ノ二ヲ低減スヘキモノナルヲ以テ壹圓四拾九錢七厘六毛ト爲ルノ計算ニシテ朝鮮購買ノ二等鹽壹圓九錢參厘八毛ニ比シ四拾參錢五厘又ハ四拾錢參厘八毛高價ニ當レリ而シテ運賃及輸入地荷揚倉入費ハ内鮮間開差アルニ依リ之ヲ關東州本船乘價格ニ就キテ觀ルニ

内地ノ分百疋當八拾七錢六厘朝鮮ノ分五拾八錢四厘五毛ニシテ縦ヒ色相並鹽化曹達量ニ於テ各百分ノ二ヲ斟酌スルモ開差多キニ過キ上等原鹽ニ在リテモ之ニ準シ決定セルヲ以テ内地購買價格ハ甚シク高價ニ失スルモノト認メサルヲ得ス

(二)當局者ハ右賣渡見込數量ヲ増加シタルハ地方專賣局ノ提出セル外鹽ノ賣渡見込カ供給抑制時代ノ數量ナリシカ爲之ニ依ラサリシモノノ如ク謂フト雖鹽ノ販賣數量ハ特殊ノ事情ナキ限リ輸入鹽増加スルトキハ内地鹽減少スルノ關係ニ在ルヲ以テ輸入鹽供給抑制撤廢ノ爲同鹽ノ賣行増加スルニ於テハ之ニ伴ヒ内地鹽ノ減少スヘキハ當然ナルニ内地鹽ヲ減少スルコトナク輸入鹽中政府購入鹽ノ賣渡見込高ヲ一億八千餘萬疋ト爲シ販賣官署別賣渡見込高ニ比シ六千餘萬疋(賣渡實績一億千餘萬疋ニ比シ七千餘萬疋)ヲ過大ニ見積リ關東州鹽二千餘萬疋輸入ノ増加契約ヲ爲セルモノニシテ本年度末ニ於テハ二箇年餘ノ賣渡量ニ相當スル二億三千餘萬疋ノ輸入額ヲ持越スニ至レルノ狀況ナリ要スルニ本件ハ輸入鹽ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ不利ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

参照

購入價格査定内譯對照

費目	專賣局購入		朝鮮總督府購入	
	並等原鹽百疋當	噸	四月購入二等鹽百斤當	同上百疋當換算
鹽原價	四一七	八七六	一八〇	三〇〇.六
貯鹽場ヨリ本船迄搬出積込費	四五九		一七〇	二八三.九
鹽稅	一六七		一〇〇	一六七.〇
鹽地間運賃	二〇九		一〇七	一七八.六
門司港間運賃	四		一七	二八.三
保險料	四		四	七.五
輸送途中缺減	四四	六八六	四五	七五.一
合計	一、五六二	八七六	六五五	五八四.五
査定價格	一、五六〇		六五五	一、〇九三.八

【辨明】

本件批難ノ要旨ハ(1)關東州鹽ノ當局購買價格カ朝鮮總督府專賣局ノ同鹽購入價格ニ比シ著シク高價ニ失シ(2)輸入鹽ノ賣渡見込高ヲ過大ニ見積リ關東州鹽二千餘萬疋ノ輸入増加契約ヲナシタルハ不當ナリト謂フニアレトモ以下説明ノ通りニシテ之ヲ不當ナリトナスヲ得ス

(1)内地ニ於ケル鹽需給狀況ハ昭和七年度ノ實績ニ徴スルニ需要高内地鹽六四九、一三六千疋輸入鹽五五五、三九七千疋(自己輸入鹽四四〇、七三九千疋ヲ含ム)計一、二〇四、五五五千疋ニ對シ内地生産高ハ僅ニ五七二、四九七千疋ニシテ全需要ノ四割七分五厘ヲ供給シ得ルニ過キサル狀況ニシテ由來其ノ不足額ハ主トシテ我殖民地鹽(關東州鹽ヲ含ム)竝ニ條約上輸入ヲ必要トスル青島鹽ヲ以テ充當シ仍足ラサル時ハ其ノ他ノ輸入鹽ニ俟ツコトト爲シ居リテ將來ニ於テモ輸入鹽ノ需給ノ根本方針ナリトス依テ當局ニ於テハ夙ニ鹽供給源泉確立ノ見地ニ立脚シ關東州鹽輸入價格ノ決定ニ當リテハ關東廳調査ニヨル邦人鹽業者ノ鹽生産費ノ範圍内ニ於テ適當ニ査定減ヲ行ヒ決定シ他面鹽質ノ改善ヲ促シ内地需要者ノ嗜好ニ適合セシムルカ爲メ當局購買鹽ニハ嚴重ナル品質規格ヲ制定シタリ即チ色相ハ所定ノ見本鹽以上ニシテ品質ハ鑑定成績上等原鹽九〇%以上並等原鹽八五%以上タルコトト爲シタリ然ルニ朝鮮總督府專賣局ニ在リテハ漸次鹽田ヲ擴張シ遠カラズ自給自足ノ域ニ達セシメントスル計畫モアリ、從テ鹽ノ輸入ハ暫行的ナリト認メラル此ノ點大ニ彼我根本方針ヲ異ニスル所ナリ鹽輸入管理制度(昭和五年度ヨリ開始)ニ依ル同局購買鹽決定方法ニ付テハ鹽質ノ如何ヲ問ハス民度及管理制前鹽價トノ關係上專ラ低價ノミニ重點ヲ置キ輸入業者ノ競争入札ニ依リ決定シタルモノニシテ輸入鹽ノ成分ニ付テハ當時何等數字ノ制限ナク產地ハ關東州青島山東等ノ何レタルヲ問ハサル等彼我購買條件ヲ異ニシ朝鮮總督府專賣局ノ購入鹽一部ニ付調査シタル含有鹽化曹達量ト當局ノ購買規格鹽化曹達量ノ差ヨリ見テ直ニ當局購買價格ノ高價ヲ斷スルヲ得サル次第ナリ

昭和八年度ヨリハ朝鮮總督府專賣局ニ於テモ競争入札ニヨル購買方法ヲ改メ當局同様輸入業者ヲ指定年度契約ニ據ルコトト爲セリ而シテ朝鮮總督府專賣局釜山受入鹽ノ價格ヲ見ルニ前年ニ比シ百疋當三十九錢七厘八毛ノ著増トナリ當局門司受入鹽ノ購買價格ハ百疋當僅二十二錢ノ増額ニシテ八年度彼我購買價格ノ差ハ運賃及輸入時季等當局不利ノ狀況ニアルニ不拘十八錢八厘四毛ノ差額ニ過キス之ニ由テ觀ルモ當局購買ハ一貫セル主義ニ基ケルモノニシテ不當ニアラサルヲ首肯シ得ラルヘシ

(2)製鹽地整理ニ依ル内地鹽生産減少ト既往數年來勵行シ來リタル輸移入鹽供給抑制トニ加ヘ更ニ六年度ニ於ケル天候不順ニ基ク製鹽不振ニヨリ昭和七年度ヘノ持越鹽ハ内外鹽ヲ通シ三三四、〇八六千疋内地鹽一六五、七一五千疋ニ著減スルノ見込ナリシニ付供給調節ノ必要上輸移入鹽供給抑制ヲ撤廢シ尙需要轉換ヲ積極的ニ獎勵シ昭和七年度ニ於テハ輸移入鹽ノ増加ヲ圖リ以テ供給ノ萬全ヲ期シタル次第ナリ然ルニ實績ニ於テ内外鹽價格ノ權衡等ノ爲メ輸移入鹽ノ賣渡豫期ニ達セス持越鹽ヲ幾分増加セシメタルモ内外鹽總體ノ持越數量ハ三四二、二〇〇千疋(内地鹽八一〇、五〇一、四四疋)ニシテ前數ヶ年ノ實績ニ微スルモ決シテ過大ニアラサル次第ナリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 警告

(參照) ○鹽輸移入及賣渡事務取扱細則(昭和五年三月二十四日)

第五條 輸移入鹽ノ品質ハ其ノ含有鹽化曹達ノ量左記限度以上ニシテ且別ニ定ムル標本鹽ノ色相以上タルコトヲ要ス

關東州上等原鹽 百分ノ九十

同 竝等原鹽 百分ノ八十五

第七條 等外原鹽、粗惡煎熱鹽又ハ粗惡再製鹽ノ購買價格ハ左記ニ依リ之ヲ決定スヘシ

- 一 第五條ニ定メタル限度以上ノ鹽化曹達量ヲ有シ其ノ色相竝等原鹽、煎熱鹽又ハ再製鹽ノ標本ニ達セサルモノハ竝等原鹽、煎熱鹽又ハ再製鹽ノ購買價格ヨリ竝等原鹽、煎熱鹽又ハ再製鹽ノ購買價格ノ百分ノ二ヲ低減スヘシ
- 二 其ノ色相竝等原鹽、煎熱鹽又ハ再製鹽ノ標本以上ニシテ第五條ニ定メタル含有鹽化曹達量限度ニ達セサルモノハ竝等原鹽、煎熱鹽又ハ再製鹽ノ購買價格ヨリ含有鹽化曹達量カ第五條ニ定メタル含有鹽化曹達量限度ヲ下ルコト百分ノ一又ハ其ノ端數毎ニ竝等原鹽、煎熱鹽又ハ再製鹽ノ購買價格ノ百分ノ一ヲ低減スヘシ
- 三 其ノ色相竝等原鹽、煎熱鹽又ハ再製鹽ノ標本ニ達セス且第五條ニ定メタル含有鹽化曹達量限度ニ達セサルモノハ竝等原鹽、煎熱鹽又ハ再製鹽ノ購買價格ヨリ竝等原鹽、煎熱鹽又ハ再製鹽ノ購買價格ノ百分ノ二ヲ低減シ更ニ含有鹽化曹達量カ第五條ニ定メタル含有鹽化曹達量限度ヲ下ルコト百分ノ一又ハ其ノ端數毎ニ竝等原鹽、煎熱鹽又ハ再製鹽ノ購買價格ノ百分ノ一ヲ低減スヘシ

大藏省預金部

歳出

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(二八)

一一、一四〇〇

【報告】

(二八) 預金部(各支部ヲ除ク)ノ支出ニ係ル

第一款 大藏省預金部支出 第一項 事務費

一一、一四〇〇

ハ大藏省内地部局官吏ニ對シ支給セル慰勞金ナリ右ハ預金部事務ニ關與シ勤勞尠カラストシ支給セルモノナルモ此等官吏カ職務上預金部事務ニ關與スルノ故ヲ以テ特ニ本費ヨリ慰勞金ヲ支出スルカ如キハ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

大藏省内地部局官吏ニシテ預金部資金運用上必要ナル諸般ノ調査及本特別會計ノ經理等ノ事務ニ關シ勤勞多大ナリシ者ニ對シ相當ノ慰勞金ヲ支給スルハ當然ノ措置ナリト認メタルニ依リ之カ支出ヲナシタルモノナリ

【貴決】 措置適當ヲ關ク

【衆決】 不當

陸軍省所管

陸軍造兵廠

歳出

物件ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(二九)

八、六三四、五一〇

第一款 陸軍造兵廠作業費 第三項 材料素品費

八、六三四、五一〇

【報告】

(二九) 陸軍造兵廠火工廠ノ支出ニ係ル

ハ陸軍造兵廠火工廠ニ於テ昭和七年六月ヨリ同年八月ニ至ル間五回ニ互リ高安合資會社ヨリ購入シタル薄藥囊地三千六百六十餘米ノ代價ナリ右ハ單價貳圓貳拾貳錢六厘乃至貳圓四拾錢ニシテ同年二月大阪工廠ニ於テ購入シタル同品ノ單價壹圓貳拾錢ナルニ比シ著シク高價ナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

本品ハ野砲其ノ他移動性ノ火砲彈丸藥囊用ニシテ當時時局ノ進展ニ伴ヒ陸海軍ノ需用急増シタルニ際シ造兵廠本部及大坂工廠ニ於テ大量購買ヲ爲シタル結果市中在庫品ハ殆ト皆無ト爲リ特製品ヲ購買スルノ已ムヲ得サルニ陥レリ隨テ市況

昭和七年度 大藏省預金部 (二八) 陸軍造兵廠 (二九)

五五

ハ頗ル強硬ト爲リ品拂底ノ爲高價購買ヲ餘儀ナクセシメラレタルモノトス而シテ本件購買品ハ海軍工廠納品ノ殘品カ又ハ近似品ナリト思料シタルヲ以テ専ラ海軍工廠納品ヲ基礎トシ原價計算ヲ調査シ單價算出ヲ爲シタルモノニシテ材料代七拾六錢工賃六拾六錢特別脫脂料九錢雜費四拾九錢トシ之ニ市況氣配ニ依リ一割乃至二割ノ割増ヲ爲セリ

ト謂フニ在リ然レトモ在庫品皆無ニシテ特製品ヲ購買セル事情アリタリトスルモ七年二月購入ノモノト其ノ品質ニ於テ大差ナク類似品タル福井納品價ハ二月ニ比シ低落セルノ狀況ナルニ徴シ其ノ價格ニ於テ本件ノ如ク格段ノ差異ヲ來スモノト認メ難ク又海軍工廠納品本ハ件購買品ニ比シ精練ノ度高ク破斷抗力強ク品質優良ナルニ其ノ價格ヲ基礎トシ購入價格ヲ決定シタルハ當ヲ得サルモノニシテ高價ニ失スルモノト謂ハサルヲ得ス而シテ七年十月大阪工廠ニ於テ本件供給者外三名ヲ指名シ競争ニ付シ松浦某ヨリ購入シタル同品三千米ハ本件購入當時ニ比シ納ノ市價ニ於テ却テ騰貴シタルニ拘ラス單價壹圓七錢ニシテ著シク低廉ニ購入シ得タルノ狀況ナリ要スルニ本件ハ物件ノ購入ニ當リ價格ノ決定其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本件海軍工廠ハ野砲其ノ他ノ火砲彈藥ノ藥囊製造用ニシテ本品購入當時ニ在リテハ時局ノ進展ニ伴ヒ陸海軍ノ需要急激ニ増加シ陸軍造兵廠本部及大阪工廠ニ於テ大量調辨ヲ爲シタル後ナリシ爲メ火工廠ニ於テハ市井在庫品拂底シ且急速調辨ヲ要スルモノト認メタルヲ以テ優良品ヲ購入スルノ已ムナキニ至レルモノトス

而シテ本品ハ其ノ品質海軍工廠納品ト大差ナク且昭和七年二月陸軍造兵廠大阪工廠納品ノモノニ比シ優良ナルヲ以テ會計檢査院ノ謂フカ如ク敢テ高價ニ失スルモノトハ認メ得サルモ品種ノ選定並ニ調辨期間ノ決定等ニ於テ注意ノ周到ヲ缺キタルモノアルヲ以テ將來注意スヘシ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 警告

海軍省所管

海軍工廠資金

歳出

物件ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(三〇)

一三六、五一 一八〇

【報告】

(三〇) 海軍技術研究所ノ支出ニ係ル

第一款 材料物品費 第一項 材料物品費

一三六、五一 一八〇

ハ同所ニ於テ昭和七年六月及七月隨意契約ニ依リ株式會社小穴製作所ヨリ購入シタル發電機二百五十四基ノ代價ナリ右單價ハ六月契約ノ分(六十四基)ハ五百八拾圓七月契約ノ分(百九十基)ハ五百貳拾五圓ニシテ之ヲ海軍省經理局ニ於テ七年九月株式會社昭和製作所ヨリ購入シタル同品(百五十基)ノ單價參百八拾貳圓ニ比スレハ三割七分餘若ハ五割一分餘高價ニ當リ曩ニ試作セシメタル製造業者ヨリ見積書ヲ徵セス高價ニ購入シタルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

七年六月及同年七月購入ニ當リテハ本省ト同様小穴製作所三菱電機及芝浦製作所ノ三會社ニ分割註文ノ方法ヲ採リタルモノニシテ本品ハ當初小穴製作所ニ於テ研究ノ結果製作ニ成功セシモノナル爲獨占的ニシテ相當高價ナリシ所其ノ後製作技術ノ向上並當研究所ニ於テモ他ニ試作ヲ爲サシメ競争者ヲ出現セシムル等ノ方法ニ依リ價格ノ引下ニ努力セル結果最近著シク低廉ト爲リタルモノニシテ高價ニ購入シタルモノニ非ス其ノ後本省ニテ更ニ安價ニ購入スルコトヲ得タル由ナルモノ二箇月ヲ經過シタル後ノコトナレハ本件契約ノ當時ニ於テハ價格ノ決定ニ際シ參考ト爲シ得サリシモノナリ

ト謂フニ在リ然レトモ當局者カ本省同様分割註文ヲ爲シタリト稱スル數量ハ七年六月分三菱電機及芝浦製作所各三基(單價六百參拾圓) 同年七月分三菱電機及芝浦製作所各十基(單價五百六拾圓)ヲ分割シテ試作セシメタルニ過キス昭和製作所ノ如キハ三菱電機及芝浦製作所カ六年十二月單價六百五拾圓ヲ以テ試作セルニ對シ七年一月單價五百九拾五圓ヲ以テ試作シ價格低廉ナリシモノナルニ本件購入ニ際シ同所ヨリ見積書ヲ徵スルコトナカリシハ妥當ノ措置ニ非ス現ニ七年九月海軍省經理局ニ於テ見積合セノ結果購入セル同品ノ單價ハ昭和製作所(百五十基)分參百八拾貳圓三菱電機及芝浦製作所(各二十五基)分四百拾五圓ナルニ徴スレハ本件購入單價五百八拾圓及五百貳拾五圓ハ著シク高價ニシテ本件契約ニ際シテモ經理

局ニ於ケルト同様見積合セヲ爲サシムルニ於テハ低價ニ購入シ得タルモノト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ物件ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件ハ發電機中特殊ノ性能ヲ有スル航空機用風車發電機ノ購買ニ係ルモノニシテ海軍ニ於テハ本品カ特殊品タル關係上從來主トシテ外國品ヲ用ヒ本邦品トシテハ大正十四年初メテ小穴製作所ニ於テ研究試製セシ以來其ノ特殊ノ技能經驗トノ關係上專ラ同所ノ製品ヲ購入使用セリ然ルニ最近航空事業ノ擴張ニ伴フ本品ノ需要激増ニ鑑ミ勞々兵器自給ノ見地ヨリ之カ國產化確立ノ必要上前記小穴製作所ノ外ニ等シク發電機ノ製造者トシテ海軍購買名簿ニ登錄シアル芝浦製作所及三菱電機ノ二社ヲモ指定シ之カ試製研究ニ當ラシメタルモノニシテ本件昭和製作所ヲ指定セサリシハ同社ハ發電機ノ製造ニ就テハ海軍購買名簿ニ登錄ナク從テ此種發電機製造ニ對スル技術上未タ以テ信ヲ置クニ足ラスト認メタルニ依ル而シテ本件小穴製作所ノ製造單價ハ前記三者ノ内其ノ最低價ヲ以テ決定シタルモノニシテ之ヲ當時ノ工事費並ニ過去數年來ノ實績ニ照シ最モ妥當ナルモノト認メタルモノナリ

其ノ後海軍省經理局ニ於テ昭和製作所ニ同品ノ註文ヲ發シタルハ之ヨリ先同所試製ノ風車發電機ニ就キ試驗検査中ノ處其ノ成績良好ニシテ同社工場設備ノ改善ト相俟テ漸ク信用ヲ置キ得ルニ至リ(昭和七年八月十日)其ノ成績確定シタルヲ以テ新ニ之ヲ加入セシメタルモノニシテ本品ノ如ク軍事上重大影響ヲ及ホシ且極メテ精緻ナル技術的檢討ヲ要スル特殊品ニ對シテハ之カ供給者ノ指定ニ付最モ深甚ナル注意ト極メテ慎重ナル取扱ヲ要スルコト彼ノ一般市販品ト類ヲ同シクスル能ハサルモノアレハナリ又昭和製作所ノ製造單價ハ一見小穴製作所ニ比シ低價ナルカ如キモ右ハ全ク註文時期ノ相違ニ原因スルモノニシテ實際海軍省經理局註文ニ係ル分カ從前ノ分ニ比シ低價ナルハ近來航空事業ノ急速ナル擴張ニ伴ヒ著々研究中ナリシ各會社ノ製造技術並ニ能力カ昭和七年八月頃ニ至リ漸ク研究時代ヲ過キ作業ヲ標準化シ製式ヲ一定シ工場設備ノ完備ト相俟テ大量生産ノ時期ニ到達シ從テ製造單價亦低價トナリシ爲ナリ現ニ昭和製作所ノ製造單價ト雖七年一月試製ニ係ル分ハ五百九十五圓ニシテ小穴製作所ノ製造單價ト同様ナルノミナラス又小穴製作所ノ製造單價モ八年四月契約ニ係ル分ハ三百二十圓ニシテ昭和製作所ノ單價ヨリ低廉ナルニ徴スレハ直チニ以テ昭和製作所ヲ加入セシメナハ低價ニ購入シ得タリトスルヲ得ス要スルニ本件海軍技術研究所カ其ノ物品ノ特殊重要性ニ鑑ミ當時ノ購買名簿中發電機ノ登錄者タル前記三社ヲ指名シ從來ノ實績ニ照シ其ノ最低價ヲ以テ製作セシメタルハ適切妥當ノ措置ニシテ毫モ不當ナルモノニ非スト謂フヘシ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意

文部省所管

學校及圖書館

歳出

工事ノ請負及物品ノ購入ニ關シ不當ナルモノ一件(三三二)
其ノ他不當ナルモノ一件(三三三)
合計二件

二、〇五五九六〇
四、五五一七六〇
六、六〇七七二〇

歳出經常部

第一款 學校及圖書館 第二項 校館費

【報告】

(三三一) 東京聾啞學校ノ支出ニ係ル

一、〇五五九六〇

ハ工事費又ハ物品代等トシテ支拂ヒタル貳萬參千五百八拾六圓拾貳錢ノ内ニシテ壹萬七千七百五圓拾六錢ハ昭和五、六兩年度ニ參千八百貳拾五圓ハ前年度一般會計文部省所管歳出臨時部第一款營繕費第三項新營費ニ屬スルモノナリ右ハ昭和六年度検査報告ニ掲載セシ如ク同校書記中村某カ會計事務擔任中五年四月ヨリ七年六月ニ至ル間ニ於テ福島某外一名ニ工事ノ請負又ハ物品ノ供給等ヲ爲サシムルニ當リ圖面ノ作製工事ノ設計其ノ他諸經費ニ充當スルモノナリト詐稱シ見積金額累計壹萬九千貳百餘圓ニ對シ四千參百餘圓ノ附掛見積ヲ爲サシメ之ヲ正當ナルモノノ如ク裝ヒ合計貳萬參千五百餘圓ノ支拂ヲ爲シ右附掛金額ヲ恣ニ費消シタルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス(昭和六年度一七三五頁及二三五九頁參看)

【辨明】

東京聾啞學校ノ支出ニ係ル
ハ會計検査院検査報告ノ通

一、〇五五九六〇

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

【報告】

(三三二) 東京聾啞學校ノ支出ニ係ル

四、五五一七六〇

昭和七年度 學校及圖書館 (三三一)(三三二)

昭和七年度 米穀需給調節 (三三三)

六〇

ハ東京市本郷區福島某外十餘名ニ支拂ヒタル衣紋掛外三百七十餘廉ノ代金六千貳百六圓六拾八錢ノ内ニシテ千六百五拾四圓九拾貳錢ハ前項ニ掲載セル校館費支出金額中ニ包含セリ右ハ昭和六年度検査報告ニ詳悉セシ如ク孰モ年度内竣功又ハ完納シタルモノノ如ク裝ヒ其ノ代金ヲ本年度ノ所屬ト爲シ支拂ヒタルモノナルモ其ノ實前年度中竣功又ハ完納シタルモノナルノミナラス 大正十五年年度以降同様ノ取扱ニ依リ毎年度所屬經費ノ不足ヲ遞次翌年度經費ノ定額ヲ以テ支辨シ來リタルモノニシテ事實ニ副ハサル證明ニ依リ數年ニ互リ會計法規ヲ無視セル取扱ヲ續行シ來リタルカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス〔昭和六年度(三六〇頁参照)〕

【辨明】

東京豐盛學校ノ支出ニ係ル
ハ會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

農林省所管

米穀需給調節

歳出

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(三三三)

四九、七七〇〇〇

第一款 米穀需給調節費 第二項 事務費

【報告】

(三三三) 本項ニ於テ農林省米穀部ノ支出ニ係ル

第三項事業費ニ於テ同部ノ支出ニ係ル

三六、〇四八〇〇〇
一三、七二二〇〇〇

計四萬九千七百七拾圓ハ官吏ニ對シ支給シタル慰勞金ナルモ(一)事務費ニ在リテハ豫算上官吏以下ニ對スル慰勞金ノ積算額ハ壹萬七千餘圓ナルニ前掲ノ如ク其ノ二倍以上ヲ支出シ内壹萬貳千餘圓ハ農林次官以下二十餘名ノ本省所屬官吏ニ對シ特別會計ヨリ慰勞金ヲ支給シタルモノニシテ當ヲ得サルノミナラス(二)事業費ニ在リテハ其ノ豫算上官吏ニ對スル慰勞金ノ積

算ナキニ拘ラス前掲金額ヲ支出スルカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス要スルニ本件ハ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

米穀需給調節特別會計歳出第一款第二項事務費ニ於テ職員以下ニ給スル手當ヲ計上シアルハ本會計歳出第一款第一項俸給支辨ノ官吏及同第二項事務費支辨ノ職員以下ニ對スルモノノ外米穀法ノ運用及米穀需給調節特別會計ノ事務ニ關シ關係官吏トシテ其ノ勤勞尠カラサルモノニ對シ手當トシテ支給スルノ目的ニシテ同款第三項事業費ヨリ支給シタルハ直接事務執行ノ任ニ當リタル者ニ對シ其ノ勤勞ヲ考慮シ夫々相當ノ手當ヲ給與シタルモノナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

商工省所管

製鐵所

歳入

物件ノ賣拂ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(三五)

五一、七四一四七〇

歳出

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(三四)

四五、六一一五〇〇

用品勘定

歳出

第一款 製鐵所用品及工作費 第二項 用品及工作費

【報告】

(三四) 本項ニ於テ製鐵所及同一潮出張所ノ支出ニ係ル

作業勘定歳出第一款製鐵所作業費第二項事業費ニ於テ製鐵所ノ支出ニ係ル

一〇七、九五四〇〇〇
三四三、六五七五〇〇

計四拾五萬千六百拾壹圓五拾錢ハ官吏ニ對シ年末等ノ慰勞手當トシテ支給シタルモノナルモ之カ豫算額ハ拾四萬四千餘圓ナルニ對シ其ノ三倍餘ニ達スル支出ヲ爲スハ妥當ナラサルノミナラス右ノ内貳萬七千餘圓ハ製鐵所ノ事務ニ盡力シタリトノ事由ニ依リ商工次官以下三十餘名ノ本省官吏ニ支給セルモノナルモ商工本省勤務ノ官吏ハ其ノ所管ニ屬スル當然ノ事務

昭和七年度 製鐵所 (三四)

六一

トシテ關與シタルニ過キサルニ之ニ對シ特別會計ヨリ慰勞手當ヲ支給スルカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス要スルニ本件ハ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 右各項ニ於テ官吏ニ對シ年末等ノ慰勞手當トシテ支給シタルモノノ内製鐵所官吏ニ對スル分ハ其ノ執務時間ノ永キト業務ノ繁劇ナル等ヲ考量シタルノ結果ニ依ルモノニシテ又商工本省ノ官吏ニ對スル分ハ製鐵所ニ關スル事務ニ付キ特ニ勤勞アリタルカ爲支出シタル次第ナリ

【貴決】 措置穩當ヲ闕ク

【衆決】 不當

作業勘定

歳入

第一款 製鐵所作業收入 第一項 作業收入

【報告】 (三五) 製鐵所東京出張所ノ徵收ニ係ル

五二、七四一、四七〇

ハ昭和四、五兩年度中東京及大阪所在民間倉庫ニ留置キタル耳附鋼板三萬六千二百二應餘ノ内六年二月三菱商事、三井物産外五株式會社ニ對シ適當參拾七圓ヲ以テ賣拂契約ヲ爲シタル一萬七千五百七十一應餘ノ代價六拾五萬參百貳拾七圓九拾五錢ノ内(但シ大阪シヤリング株式會社ニ賣拂ヒタル分)ニシテ五拾九萬八千五百八拾六圓四拾八錢ハ六年度以前ニ屬スルモノナリ右ハ昭和六年度検査報告ニ詳悉セシ如ク適當七拾四圓餘乃至八拾五圓餘ヲ以テ賣買契約ヲ締結シ引渡地タル東京及大阪ニ輸送シタルニ拘ラスカ引渡ヲ見合セ低價ナル新契約ニ依ル引渡ニ充當シ市價下落ニ基ク損失ヲ擧ケテ國庫ニ歸セシメタルモノナルノミナラス日本厚板共販組合設立ノ假調印ヲ了シ次テ組合相場ヲ適當五拾五圓ト發表セルノ時期ニ際シ適當參拾七圓ノ低價ヲ以テ從來ニ比スレハ數箇月分ニ當ル多量ヲ一括賣拂契約ヲ爲シタルモノニシテ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス要スルニ本件ハ製品ノ賣却ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス(昭和六年度(三九)六三頁參看)

【辨明】

本件ノ經緯ニ付テハ昭和六年度歳入歳出決算検査報告ニ對スル辨明書ニ詳悉シタルカ如ク要スルニ本所製品販賣上ノ不況對策トシテ已ムヲ得サルノ結果ニ出テタル措置ニ屬スルモノナルカ其ノ後本件契約ニ付テハ右七社ト協議ヲ遂ケ毎月二百應以上ヲ引取ラシムルコトトシ

テ昭和七年六月ヨリ之カ實行ニ移リタル處間モ無ク金輸出禁止等ノ影響ヲ受ケテ鋼材價格ハ遽ニ昂騰シ本所ノ建値モ遙ニ本契約價段ヲ上廻ルニ至リ隨テ右契約品ヲ引渡スコトハ却テ本所ノ不利益ヲ招クノ状態トナリタルヲ以テ更ニ右七社ト協定ヲ爲シ本所ノ建値カ本契約價段ヲ上廻ル場合ニ於テハ本契約品ノ引渡ヲ爲サス其ノ期間中ハ本所カ毎月右七社ニ新規價段ヲ以テ販賣シタル總數量ニ相當スル數量タケ本契約ヲ解除スルコトトシ昭和八年二月ヨリ同年十月迄ノ間ニ之ヲ實行シテ本件全部ノ解決ヲ了シタリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

鐵道省所管

帝國鐵道

歳出

豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(三六) 三三、七五〇、九三三、七七〇
物件ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ二件(三七)(三八) 三一七、九一三、二八〇
虚構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノ一件(三九) 一、二一〇、四三〇
合計四件 三四、〇七〇、〇五七、四八〇

資本勘定

歳出

第一款 鐵道建設及改良費 第一項 建設費

【報告】 (三六) 本項ニ於テ鐵道省ノ支出ニ係ル

七三九、一三九、一六〇

第二項改良費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

一、〇三六、四二二、二二〇

用品勘定歳出第一款鐵道用品及工作費第一項用品及工作費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

一、二八七、九〇八、〇五六〇

收益勘定歳出第一款鐵道作業費第一項事業費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

二九、〇九六、二九二、八三〇

計參千參百七拾五萬九百參拾參圓七拾七錢八官更以下一般従業員ニ對シ支給シタル定期賞與並退職特別賜金及同手當等ナリ右ハ鐵道作業費ニ在リテハ豫算額千九百六拾六萬餘圓ニ對シ前掲貳千九百九萬餘圓鐵道用品及工作費ニ在リテハ豫算額

昭和七年度 帝國鐵道 (三六)

百七拾九萬餘圓ニ對シ貳百八拾七萬餘圓(鐵道建設及改良費ニ在リテハ豫算上雜事手當ノ積算明記ナシ)ヲ支出シタルモノニシテ著シク豫算額ヲ超過セルノミナラス内鐵道作業費八百拾壹萬餘圓鐵道用品及工作費百貳萬餘圓鐵道建設及改良費五拾五萬餘圓計九百六拾九萬餘圓ハ官吏以下退官退職又ハ死亡ノ際特別賜金及同手當トシテ支給シタルモノニ係リ之カ支給額ハ従前ノ内規ニ依リ退官退職又ハ死亡當時ノ俸給又ハ給料ニ對シ勤続年數ニ應シ一定率ヲ乘シ在職十五年ノモノハ二十六年箇月分三十年ノモノハ三十四箇月分ト爲セルモノニシテ縱ヒ從業員優遇ノ趣旨ニ出テタルモノトスルモ其ノ支給率ニ於テ各省一般官吏ニ比シ著シク權衡ヲ失シ豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

本件雜事手當ノ決算額ハ其ノ豫算額ヲ超過シタルモ右ハ豫算ノ流用ヲ許サレタル範圍内ニ於テ不足額ヲ他ノ費途ヨリ流用支出シタルモノナリ尙退職特別賜金及同手當ノ支給制度ハ既ニ鐵道作業局時代ヨリ引續キ實施シ居ル所ニシテ右ハ事業ノ性質上已ムヲ得サル措置ト認メラルルヲ以テ適當ノ支給ニ非ス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

用品勘定

歳出

第一款 鐵道用品及工作費 第一項 用品及工作費

【報告】 (三七) 鐵道省ノ支出ニ係ル

三〇二、〇五〇、八八〇

ハ三菱鑛業株式會社外三名ヨリ購入ニ係ル同省橫濱倉庫納石炭二萬五千六百六十三噸餘ノ代價ナリ右ハ總テ海運ニ依リ橫濱港ニ輸送シ貯取ヲ以テ橫濱倉庫貯炭場ニ納入セルモノナルカ之カ購入單價ハ淄川洗中塊拾貳圓八拾錢崎戸洗中塊拾壹圓參拾錢三池粉炭拾五圓貳拾錢江口塊拾圓美唄粉炭拾圓ニシテ其ノ單價ノ内容ニ就キテ觀ルニ本件貯取ニ依ル陸揚費ハ一應當壹圓參拾錢ヲ見込ミアルモ別途契約ニ係ル川崎市扇町所在省貯炭場納ハ同所繫船岸壁ニ横附シタル船舶ヨリ直接購内設備機械ニ依リ陸揚スルモノニ係リ之カ陸揚費ハ一應當約參拾壹錢ヲ要スルモノニシテ格段ノ差異アルノミナラス同所ニ於テ

ハ尙收容ノ餘地アルモノト認メラルルニ陸揚費ニ於テ著シク不利ナル右橫濱倉庫納トシテ購入セルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

川崎發電所構内貯炭場ハ長百五十五米餘幅五十五米面積八千五百四十七平米ニシテ内長百一十一米餘ハ之ヲ發電所用貯炭場トシ四十四米ヲ運轉用貯炭場ニ使用シ前者ハ一萬六千噸後者ハ六千噸ヲ收容スルノ計畫ニシテ一平米當二噸五乃至二噸六ヲ以テ理想的貯炭量ト認メタリ固ヨリ之以上貯炭シ得サルニ非サルモ積載スル高ノ關係上炭種ノ境界ニ相當ノ費用ト手數トヲ要スルノミナラス炭質ノ變化殊ニ自然發火ノ虞アルニ依リ發電所用炭二萬噸運轉用炭八千噸ヲ以テ最大限度ト爲セリ然ルニ發電所用使用量ハ其ノ全能力ヲ發揮スルトキハ一箇月約二萬千噸ナルヲ以テ該收容力ニテハ一箇月間ノ所要ニ滿タサルモノニシテ萬一事故其ノ他ニ依リ石炭納入ノ順調ヲ缺カカキ場合ヲ豫想スルトキハ更ニ貯炭ノ増加ヲ要スルニ依リ右ノ面積ハ決シテ廣キニ失スルモノトハ認メ難シ而シテ又昭和七年度ニ於テハ購入電力ノ關係上發電所用石炭ノ契約及消費數量ハ前年度ニ比シ孰モ相當減少スルニ至リシヲ以テ更ニ本貯炭場ノ内長一十一米ヲ運轉用貯炭場ニ充當擴張シ出來得ル限り之カ經濟的運用ヲ講シ居ル次第ナルモ元來發電所用炭ハ粉炭ナルヲ以テ塊切込ノ如キ運轉用炭ヲ其ノ儘融通シ難キ事情アルト且同貯炭場ノ機械設備ハ發電所用石炭ノ取扱ヲ主眼トシテ設計シタルモノナル爲之以上運轉用炭ノ増量ハ該機ノ作業能率ヲ著シク減殺セシムル虞アルニ依リ其ノ一部ヲ橫濱倉庫貯炭場納ト爲シタル次第ナリ

ト謂フニ在リ然レトモ發電所ニ於テハ前年度迄常時發電機二臺ヲ運轉セシモ本年度ニ至リ電力購入ノ關係上之ヲ一臺運轉ト爲シタルヲ以テ發電所用石炭ノ消費量ハ九萬二千餘噸ト爲リ前年度ニ比シ六割ニ低下シ一面運轉用石炭ノ納入高ハ六年度九萬百餘噸七年度七萬六千六百餘噸ナルヲ以テ年額僅ニ二萬五千噸内外ノ橫濱倉庫納石炭ヲ收容スルノ餘地ナシトハ認メ難ク現ニ橫濱倉庫納石炭二萬五千餘噸ハ約三十回ニ互リ指定分納セシメタルモノニ係リ其ノ常時貯炭量ハ前年度繰越ヲ加算シ四千噸内外ニシテ川崎納發電所用石炭ノ購入數量八萬九千餘噸ハ毎月數次ニ三千噸内外ヲ分納セシメ前年度越高ヲ

併セ其ノ各月末貯炭量ハ千八十餘噸乃至七千九百餘噸ニ過キサルヲ以テ當局者ノ所謂理想的貯炭量一萬六千噸最大限度ニ萬噸ナルニ徴シ横濱倉庫納ノ分ヲ收容シ得ヘキコト明ナリ假ニ二臺運轉ヲ爲スヘキ場合アリトスルモ二臺運轉ヲ爲シタル前年度ノ發電所用石炭ノ消費量ハ十五萬二千餘噸各月末貯炭量ハ最高一萬五百餘噸ナルヲ以テ理想的貯炭量ニ對シ相當餘裕アルモノト謂ハサルヲ得ス尙貯炭場ニ設備セル揚炭機ハ一日二千四百噸ノ能力アルヲ以テ石炭ノ納入ニ當リ配船ヲ按配スルニ於テハ之カ作業ノ能率ヲ減殺スルモノト認ムルヲ得ス今横濱納ヲ川崎貯炭場納ニ變更セルモノトセハ年額約貳萬五千圓ヲ節減シ得タルノ計算ナリ要スルニ本件ハ石炭ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

川崎發電所構内ニ於ケル貯炭場ハ岸壁ニ沿ヒ長百五十五米餘幅五十五米面積八千五百餘平方米ニシテ内長百一十一米餘ヲ發電所用貯炭場トシ四十四米ヲ一般運轉用貯炭場ニ使用スルノ計畫ヲ以テ施設シタルニ昭和七年度ニ於テハ民間餘剩水力ヲ省營汽力發電所ノ燃料石炭費以下ノ單價ヲ以テ不定時電力トシテ購入シタル關係上發電所用炭ノ購入契約數量及其ノ消費量ハ前年度ニ比シ孰モ減少シタルニ依リ更ニ發電所用貯炭場ノ内十一米ヲ運轉用貯炭場ニ變更シ出來得ル限りノ經濟的運用ヲ講シタル結果發電所用貯炭場ノ理想的收容力ハ減シテ一萬四千噸トナレリ而カモ此ノ收容力ハ一炭種ノ場合ニシテ本發電所ノ如ク經濟上ノ理由ニ依リ數種ノ石炭ヲ使用スルモノニ在リテハ其ノ貯炭境界ニ相當ノ空間ヲ生スヘキニ依リ實際ノ收容力ハ尙之ヨリ以下ニ減少スルノミナラス右不定時電力ハ濁水其ノ他ノ理由ニ依リ三日前ノ豫告ヲ以テ制限又ハ停止スルコトヲ得ルノ契約ナルニ依リ斯ル場合ニハ發電機二臺運轉ノ必要ヲ生ス從テ貯炭場ニ相當ノ餘裕ヲ存置スルニ非サレハ發電作業ノ圓滑ヲ缺キ電車運轉上多大ノ支障ヲ來スコトナキヲ保セス(現ニ八年度ニ於テハ濁水等ノ爲九月央ヨリ不定時電力ヲ停止シタル爲ニ二臺運轉ヲ爲シ且其ノ發電量モ六年度ニ比シ多キヲ以テ之カ石炭ノ消費量ハ多量ナリ)故ニ會計検査院ノ如ク單ニ本年度又ハ前年度ノ如キ發電量ノ渺カリシ時ニ於ケル消費量及日常貯炭量ノ實績ヲ基準トシテ之ヲ論議スルハ正鶴ヲ失スルモノト謂ハサルヘカラス依テ本件ハ不當ニ非ス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 注意

【報告】

(三八) 鐵道省ノ支出ニ係ル

一五、八六二、四〇〇

ハ仙臺鐵道局ニ於テ昭和七年三月二十九日岩淵電氣工業株式會社ヨリ購入シタル新型二重甲磚子四萬千箇及同年六月十三

日日本磚子株式會社ヨリ購入シタル同上五萬三千八百箇ノ代價ナリ右ハ孰モ仙臺倉庫納ニシテ其ノ單價前者拾七錢參厘後者拾六錢參厘ナルモ之ヲ名古屋鐵道局ニ於テ同年三月十六日名古屋倉庫納トシテ購入シタル單價拾參錢八厘及東京鐵道局ニ於テ同年六月四日汐留倉庫納トシテ購入セルモノノ單價拾參錢ナルニ比シ高價ナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

本件豫定單價ハ拾七錢參厘ニシテ之カ購入ニ當リテハ前後兩回共數人ノ當業者ヲ指名シ價格ヲ競争セシメ其ノ低廉ナル者ト契約シタルモノニシテ別段高價ニ失スルモノト認メス

ト謂フニ在リ然レトモ東京鐵道局ニ於テハ六年十一月岩淵電氣工業株式會社ヨリ單價拾參錢七厘ヲ以テ購入シ本年度ニ於テハ之ヲ基準トシ豫定價格ヲ同額ト爲セルニ徴シ本件豫定價格拾七錢參厘ハ高價ニ失スルモノト認ムヘク又本件購入價格ヲ東京名古屋兩鐵道局ニ於ケル同時期ノ購入價格ニ對比スルニ左表ノ如ク

區分	仙臺鐵道局	名古屋鐵道局	東京鐵道局
見積年月日	七年三月二十八日	七年三月五日	七年六月一日
契約年月日	同年三月二十九日	同年三月十六日	同年六月四日
納入期限	同年九月末日	岩淵電氣 日本磚子 同年九月十日	同年七月二十三日
購入契約數量	四〇、〇〇〇箇	四〇、〇〇〇箇	八、〇〇〇箇
納入場所	仙臺倉庫	名古屋倉庫	汐留倉庫
見積價格	一七三厘 (岩淵電氣決定)	一三八厘 (岩淵電氣及 日本磚子決定)	一三〇厘 (岩淵電氣決定)
番	一七六厘	一七五厘	一三二厘

區	分	仙臺鐵道局	名古屋鐵道局	東京鐵道局
三	番	一八二厘	一七七厘八毛	一五二厘
以下略				一四〇厘

ニシテ本件購入價格ハ高キニ過クルモノト謂ハサルヲ得ス右ニ關シ八年五月會計實地検査當時提出ノ關係書類ニ依レハ本件購入單價カ名古屋局ノ分ニ比シ高價ナルハ仙臺局ハ管内ニ製造工場乏シキニ基因スルモノニシテ屢名古屋局管内産ノモノヲ購入スルノ餘儀ナキ事情存スルノミナラス名古屋局契約ハ釜元ニ於テ直ニ檢收スルニ反シ仙臺局納ハ荷造輸送持込荷解等ノ外途中ノ危険ヲモ見込ムヲ以テ割高ト爲ルハ已ムヲ得スト在ルモ仙臺局管内ニハ岩淵電氣工業株式會社外敷工場アルノミナラス名古屋東京兩局ニ於テハ仙臺局管内ニ工場ヲ有セル岩淵電氣工業株式會社ヨリ前記ノ如ク拾參錢及拾參錢八厘ノ低價ヲ以テ購入セルノ狀況ナリ

尙本件ノ外大阪鐵道局ニ於テ七年三月及同年五月總計六萬百五十箇ノ同品ヲ單價拾六錢五厘ニテ購入シ本件ト等シク高價ニ失セルモノト認メラルルモノアリ要スルニ本件ハ物件ノ購買ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

仙臺及大阪鐵道局ニ於ケル碍子購入單價ヲ名古屋及東京鐵道局ノ購入單價ニ比スレハ若干差異アルモ名古屋局ハ斯界ニ權威アル日本碍子株式會社製造工場ノ所在地ナルヲ以テ同局ニ對スル納入ハ運賃諸掛等ノ失費ヲ要スルコト尠キカ爲競争上有利ノ地位ニ在リ然ルニ仙臺局管内ニ部分品ノ製造工場ヲ有スル岩淵電氣工業株式會社ハ關西方面ニ進出シテ其ノ販路擴張ヲ爲サムカ爲ニハ之ト競争セサレハ到底落札セサルモノト豫想シ最モ低廉ナル單價ヲ以テ之カ見積リヲ爲シタルニ一方日本碍子モ同社ニ對抗上是又廉價ナル見積リヲ爲シタルモノト認メラレ又東京局ニ於テハ其ノ位置中央ニ在ルカ爲地理的關係上東西各地ノ見積人ハ學テ激甚ナル競争ヲ爲シタル結果該單價ヲ著シク引下ケタルモノト認ム尙大阪局ニ於ケル碍子ハ他局購入品ニ比シ其ノ眞棒ノ長サ檢山及鑄ノ直徑等幾分大ナルコトモ亦多少ノ差ヲ生スルニ至リタル一因ナリ要スルニ物品ノ購入ニ當リテハ素ヨリ最善ノ注意ヲ怠ラサルモ購入地方ノ狀況原產地ノ遠近見積人ノ見積當時ニ於ケル

經濟關係及事業ノ繁閑並ニ持合品ノ有無等ハ各見積人間ノ競争上ニ重大ナル關係ヲ有スルモノナルヲ以テ之カ爲同一品種ト雖其ノ購入單價ニ若干ノ差ヲ生スルコトハ已ムヲ得サル次第ナリ然レトモ將來此ノ種物品ノ購入ニ際シテハ尙一層留意スヘシ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 警告

收益勘定

歳出

第一款 鐵道作業費 第一項 事業費

【報告】

(三九) 鐵道省ノ支出ニ係ル

一、二一〇、四三〇

ハ旅費トシテ證明シタルモノナルモ其ノ實履中川某カ運輸局旅客課ニ勤務シ旅費ノ計算請求受領等ノ代理事務補助中昭和四年二月ヨリ七年十二月ニ至ル間ニ於テ恣ニ關係書類ノ記載ヲ變改シ騙取シタル總額參千百拾八圓四錢ノ内ニシテ千九百七圓六拾壹錢ハ六年度以前ニ屬スルモノナリ右ハ虛構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

會計検査院検査報告ノ通 但シ被詐取金參千百拾八圓四錢ノ内一時辨償金參百七拾圓ヲ控除シタル殘額金貳千七百四拾八圓四錢ニ對シテハ月賦分納ヲ許シ現在既ニ金六拾圓ヲ徵收セリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

拓務省所管

朝鮮總督府

歳入

租稅ノ賦課徵收ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(四〇)

四、四九〇、八三〇

租稅外歳入ノ徵收ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(四一)

二、七三五、四四〇

合計二件

七、二二六、二七〇

第一款 租 稅 第三項 營業稅

【報告】

(四〇) 本項決算額ノ外京城府ニ於テ徵收ニ至ラサルモノ

四、四九〇、八三〇

アリ右ハ株式會社朝鮮貯蓄銀行ノ課稅標準資本金百參拾萬七千百圓預金貳千六百八拾八萬八千九百六拾七圓ニ對スル稅額ニシテ昭和五年度及同六年度検査報告ニ掲載セシ如ク四年七月貯蓄銀行令ノ施行ニ依リ株式會社朝鮮貯蓄銀行ハ從來經營セル貯蓄銀行業務ヲ繼續スル能ハサルニ至リタルヲ以テ當會社ヲ設立シ其ノ貯蓄銀行業務ヲ總括的ニ承繼シタルモノナルニ之ヲ新規開業ト認メ五年分以降本年迄三年間本稅ヲ免除シタルモノナリ而シテ右ニ對スル當局者ノ辯明ニ依レハ

營業稅令第十三條第一項ニ規定スル營業ノ承繼ヲ以テ營業ノ全部讓渡ノ場合ノミナラス本件ノ如キ營業ノ一部讓渡ノ場合ニモ適用スルモノト解スルトキハ銀行業務ノ一部讓渡アリタル場合課稅標準ノ一タル預金ノ分割ハ容易ニ行ハルルモ他ノ課稅標準タル資本金ノ分割ハ課稅技術上困難ナルノミナラス本件ノ場合ニ於テハ資本ハ讓渡セサルヲ以テ強ヒテ之ヲ分割スルモノ假定ノ數字ニ止リ朝鮮貯蓄銀行ノ從來ノ資本ハ其ノ全額ヲ引續キ同行ニ於テ運用シ居ルニ拘ラス其ノ一部分ヲ實際運用シ居ラサル朝鮮貯蓄銀行ノ資本トシテ課稅スルカ如キ不合理ヲ惹起スルニ至ルヘシ

ト謂フト雖營業ノ一部繼續ノ場合ニ於ケル課稅標準ノ算定ニ付テハ營業稅令施行規則第六條ヲ類推適用シ貯蓄銀行業務ニ對スル見積資本金額ヲ計算スヘキハ當然ノ事理ニ屬ス假ニ朝鮮貯蓄銀行カ貯蓄銀行業務ヲ讓渡シタル後引續キ全資本ヲ其ノ儘爾餘ノ銀行業務ノ爲運用セルノ事實アリトスルモ右ハ業務一部ノ讓渡ト共ニ會社カ減少シ得ヘキ資本金ヲ減資セス其ノ全額ヲ爾餘ノ銀行業務ニ投下運用セルニ過キス故ニ五年分課稅ニ當リテハ貯蓄銀行業務讓渡前ノ資本金額中右貯蓄銀行業務ニ對スル見積資本金額ト朝鮮貯蓄銀行開業後ノ資本金額トヲ通算シ月割平均額ニ依リ算定スヘキモノト又當局者ハ稅令中ニ營業一部讓渡ノ場合ノ徵稅規定ヲ明定セサル法意ニ鑑ミルトキハ本件ノ如キ一部ノ營業讓渡ニ付テハ稅令上所謂營業ノ承繼ヲ以テ律スヘカラサル趣旨ト認メラル即チ稅令第十三條第一項ノ營業承繼トハ納稅義務ノ單位ヲ爲ス營業全

部ノ移轉アリタル場合ノミニ適用スヘキモノト解スヘク本件事例ノ如キハ讓渡者タル朝鮮貯蓄銀行ニ付テ之ヲ觀レハ銀行業務ノ縮小ニ過キスシテ課稅ノ單位ヲ爲ス銀行業ハ依然存續シ居ルノミナラス新設朝鮮貯蓄銀行ハ貯蓄銀行令ニ依リ法定ノ要件ヲ具備シテ其ノ設立ヲ認許セラレ開業ト同時ニ稅令上ノ納稅義務ノ單位ヲ爲スモノニシテ朝鮮貯蓄銀行ヨリ營業ノ一部讓渡アリタルカ爲納稅ノ單位ト爲リタルモノニ非サル事實ニ鑑ミ本件ハ稅令上所謂營業ノ承繼ニ該當セスト認メラル

ト辯明スト雖朝鮮貯蓄銀行ノ經營シタル貯蓄銀行業務ノ一切ヲ朝鮮貯蓄銀行ニ於テ承繼セルハ關係書類ニ徵シ明ナルヲ以テ貯蓄銀行令ニ基キ新會社カ法定ノ要件ヲ具備シ朝鮮總督ノ設立免許ヲ受クル所アリトスルモ朝鮮貯蓄銀行ノ貯蓄銀行業務自體ハ新規ナル銀行業務ヲ創始セルモノニ非サルニ之ヲ新規開業ナリト解シ營業稅ヲ免除スルカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス(内地ニ於テ施行セラレタル舊營業稅法ノ下ニ於テモ斯ル一部讓渡ノ場合ニ關シ徵稅上特ニ明規シタルモノナキモノヲ營業ノ承繼ト認メ且行政判例ニ於テモ營業ノ一部ヲ讓受ケ之ヲ繼續シテ經營スル場合ニ於テ讓受人ノ營業ハ營業稅法ノ適用上新ニ開業シタルモノニ非サル旨解釋セリ)

【辯明】

本項決算額ノ外京城府ニ於テ徵收ニ至ラサルモノ
本項批難ノ要點ハ株式會社朝鮮貯蓄銀行カ株式會社朝鮮貯蓄銀行ヨリ其ノ經營セル銀行業務ノ一部タル貯蓄預金業務ヲ讓受ケタル事實ニ對シ朝鮮營業稅令第十三條第一項ノ所謂營業ノ承繼ニ非スト認定シタルハ不當ナリト謂フニアルモノ本件ニ關シテハ昭和五年度及昭和六年度ノ二回ニ互リ辯明シタル通營業稅令第十三條第一項ニ所謂營業ノ承繼トハ同令第一條ノ營業ニシテ一單位タル營業全部ノ承繼アリタル場合ヲ謂ヒ營業一部ノ讓渡ハ之ニ該當セスト解釋スルヲ妥當ト認ムルヲ以テ右認定ハ不當ニ非スト思料ス會計検査院ハ朝鮮貯蓄銀行ノ經營シタル貯蓄銀行業務ノ一切ヲ朝鮮貯蓄銀行ニ於テ承繼セルハ關係書類ニ徵シ明ナルヲ以テ貯蓄銀行令ニ基キ新會社カ法定ノ要件ヲ具備シ朝鮮總督ノ設立免許ヲ受クル所ナリトスルモ朝鮮貯蓄銀行ノ貯蓄銀行業務自體ハ新規ナル銀行業務ヲ創始スルモノニ非サルニ之ヲ新規開業ナリト解シ營業稅ヲ免除スルカ如キハ失當ノ措置ナリ

四、四九〇、八三〇

ト謂フモ貯蓄預金業務引受ノ事實ハ何等ナキ所ニシテ唯其ノ事實カ稅令ノ所謂營業承繼ニ相當スルヤ否ノ認定ヲ異ニスルニ過キササルモノニシテ要スルニ本件ハ事實ノ問題ニ非スシテ稅令解釋ノ問題ナリ而シテ營業稅令及同施行規則ヲ通シ課稅標準決定後其ノ課稅標準ヲ分別シ之ニ因リ新ニ數個ノ納稅義務ヲ認ムルカ如キ規定ヲ設ケサリシ法ノ趣旨ニ鑑ミルトキハ課稅ノ單位ヲ爲ス一個ノ營業ヲ數個ニ分割スル所謂營業ノ一部承繼ヲ認メサルモノナリト解スルヲ妥當ナリト思料ス

假ニ營業稅令第十三條第一項カ營業一部ノ讓渡ニモ適用アルモノト解スルトキハ課稅標準ノ一タル資本金ノ分割困難ト認メラルルモ此ノ點ニ對シテ會計檢査院ハ

營業稅令施行規則第六條ヲ類推適用シ貯蓄銀行ニ對スル見積資本金額ヲ計算スヘキハ當然ノ事理ニ屬ス

ト主張スルモ同條ハ資本金額ヲ課稅標準ト爲ス營業ト之ヲ課稅標準ト爲ササル營業又ハ非課稅營業トヲ兼營スル場合又ハ資本金額ヲ課稅標準ト爲ス營業ニシテ朝鮮ト朝鮮外トニ營業場アルモノノ資本金額ノ區分計算ヲ爲ス場合ノ規定ニシテ本件ノ如キ營業ノ一部承繼ノ場合ヲ考慮シ居ラサルハ行文上極メテ明瞭ニシテ此ノ規定ノ趣旨ヨリ推論スルトキハ却テ營業稅令第十三條第一項ノ所謂營業ノ承繼ニ營業ノ一部讓渡ヲ包含セサル法意ナルコトヲ明カニスルモノト解セラル、ヲ以テ之ヲ他ノ場合ニ類推適用セントスルカ如キ見解ハ到底承服シ得サル所ナリ又會計檢査院ノ解釋ヲ採ルトキハ朝鮮殖產銀行ハ從來ノ資本金額ヲ引續キ運用シ居ルニ拘ラス其ノ一部分ヲ實際運用シ居ラサル朝鮮貯蓄銀行ノ資本トシテ課稅スルコトナリテ不合理ナリト本府ノ意見ニ對シテ

右ハ業務ノ一部ノ讓渡ト共ニ會社カ減少シ得ヘキ資本金ヲ減資セス其ノ全額ヲ爾餘ノ銀行業務ニ投下運用セルニ過キス

ト主張スルモ苟モ朝鮮殖產銀行カ全然資本ノ讓渡ヲ爲サス朝鮮貯蓄銀行ハ新ニ投下シタル資本ノミヲ以テ營業ヲ開始シタル事實ヲ認ムル以上朝鮮殖產銀行ノ資本ヲ朝鮮貯蓄銀行ノ資本トシテ課稅スルノ不合理ナルハ論ヲ俟タサル所ニシテ朝鮮殖產銀行カ減資シ得タリヤ否ハ此ノ場合問題トスヘキ限ニ在ラスト認ム

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 【衆決】 承認

(參照) ○朝鮮營業稅令(昭和二年三月三十一日)

第十一條 新ニ開始シタル營業ニ付テハ開業ノ翌年ヨリ營業稅ヲ課ス

左ニ掲グル營業ニ付テハ開業ノ翌年ヨリ三年間營業稅ヲ免除ス

銀行業(下略)

第十三條 營業ノ承繼アリタルトキ又ハ營業ノ承繼ト認ムベキ事實アリタルトキハ納期ニ於テ現ニ營業ヲ爲ス者ヨリ營業稅ヲ徵收ス

前項ノ場合ニ於テ前營業ニ付第十一條ノ規定ニ依リ營業稅ヲ課セズ又ハ之ヲ免除スル期間殘存スルトキハ現營業者ハ其ノ殘存期間ヲ承繼ス

○朝鮮營業稅令施行規則(昭和二年三月三十一日)

第六條 資本金額ヲ課稅標準ト爲ス營業ト之ヲ課稅標準ト爲サザル營業又ハ營業稅令第一條ニ掲ゲザル營業トヲ兼營スル場合ニ於テハ課稅標準ト爲スベキ資本金額ハ資本金額ヲ課稅標準ト爲ス營業ニ屬スル資產價額ノ總資產價額ニ對スル割合ヲ總資

本金額ニ乗ジテ之ヲ計算ス

前項ノ規定ハ資本金額ヲ課稅標準ト爲ス營業ニシテ朝鮮ト朝鮮外トニ營業場アルモノノ資本金額ノ計算ニ付之ヲ準用ス

前二項ノ場合ニ於テ資產價額ノ割合ニ依ルヲ不適當トスルトキハ收入金額ノ割合其ノ他適當ナル方法ニ依リ之ヲ計算ス

第三款 官業及官有財產收入 第八項 刑務所收入

一、七三五、四四〇

【報告】 (四一) 本項決算額ノ外開城少年刑務所ニ於テ收入ニ至ラサルモノアリ右ハ昭和四年十一月以降五年六月ニ至ル間ニ於テ京城府小山某ニ對シ交付シタル荷札及運送用印刷物ノ代金ニシテ五年度ニ於テ測定シタルモ收入ニ至ラス其ノ儘繰越ニ係ル五千五百九拾圓六拾壹錢ノ内未納ニ屬スルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

四年四月小山某ト取引開始ノ當時ニ於テハ豫納金五百圓ヲ納付セシメ製作品ハ右豫納金ノ範圍内ニ於テ交付シ來リタルモ其ノ後注文増加シ且其ノ引渡期間ハ注文引受後五日乃至七日程度ノ短期間ナルヲ以テ製作命令ヲ發シ成工ヲ爲シ代金徵收ノ手續ヲ了シテ製作品ノ交付ヲ爲スコト困難ト爲リ其ノ月分ヲ翌月取纏メ測定スルノ取扱ト爲シタル所其ノ後益注文増加シ四年十一月以降ハ全ク測定手續及製品出納命令ノ手續ヲ履マシ且領收證書ヲモ徵セスシテ製作品ノ交付ヲ爲スモノヲ生シ五年六月精査ノ結果四年度分貳千四百拾壹圓五拾參錢五年度分參千四百拾九圓八錢計五千五百九拾圓六拾壹錢ノ測定未済アルヲ發見シ測定シタルモ同人ハ財界不況ノ打擊ヲ被リ直ニ納入ノ資力ナク其ノ儘收入未済トシテ六年度以降ニ繰越スノ已ムナキニ至リタルモノナリ

ト謂フニ在リ然レトモ元來本件官司業ニ屬スル製品ノ賣拂ニ當リテハ其ノ代金ヲ前納セシムヘキモノナルモ若シカ前納ヲ爲サシメサルニ於テハ豫納金ヲ納付セシムル等徵收確保ノ途ヲ講スヘキモノナルニ四年四月五百圓ヲ豫納セシメタル後注文増加シテ之カ増額ノ必要アリタルニ其ノ方途ヲ講セサルノミナラス爾後注文益増加スルニ及ヒテハ全ク歳入ノ測定及製品出納命令ノ手續ヲ履マス且交付物品ニ對スル領收證ヲモ徵セスシテ注文者ニ對シ製作品ヲ交付シ爲ニ前掲貳千七百餘圓ヲ今尙收入スルニ至ラサルカ如キハ失當ノ措置ト認メサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

本項決算額ノ外開城少年刑務所ニ於テ收入ニ至ラサルモノ
會計検査院検査報告ノ通
但シ本件未收入金中昭和八年度ニ於テ金五拾五圓貳拾八錢ヲ徵收シタルモ殘額金貳千六百八拾圓拾六錢ハ納入資力ナク徵收不能ニ付昭和八年六月二十七日付貸付金ニ編入セリ尙責任官吏ニ對シテハ譴責又ハ戒飭處分ニ附シタリ

二七三五^四四四〇

【貴決】 措置穩當ヲ闕ク
【衆決】 不當

朝鮮鐵道用品資金

歳出

物件ノ製作ヲ請負ニ付スルニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(四二)

九二、〇九七^四七五〇

第一款 朝鮮鐵道用品費 第二項 用品及工作費

【報告】

(四二) 朝鮮總督府鐵道局ノ支出ニ係ル

九二、〇九七^四七五〇

ハ昭和六年十二月ヨリ七年十月ニ至ル間四回ニ互リ隨意契約ヲ以テ龍山工作株式會社ニ製作ヲ請負ハシメタル「ポイント」及「クロッシング」五百五組ノ代價ナリ右一組當ノ單價ハ五年六月製作請負價格ノ五分引トシ八番及十番「ポイント」百六拾八圓拾五錢八番「クロッシング」百九拾圓九拾五錢十番同百九拾四圓七拾五錢ト爲シタルモノナルモ物價勞銀ノ低落ニ比シ其ノ値引少ナキニ過クルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ
本件「ポイント」及「クロッシング」ノ製作ニ要スル主タル材料鋼材ノ各種代表寸法品ノ價格ハ

品	種	單位	五年六月	六年十二月	七年五月	七年十月
丸鋼	5" / 8	地	八一 ^圓	七〇 ^圓	六七 ^圓	七六 ^圓
平鋼	7" / 8 × 3"	"	一〇〇	九〇	九〇	一〇一
山形鋼	3" / 8 × 3' 12"	"	八八	七八	七七	一〇〇
鋼板	3" / 4 × 3' × 6'	"	九五	八五	八一	一一二
平	均		九一	八〇、 七五	七八、 七五	九七、 二五

ニシテ六年十二月契約當時ノ平均價格八拾圓七拾五錢ト爲リ算定基礎タル五年六月ノ平均價格九拾壹圓ニ比シ約一割一分ノ値下ナリ而シテ之カ製作ニハ本作業ニ繼續從事セル經驗アル熟練職工ヲ要シ一般自由労働者若ハ臨時ニ雇傭シ得ル所謂不熟練職工ヲ以テスルコト能ハス隨テ本品製作工費ハ低落セル一般勞銀率ヲ適用査定スルハ妥當ナラス事實上本品製作ニ要スル勞銀ハ低下シ得サルモノト認ムルヲ適當トス依テ材料價值段ノ低落率一割一分ヲ本件註文品ノ材料費(支給材料タル軌條ヲ除キタル材料費三、五工費六、五)ニ割掛ケ算出スルトキハ四分弱ニ當ルモ之ヲ五分値引セシメタルモノナリ又七年五月製作請負ノ分ニ對シテハ契約當時材料價格幾分低落セルモ其ノ差僅少ナルヲ以テ前契約價值段ヲ踏襲シ同年十月契約當時ハ材料價值段昂騰セルモ從前材料費ノ値下ヨリ其ノ都度値引セサリシヲ以テ是亦前値ヲ踏襲セルモノナリト謂フニ在リ然レトモ「ポイント」及「クロッシング」ノ主要材料タル鋼材ハ五年六月ニ比シ一割餘ヲ低落セルコトハ答辯ニ謂ヘルカ如クナルノミナラス本年度京城工場ニ於テ直營製作セル八番及十番「ポイント」ノ價格ハ製作工費六拾四圓九拾錢軌條ヲ除ク材料費六拾貳圓拾八錢合計百貳拾七圓八錢ナルノ狀況ニシテ其ノ製作工費モ五年度ニ比シ著シク低落セルモノ

ナルニ之ヲ無視シ五年度製作工費ニ比シ低下ノ餘地ナシト爲スカ如キハ當ヲ得タルモノニ非ス要スルニ本件ハ製作請負ニ付スルニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

京城工場製作工費實績

品名	五年度	六年度	七年度	五年度ニ對スル低落歩合	五年度ニ對スル低落歩合
八番及十番ポインツ	一一二、二七	八九、二三	六四、九〇	〇・二〇	〇・四二
八番クロッシンダ	一一三、七八	一〇九、四四	九〇、五八	〇・一一	〇・二六

【辨明】

朝鮮總督府鐵道局ノ支出ニ係ル

九二、〇九七、七五〇

本件検査報告批難ノ要旨ハ昭和六年十二月ヨリ七年十月ニ互ル期間内ニ於テ龍山工作株式會社ニ註文セル「ポインツ」及「クロッシンダ」五百五組ノ代價カ五年六月同會社ニ註文セシモノニ比較シ其ノ値引率五分ニ過キス七年六月鐵道局京城工場ニ於テ直營製作セルモノニ比シ高價ナルハ一般物價及勞銀低落ニ相當スル値引ヲ爲シ居ラサル爲ニシテ不當ナリト謂フニ在ルモ右値下率ヲ五分ト爲シタル理由ハ會社ノ雇傭スル勞働者カ一般市場勞働者ニ非サル爲直ニ一般ノ勞銀指數ノ低落ニ從ヒ工費ノ低落ヲ期シ得サルハ鐵道局工場ニ於ケルト同様ナリト思惟セシモノニシテ鐵道局京城工場ニ於テ七年六月直營製作セシ當該品カ其ノ工費ニ於テ著シク低減セシハ主トシテ同工場ニ於テ全般の機械設備ノ整備ヲ見殊ニ本「ポインツ」及「クロッシンダ」製作ニ就テハ「ローラーコンベヤ」ノ使用、電動機械鋸機ニ依ル軌條ノ切斷、電動水壓機ニ依ル軌條ノ曲直等ヲ開始シ製作工程ノ改良ヲ見タル爲著シク所要人工ノ低減ヲ見タルニ起因スルモノナリ而シテ鐵道局工場ニ於テ如此改良ヲ加ヘ所要人工ノ低減ヲ期シ得タル以上ハ同會社ニ於テモ同様ノ改良ヲ行ハシメ鐵道局工場落成工費ヲ以テ契約單價トナスヲ理想トスヘシト雖モ民間工場ヲシテ此ノ域迄達成セシムルコトハ其ノ資力及指導技術者等ノ關係ニ於テ直ニ期待シ難キ所ナルヲ以テ當時民間會社ニ請負ハシムル以上五分ノ値引ハ決シテ過少ナリト謂フヲ得サルヘシ尙其ノ後引續キ製作者側ニ改良ヲ促シ八年三月以降ハ總テ最近ノ鐵道局京城工場落成工費ヲ其ノ基準トスルコトヲ得ルニ至レリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 警告

臺灣總督府

歳入

物件ノ賣拂ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(四三)

一、一九三、三五六、〇三〇

官有地ノ貸付ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(四四)

五八七、三〇〇

合計二件

一、一九三、九四三、三三〇

歳出

補助金ノ支給其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(四五)

一三八、九七〇、五三〇

歳入經常部

第二款 官業及官有財産收入

第四項 森林收入

一、一九三、三五六、〇三〇

【報告】

(四三) 臺灣總督府營林所ノ徵收ニ係ル

ハ昭和七年三月及同年六月臺灣材友會(同會ニ於テ實質上代行スルコトト爲セル合資會社臺灣丸太共同購買所及同臺灣木材共同販賣所名義ノ分ヲ含ム)ニ對シ拂下ケタル扁柏、紅檜等丸太及製品四萬九千九百七十六立米餘ノ代金ナリ右ハ昭和六年度検査報告ニ詳悉セシ如ク合資會社臺灣丸太共同購買所及同臺灣木材共同販賣所ノ政府ニ對スル賣拂代延納金ノ整理ニ困難ナルモノアリトシ三井物産株式會社ノ加入ヲ得組織シタル臺灣材友會ニ對シ兩會社ノ債務整理ヲ終ル迄一般割引率(丸太一割六分製品一割二分)ニ九分ノ増加割引ヲ爲スコトトシ低價ニ拂下ヲ爲シタルハ失當ノ措置ト認メサルヲ得ス右ニ關シ當局者ハ

最近木材界ノ不況ニ因リ大量取引契約者ニ在リテハ手持品ノ増加、販路ノ維持開拓等ノ爲營業上ノ不利困難甚シキモノアルヲ以テ從來ノ割引率ヲ廢シ取引數量ノ多少ニ應ジ數階段ノ割引率ヲ用フルコトニ變更シタル結果材友會ニ對スル割引率ハ丸太二割五分製品二割一分ト爲リタルモノニシテ右割引率ノ決定カ延納金整理ノ目的ニ出テタルモノニ非サルコトハ其ノ決定ノ日時カ材友會トノ契約日時ヨリ數月前ニ在リタルノ事實ニ徴スルモ之ヲ察知シ得ラルヘシ

昭和七年度 臺灣總督府 (四三)

ト辯明スト雖本件割引率ノ增加カ前記兩會社ノ債務整理ヲ目的ト爲シタルモノナルハ指令條件ニ依リ明ナル所ニシテ八年六月會計實地檢査ノ際ニ於ケル調査ニ依レハ臺灣材友會員タル三社間ノ契約ニ於テハ兩社名義ヲ以テ拂下ヲ受クルモノ及材友會ニ直接拂下ヲ受クル木材全部ニ對スル割引歩差九分ニ相當スル金額ヲ三井物産株式會社ヲシテ別途ニ處理セシメ之ヲ以テ既往ニ於ケル兩社ノ負債整理ニ充當スルコトトシ七年度ヨリ實行セルノ狀況ナリ要スルニ本件ハ木材ノ賣拂ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス〔昭和六年度四九八三頁參看〕

參照

指令條件摘記

一、年年ノ拂下數量ハ大體從來臺木會社及丸太會社兩社ノ契約量ト島内他契約者トノ割合ヲ標準トスルモ當府事業計劃ノ變更ニ依ルカ又ハ災害不可抗力等ノ爲木材ノ生産ニ著シク變動アリタル場合ハ年ニ依リ契約標準數量ヲ増減スルコトアルヘシ
二、島内他契約者トノ割引歩差ハ臺木、丸太兩會社カ現在當府ニ對スル債務償還ヲ終ル迄九分(等外品ヲ除ク)トス但シ三社カ其ノ直接販賣店ニ對スル割引ハ歩差ヲ附スルコトヲ得ス
三、昭和六年度ノ引渡材ニ限リ前項ノ外特別割引トシテ更ニ三分ヲ増率ス此場合ト雖モ前項但書ノ條項ニ變ルコトナシ但シ營林所長ノ承認ヲ得タル場合ハ此限リニ在ラス
五、材友會ハ拂下材ノ直接販賣ヲ爲スコトヲ得ス但シ特ニ營林所長ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此限リニ在ラス
六、契約繼續豫定期間ヲ昭和七年度ヨリ起算シ十箇年トス但シ繼續額出ニ依リ更ニ右期間ヲ延長スルコトアルヘシ

【辨明】

臺灣總督府營林所ノ徵收ニ係ル

一、一九三三五六〇三〇

本件ハ昭和六年度決算檢査報告ニ對シ辯明ノ通過切當否ノ方法ナリト信シ措置シタルモノナルモ將來注意スヘシ
【貴決】 異議ナシ 【案決】 警告

第十項 官有物貸下料

【報告】

(四四) 新竹州ノ徵收ニ係ル

五八七三〇〇

新竹州ニ對シ貸付シタル新竹郡六家庄外一箇所所在官有原野七十九甲餘ニ對スル昭和八年一月ヨリ同年十二月ニ至ル料金ナリ

抑本地ハ臺灣官有森林原野及產物特別處分令ニ依リ大正十五年三月田七十二甲餘畑六甲餘ニ開墾スルヲ條件トシ貸付シタルモノニシテ貸付期間ヲ十箇年ト定メ當初ノ三箇年間ニ於テ開墾ヲ完了スルモノトシ開墾期間中ハ之カ貸付料ヲ免除シ開墾完了後ニ於ケル貸付料ハ貸付期間中ニ於ケル小作料收入額六萬五千四百餘圓ヨリ開墾費五萬七千二百餘圓ヲ控除シタル益金八千二百餘圓ヲ基準トシ其ノ五割ヲ成功後ニ於ケル貸付年數ニテ除シ前掲金額ヲ一箇年貸付料トシテ許可セルモノナルモ州ニ於テハ許可後開墾費ヲ支出シタルノ事實ナク直ニ之ヲ小作ニ付シ多額ノ小作料ヲ徵收シツツアルノ實況ナルヲ以テ貸付料ノ査定低廉ニ失シタルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

本貸付地ハ六家隘口堤防ノ完成ニ依リ概ネ安全地帯ト爲レルモ元來本地ハ頭前溪ノ派流溪畔約二里半ノ間ニ點在セル石礫地又ハ低濕地ニシテ客土及埋立ヲ要スル地域ニ屬シ之ヲ田七十二甲餘畑六甲餘ニ開墾ノ豫定ナリシカ起業當初十八甲ノ水田豫定地流失シ墾成不能ト爲リタルト土地ノ利用目的ニ於テモ一部變更ヲ餘儀ナクサレシ等ノ爲成功後ノ水田四十八甲餘畑十二甲餘ト爲レリ而シテ之カ開墾當初ニ於テハ總經費ヲ州豫算ヨリ支出スヘキ豫定ナリシモ州財政ハ全額ノ計上ヲ許ササル事情アリ已ムヲ得ス勞力費ハ小作人ニ負擔セシメ其ノ代償トシテ小作料ヲ減額スルコトトシタルニ小作人モ亦積地金(一般小作ニ付テハ小作料ニ相當スル數金ヲ徵スル慣例ナリ)ヲ徵セラレサルト起業主カ公共團體ナルヲ以テ長期ノ貸付ヲ受ケ得ラレ尙自家勞力ヲ以テ開墾スル便アル等ニ因リ之ニ應シタルモノナリ而シテ州ハ水利組合費其ノ他壹萬貳千貳百餘圓ヲ支出シ之カ開墾ヲ了セルモ曩ニ流失セル約十八甲ニ對シテハ積極的防水設備ヲ爲スニ非サレハ之カ利用不可能ナルヲ以テ相當ノ經費ヲ要スル見込ニテ昭和五年會計實地檢査ニ際シ多大ノ經費ヲ要スル旨回答ヲ爲シタル次第ナルカ其ノ後周圍ノ狀況ニ鑑ミルトキハ到底經濟的ニ開墾利用ノ價値ナキニ至レルヲ以テ投資ヲ見合セタルモノナリ以上ノ如クナルヲ以テ表面的ニ表ハレタル州投資額ハ起業計畫ニ比較セハ大ナル懸隔アルモ前述ノ如ク開墾ノ大部分ヲ小作人ニ負擔セシメタルト約十八甲ハ流失セル爲起業費ヲ支出スルニ至ラザリシ結果ニシテ收入モ亦起業當初ノ見込額ヨリ相當減少シ居ル狀況ニシテ單ニ形而上ノ數字ノミニテ計量シ難キ事情アリ尙本地ハ時時出水ノ節災害ヲ被リツ

ツアルヲ以テ防水排水等ノ耕地改良ニ關シテハ州ニ於テ相當考慮中ノモノニシテ近キ將來ニ實行シ得ラルルモノト思料セラル

ト謂フニ在リ然レトモ本地ハ元來州ニ於テ開墾資金ヲ借入レ全地積ヲ新ニ開墾スルモノトシテ當初三箇年間貸付料ヲ免除シ州ノ小作料收入ハ初年度皆無二年目千參百餘圓三年目參千參百餘圓ト豫定シタルモノナルニ州ハ直ニ之ヲ小作ニ付シ借受初年度ニ於テ參千八百餘圓二年目四千貳拾餘圓三年目四千四百餘圓ノ小作料ヲ收入セルノ事實ニ徴シ其ノ大部分ハ既ニ墾成地タリシコト明ナルヲ以テ全地ノ開墾ヲ要スルモノトシ貸付料ヲ免除スルカ如キハ妥當ノ措置ト謂フヲ得ス今貸付以後既往七箇年間ノ成績ヲ觀ルニ州ニ於テハ小作料總收入額參萬四千六百餘圓ニ對シ水利組合加入金及管理費借地料等壹萬貳千貳百餘圓ヲ支出シ平均收益年額參千貳百餘圓ニ上リ豫定額四百拾餘圓ニ對シ約八倍ニ當ルノ狀況ニシテ貸付料ノ査定低廉ニ失シタルモノト謂ハサルヲ得ス尙當局者ハ耕地改良ニ關スル防水排水等ニ就テハ相當考慮中ニシテ近キ將來ニ實行シ得ラルルモノト思料スト謂フモ八年五月會計實地検査ノ際ニ於ケル調査ニ依レハ此ノ種計畫ヲ實施スルノ模様ナク一面八年一月國費貳萬八千圓ヲ以テ隘口堤防補修工事ヲ實施セルノ狀況ナリ要スルニ本件ハ土地ノ貸付ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ不利ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

新竹州ノ徵收ニ係ル

本件許可地ニ付借受者タル新竹州カ豫定ノ開墾資金ヲ投セス借受初年目ヨリ之ヲ直ニ小作ニ付シ小作料ヲ收入セル事實ニ徴シ許可地ノ大部分ヲ既墾地タリシモノト認定シ貸付料低廉ニ失セルカ如キ會計検査院ノ批難ナルモ豫定開墾資金ノ全部ヲ投セザリシハ實行ニ當リ州財政ノ都合上其ノ一部ヲ小作人ニ負擔セシメ其ノ代價トシテ小作料ヲ減額スルノ便法ニ依リタルカ爲ニシテ又許可初年目ヨリ小作料ヲ徵收セルハ開墾ノ進捗ニ伴ヒ契約ヲ更新小作料ヲ改定スルハ其ノ繁ニ堪エス且長期小作契約ヲ相互有利トスルニ鑑ミ開墾ニ先テ契約ヲ結ヒ墾成後契約期間中ノ全收入ヲ契約年數ニ均分シ初年目ヨリ徵收スルノ方法ニ依リタルカ爲ニシテ事實ニ於テ會計検査院批難ノ如ク許可當初ヨリ其ノ大部分カ既墾地タリシモノニハ非サルナリ依テ本件ハ不當ナラスト信ス只新竹州ニ於テ豫定ノ起業費ヲ投セスシテ收益ヲ擧ケ居ル點ニ就テハ可然措置ヲ講スル豫定ナリ

五八七三〇〇

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 注意

歳出臨時部

第五款 補助費

第五項 傳染病豫防費補助

一三八、九七〇、五三〇

【報告】

(四五) 臺北州ノ支出ニ係ル

ハ傳染病豫防法ニ依リ州地方費ノ支出額ニ對シ交付シタル補助金中法令ノ定ムル補助率ヲ超過シ全額補助ヲ爲シタル金額ナリ右ニ關シ當局者ノ事由トスル所ハ行政諸法臺灣施行令及傳染病豫防法ニ州又ハ廳地方費ノ支出ニ對シ國庫ハ其ノ三分ノ一乃至二分ノ一ヲ補助スル規定アルモ是傳染病豫防費ヲ地方公共團體ノ負擔トセル爲其ノ一部ヲ國庫ニ於テ補助スルノ義務アルコトヲ明示シタルモノニシテ其ノ義務ノ限度ヲ超ユル補助ヲ爲スコトヲ嚴格ニ制限シタルモノニ非スト謂フニ在リ然レトモ右ハ昭和六年度検査報告ニ記載セシ如ク行政諸法臺灣施行令ニ依リ傳染病豫防法第二十五條ノ補助率ヲ公共團體支出額ノ三分ノ一乃至二分ノ一トシ更ニ同法施行規則第五十一條ニ於テハ其ノ補助率ノ適用ニ關シ規定セルヲ以テ之ヲ超過シ全額補助ヲ爲スカ如キハ此等法令ノ規定ニ違背スルモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス(昭和六年度五二八七頁參看)

一三八、九七〇、五三〇

【辨明】

臺北州ノ支出ニ係ル

本件ハ昭和六年度決算検査報告ニ對シ辨明ノ通り妥當ノ方法ナリト信シ措置シタルモノナルモ將來篤ト考究シ適切妥當ノ措置ヲ講セントス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

(參照) ○行政諸法臺灣施行令(大正十一年十二月二十九日勅令第五百二十一號)

第一條 左ニ掲クル法律ハ之ヲ臺灣ニ施行ス

傳染病豫防法但シ同法第十五條及第三十三條ノ規定ヲ除ク

第十四條 傳染病豫防法第二十五條中六分一乃至三分一トアルハ三分一乃至二分一トス

○傳染病豫防法(明治三十年四月一日法律第三十六號)

昭和七年度 臺灣總督府 (四五)

第二十五條 國庫ハ勅令ノ規定ニ從ヒ第二十二條第二十四條ノ北海道地方費又ハ府縣ノ支出ニ對シ其ノ六分一乃至三分一ヲ補助スルモノトス

○傳染病豫防法施行規則(大正十五年四月一日)

第五十一條 傳染病豫防法第二十五條ノ規定ニ依ル國庫補助ハ左ノ區別ニ依リ州又ハ廳地方費ノ支出精算額(事業ニ伴フ收入

又ハ寄附金アルトキハ之ヲ控除シタル額)ニ對シ之ヲ爲ス

一 「コレラ」ニ「ペスト」ヲ豫防ニ關シ特ニ要シタル費用及臺灣總督必要ト認メタル費用 二分ノ一

二 其ノ他ノ諸費 三分ノ一

臺灣官設鐵道用品資金

歳出

物件ノ購入ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(四六)

一三、三七四四九〇

第一款 鐵道用品及工作費 第二項 用品及工作費

一三、三七四四九〇

【報告】

(四六) 臺灣總督府交通局鐵道部ノ支出ニ係ル

ハ昭和七年二月ヨリ八年二月ニ至ル間ニ於テ三菱商事株式會社臺北支店ヨリ隨意契約ニ依リ單價貳拾參錢乃至貳拾八錢ヲ以テ購入セル「スプリング」鋼材五萬四千四百五十六疋ノ代價ナリ右ハ鐵道省ニ於ケル購入單價七年度上半年期貳拾五錢同下半年期拾五錢五厘ナルニ對比シ高價ニ當レルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

「スプリング」用鋼材ハ從來總テ東京鋼材株式會社製製品ヲ購入セリ右ハ原材料ノ生産並加工共同會社工場ニテ之ヲ爲シ品質ノ點ニ於テ最信賴スルニ足ルモノトシテ他社製品ニ比シ聲價アリシニ因ルモノニシテ之カ購入價格ニ付鐵道省購入品ト比較スルトキハ(一)省規格ハP.75 P.82ナルニ對シ當部用ノ大部分ハP.70 P.80ニシテ少量ノP.82ヲ購入セルモノナリ即チ省納入品ニ對シ特殊品ノ立場ニ在リ(二)同一規格ノモノモ斷面寸法ニ於テ省所定寸法ト異ルモノアリ又單長ニ於テモ特ニ限定寸法ヲ以テ註文セル爲在庫品引當ノ場合ノ如キモ指定單長ニ切斷シテ納入スルノ外ナク切斷部分ハ全然損失ニ歸ス(三)

當部一箇年間ノ購入數量ハ僅少ニシテ且所要ノ都度分割註文セル爲壓延作業差繰上甚シク不利不便ヲ伴ヘルカ爲勢ヒ高價ニ當レルモノト認メラルルモ規格ニ付テハ八年五月ニ至リ鐵道省同様之ヲ改正シ標準寸法ニ於テモ一、二ヲ除キ省用品ト同一ニシ且單長ニ於テモ標準長ニ對スル代用長ノ範圍ヲ定メ出來得ヘクムハ年間契約トシテ供給ヲ容易ナラシムルノ方針ヲ立テ居ルヲ以テ九年度ニ於テハ安價ニ購入シ得ル見込ナリ

ト謂フニ在リ然レトモ鐵道省購入ノ「スプリング」鋼材P.75 P.82ハ同省ニ於テ研究ノ結果在來規格品ニ比シ抗張力ヲ増加シタル優良品ナルニ本件P.70 P.80ハ抗張力劣レル舊型規格ノ鋼材ナルヲ以テ前者ニ比シ寧ロ廉價ナルヲ相當トスヘキニ拘ラズ特種品ノ立場ニ在ルヲ理由トシ高價ナリト爲スノ辯明ハ全ク其ノ事由ナキモノト認ムヘク購入數量ノ多寡又ハ單長ノ關係上在庫品引當ノ場合損失ニ歸スルモノアルニ因リ價格ニ影響ヲ來スコトアリトスルモ本件ノ如ク五割乃至八割ノ高價ニ當レルカ如キハ購入價格ノ決定其ノ當ヲ得サリシニ因ルモノト謂ハサルヲ得ヌ又同一規格ノモノニ就キ斷面寸法ニ於テ鐵道省購入品ト相異ルモノアルカ如ク説明セルモ同一寸法ノモノ大部分ヲ占ムルノ狀況ナリ要スルニ本件ハ物件ノ購買ニ當リ注意ノ周到ヲ缺キ國庫ニ不利ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辯明】

臺灣總督府交通局鐵道部ノ支出ニ係ル

一三、三七四四九〇

本件購入價格カ鐵道省購入價格ニ對比シ著シキ隔差アルカ如キ會計検査院ノ批難ナルモ(一)抗張力ノ強弱ハ原材料ニ於ケル含有成分ノ相違ニ依ルモノニシテ抗張力ノ低キモノ直ニ廉價ニ製作シ得ヘシト謂フヲ得ヌ本件其ノ隔差ヲ生シタルハ全ク使用者ノ工作方法等ノ關係上品質及規格ヲ異ニセル少量ノ特殊品ヲ製造セサルヘカラサルカ爲製鋼壓延ノ操作ニ甚シク不利ヲ來セル結果ニ基因ス(二)當府購入品ハ其ノ斷面寸法ニ於テ鐵道省購入品ト同一寸法ノモノ大部分ヲ占ムルカ如キ批難ナルモ這ハ事實ト相違ス即チ鐵道省ト同一寸法ノモノハ總購入種別二十種ノ内八種、數量ニ於テ五噸八四一ノ内二噸七三二ニシテ其ノ他ハ悉ク斷面寸法ヲ異ニスル特殊品ナリ(三)單長ニ於テモ鐵道省ハ何等限定ナキニ對シ當府ハ四呎、十二呎、十四呎、十五呎、十六呎モノ大部分ヲ占メ之カ爲製造工場ニ於テハ標準單長十八呎ノモノヲ切斷スルノ要アル關係上多クノ切屑ヲ生スルコトナリ從テ鐵道省ニ比シ購入條件不利ナリ(四)本島ハ地理的關係上内地ニ比シ運賃及諸掛費ヲ餘分ニ要シ多少高價トナルハ止ムナキ所ナリ今假ニ鐵道省ト同一條件ニ依リ購入スルモノトシ計算スルニ鐵道省購入價格貳拾五錢乃至

拾五錢五厘ニ東京臺北間運賃及諸掛費見込參錢五厘ヲ加算スレハ拾八錢五厘乃至拾九錢トナリ本件購入價格平均貳拾四錢五厘ハ三割内外ノ割高トナルモ這ハ購入條件ノ相違ニ基クモノニシテ會計檢査院ノ謂フカ如キ五割乃至八割ノ隔差アリトノ批難ハ首肯スルヲ得ス之ヲ要スルニ品質及規格ヲ異ニスル特殊品ヲ少量購入セル結果鐵道省購入價格ニ對シ三割内外ノ差異ヲ生セルモノニシテ購入條件ノ相違ニ基因スル止ムヲ得サルモノト信ス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 警告

樺 太 廳

歳入

租税外歳入ノ徴收ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(四七)

官有地ノ拂下ニ當リ價格ノ決定其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(四八)

合計二件

三五、九二四、八八〇

二七、二〇四、六〇〇

六三、一二九、四八〇

歳入經常部

第五款 雜收入 第二項 辨償及違約金

【報告】

(四七) 本項決算額ノ外樺太廳元泊林務署ニ於テ徴收ニ至ラサル

三五、九二四、八八〇

ハ元泊郡知取町吉川某カ同町大字大鶴取所在國有林ニ於テ不法伐採ヲ爲シタル榎松、蝦夷松二萬三千九百餘本材積一萬三千二百餘立米ノ價格ニシテ同人ニ於テ辨償スヘキ金額ナリ右ハ昭和四年十二月賣拂契約ニ先チ同年二月ヨリ四月ニ至ル間ニ於テ之ヲ伐採シ同年中外汽船株式會社ニ賣却シ島外ニ移出シタルモノナルニ何等ノ措置ヲ講セサルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

代金完納前ノ伐採ハ樺太國有森林原野產物賣拂規則第十七條第一項第三號ニ依リ契約ノ解除ヲ爲シ不法伐採トシテ處置方當然ノ所本人ハ島内屈指ノ地方ノ勢力ヲ有シ其ノ消長ハ地方經濟界ニ波及スル虞アリ輕輕ニ處斷シ難キ事情ノ下ニ在リタルモ七年七月契約ノ解除ヲ斷行シ目下事後ノ整理中ニ屬セリ

ト謂フニ在リ然レトモ本件ハ賣拂木調査直後四年二月ヨリ四月ニ至ル短期間ニ於テ百町步餘ニ互リ多量ノ伐採ヲ敢行シタルモノニシテ賣拂契約當時擔當森林主事ニ於テ之ヲ察知スルニ難カラサリシモノト認メラルルニ伐採後漫然契約ヲ締結シ

地方ノ勢力者ナルノ故ヲ以テ二箇年半ニ互リ其ノ儘放置シ何等ノ措置ヲ講セス七年七月ニ至リ漸ク契約ノ解除ヲ爲シタルモ更ニ荏苒約一箇年ヲ經過シ八年六月初テ伐採木ニ對シ辨償ノ命令ヲ發シタルカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス右ノ外七年四月同人カ拂下ヲ受ケタル林木ノ伐採中隣接區域ニ於テ榎松、蝦夷松四千四百餘本材積二千五百餘立米價格七千五百餘圓ヲ盜伐シタルモノニ對シテモ同年六月擔當森林主事ニ於テ發見シタルニ拘ラス八年五月ニ至リ漸ク之カ辨償ヲ命シタルモノアリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

會計檢査院檢査報告ノ通
但シ辨償金ハ昭和八年十月二日及同九年一月三十一日完納済ナリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

(參照) ○樺太國有森林原野產物賣拂規則(大正十四年十月二十一日) 樺太廳令第三十二號

第十七條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ當該官廳ハ賣拂ノ許可ヲ取消シ又ハ契約ノ解除、變更若ハ伐採、採取、搬出ノ停止又ハ物件ノ差押ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テ買受人ハ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス

三 物件ノ引渡以前ニ伐採採取其ノ他ノ行爲ヲ爲シ又ハ契約條件ニ違反シタルトキ

歳入臨時部

第一款 官有物拂下代 第一項 官有物拂下代

二七、二〇四、六〇〇

【報告】

(四八) 樺太廳ノ徴收ニ係ル

ハ昭和八年三月富士製紙株式會社ニ對シ工場用地トシテ拂下ケタル元泊郡知取町大字知取字富士町雜種地二十七萬二千四百十六坪ノ代價ナリ

抑本地ハ大正七年六月「バルブ」工場建設用地トシテ日本化學紙料株式會社ニ對シ昭和八年三月迄ヲ期限トシ坪當年額參厘ヲ以テ貸付シ其ノ後同會社ヲ合併シタル富士製紙株式會社ニ於テ之カ權利ヲ繼承シ該會社ヨリ四年九月之カ賣拂ヲ出願シタルニ對シ八年二月貸付料ヲ坪當壹錢ニ改定ノ上賣拂價格坪當拾錢ヲ以テ拂下ヲ爲シタルモノナリ右ニ關シ當局者ノ事由

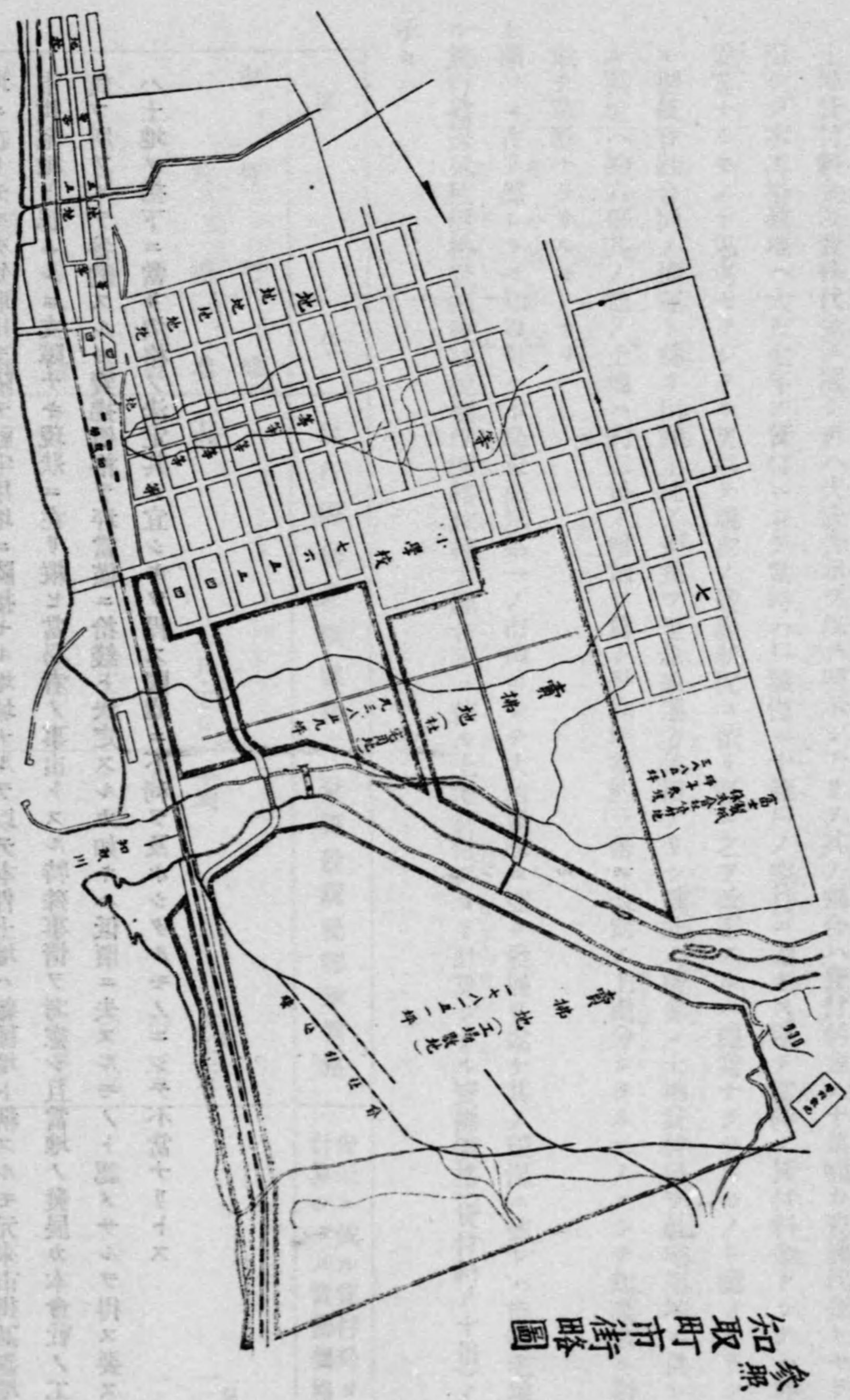
昭和七年度 樺太廳 (四八)

トスル所ハ
土地貸付料金及賣拂代金ニ關シテハ夫夫告示ヲ以テ明示シアリテ其ノ割合ハ貸付料金ノ十倍額カ賣拂代金トセラレアリ而シテ本工場敷地ハ大正七年ノ貸付ニシテ當時ハ戸數僅ニ十餘戸ノ寒村ニ過キス隨テ當時ノ貸付料金トシテハ坪參厘ハ妥當ナルモノト思考セラレタルヲ以テ現在ノ發展狀況ニ依リ直ニ之ヲ改正スルハ穩當ナラサルモノト認メタリシモ時恰モ製紙會社合同ノ機運ト爲リ出願土地ノ賣拂ヲ至急取運方依頼アリシ爲此ノ機會ニ土地貸付料ヲ社宅用地ニ供シツツアル區域ハ約六倍其ノ他ノ土地ハ約二倍ノ増加ヲ爲シ平均坪當約三倍ニ改定ノ上處分シタルモノニシテ起業者ニ對シテモ敢テ苛酷ナラサルモノナリ
ト謂フニ在リ然レトモ知取町ハ本島東海岸第一ノ市街ニシテ大泊豊原ニ亞ク發展ヲ遂ケ其ノ現況ニ依レハ市街宅地ニ對スル銀行擔保見積價格登錄稅標準價格竝樟太廳告示ニ依ル土地貸付料ヨリ計算シタル賣拂價格(貸付料ノ十倍)ノ概況ヲ示セハ

區分	銀行擔保見積價格	登錄稅標準價格	告示ニ依ル貸付料ヨリ計算シタル賣拂價格
市街宅地	平均 一八・五〇	平均 八・七五	一・五〇
四等	七・五〇	四・一五	一・〇〇
五等	〃	〃	〃
六等	四・二五	三・一五	〇・七〇
七等	三・〇〇	二・五〇	〇・五〇
未開地	〃	〃	〃
市街地附近	〃	〃	三・〇〇

ニシテ本賣拂地中社宅用地ニ供セル九萬餘坪ハ市街區劃地ニ接続シ且停車場ヲ距ル僅ニ數町ヲ出テス工場敷地十七萬餘坪ニ在リテモ亦知取川ヲ隔テ社宅用地ニ隣接セル地域ナルヲ以テ本件土地ハ雜種地ト稱スルモ元來市街區劃地ニ編入シ市街宅地ト認ムルニ支障ナキ現狀ニ在リ縦ヒ當局者ノ事由トスル特殊事情ヲ考慮シ且當地ノ發展カ本會社ノ工場設置ニ負フ所アルヲ參酌スルモ賣拂價格ヲ坪當僅ニ拾錢ト決定スルカ如キハ低價ニ失スルモノト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ土地ノ拂下ニ當リ價格ノ決定其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ不利ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス





本件未開土地ハ製紙工場建設用地トシテ樺太國有未開地特別處分令ニ依リ當時ノ評價格ヲ以テ直ニ賣拂ヒ得ヘカリシモノナリシモ會社事業ノ成功ヲ確保スル爲之ヲ條件トシテ有償貸付セルモノナリ而シテ會社ハ豫定ノ事業成功セルニ依リ之ヲ賣拂ヒタルモノナルカ元來貸付地ノ賣拂價格ハ從前ノ貸付料金ノ十倍ヲ以テスル多年ノ慣例ナルニ拘ハラズ隣接地發展ノ現況並ニ對外關係ヲ考慮ニ加ヘ契約期間内ナルニ特ニ會社ヲ懲罰シ從來貸付料ノ二倍乃至十二倍平均三倍餘ニ値上改定ノ上賣拂ヒタルモノニシテ其ノ措置當ヲ失シタルモノニアラサルモ將來處分ニ付テハ考究スヘシ

【辨明】

本件未開土地ハ製紙工場建設用地トシテ樺太國有未開地特別處分令ニ依リ當時ノ評價格ヲ以テ直ニ賣拂ヒ得ヘカリシモノナリシモ會社事業ノ成功ヲ確保スル爲之ヲ條件トシテ有償貸付セルモノナリ而シテ會社ハ豫定ノ事業成功セルニ依リ之ヲ賣拂ヒタルモノナルカ元來貸付地ノ賣拂價格ハ從前ノ貸付料金ノ十倍ヲ以テスル多年ノ慣例ナルニ拘ハラズ隣接地發展ノ現況並ニ對外關係ヲ考慮ニ加ヘ契約期間内ナルニ特ニ會社ヲ懲罰シ從來貸付料ノ二倍乃至十二倍平均三倍餘ニ値上改定ノ上賣拂ヒタルモノニシテ其ノ措置當ヲ失シタルモノニアラサルモ將來處分ニ付テハ考究スヘシ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

豫算超過及豫算外支出

昭和七年度總決算歳出及各特別會計決算歳出中豫算超過及豫算外支出ニシテ未タ帝國議會ノ承諾ヲ受クルニ至ラサルモノ左ノ如シ

所	管	第一豫備金	滿洲事件第一豫備金
外務省	管	一、一九三、六五四	三、五三四、七三九
內務省	管	二、一六一、七八〇	一一、三八五、八二六
大藏省	管	八〇二、〇六一	五、〇五五、二四六
陸軍省	管	五三三、七五九	
海軍省	管	七五、七九七	
司法省	管	三〇〇、〇〇〇	
文部省	管	一三、一四〇	
農林省	管	六四八、四四三	
農林省	管	六六、九二二	
工商省	管	三、〇六四	
逓信省	管	五、七九八、六二〇	一九、九七五、八一
計			八九

昭和七年度 豫算超過及豫算外支出

既 往 年 度

昭和七年度 豫算超過及豫算外支出

特 別 會 計		所 管	第 一 豫 備 金	豫 備 費
內務省	健康保險	所管	四九、一九六	
陸軍省	陸軍造兵廠	所管	四四、五八四	一二、八八四、五〇〇
遞信省	遞信省	所管	一、九〇〇、〇〇〇	
拓務省	拓務省	所管	七二四、八四四	
朝鮮總督府	朝鮮總督府	所管	四、八三八	
朝鮮簡易生命保險	朝鮮簡易生命保險	所管	三〇〇、〇〇〇	
臺灣總督府	臺灣總督府	所管	一四九、九五一	
關東廳	關東廳	所管	五二、〇〇〇	
樺太廳	樺太廳	所管	一四、七〇六	
南洋廳	南洋廳	所管		
計				

既往年度

目次

既往年度未確定金額ノ検査確定	九一
豫算及法律勅令違背ノ事項	九一
昭和四年度	九二
一般會計	九二
歳入	九三
昭和五年度	九三
一般會計	九三
歳入	九六
歳出	九六
内務省所管	九七
昭和六年度	九七
一般會計	九七
歳入	一〇〇
歳出	一〇〇
大藏省所管	一〇〇
特別會計	一〇〇
既往年度 目次	一

大藏省所管	100
專賣局	100
歲出	101
國有財産整理資金	105
歲入	105
拓務省所管	117
朝鮮總督府	117
歲入	117
歲出	118
國債	122

既往年度

既往年度未確定金額ノ検査確定

既往年度歳入歳出總決算及各特別會計歳入歳出決算額中検査未確定ニ屬セシモノノ内爾後検査確定ニ至リシモノ別表第三號表及第四號表ノ如シ

右ノ外國債ニ關ル計算中株式會社橫濱正金銀行ヨリ借入ニ係ル臨時國庫證券整理借入金七千貳拾八萬八千貳百貳拾五圓ノ借換ノ爲發行セル五分利公債額面貳千六百拾九萬圓及昭和四年法律第五十二號(製鹽地整理ニ關スル件)ニ依リ六年度中交付ノ爲發行セル五分利公債額面貳拾萬六千四百貳拾五圓ハ之ヲ検査確定セリ

豫算及法律勅令違背ノ事項

既往年度歳入ノ賦課徴收ニ於テ	一七五、九四〇、五〇〇
租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ十八件	一〇、五二六、八八〇
租税ノ徴收過ニ屬スルモノ二件	一二八、五八九、九三〇
國有地ノ買拂ニ當リ價格ノ評定其ノ宜シキヲ得サルモノ三件	三、七四六、七一〇
租税外歳入ノ徴收ニ關シ監督其ノ宜シキヲ得サルモノ一件	三二八、八〇四、〇二〇
合計二十四件	
同歳出ノ使用ニ於テ	一六九、三三四、〇〇〇
工事ノ施行ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件	二九、六七三、三三三
鹽ノ回送計畫其ノ宜シキヲ得サルモノ一件	九、九一九、一〇〇
補助金ノ支給ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件	九一
既往年度	九一

既往昭和四年度 歳入 (四九)

其ノ他不當ナルモノ一件

合計四件

國債ニ於テ

臨時國庫證券整理借入金ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件ナリ

九二

二七六七五五〇

二二一、七〇三、九七三

昭和四年度

歳入

租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ三件(四九)

一般會計

歳入經常部

第一款 租税 第一項 所得税

【報告】

(四九) 本項ニ於テ神戸稅務署ノ徴收不足ニ屬スルモノ

第三項營業收益稅ニ於テ同署ノ徴收不足ニ屬スルモノ

アリ右ハ紐育ナシヨナル、シチー、バンク神戸支店 自昭和二年十二月

利子中資本金ニ對スル部分參拾八萬千六百拾圓ヲ損金ニ計算シタル等ニ因ルモノナリ 至同 四年十二月 二事業年度分所得額及營業純益額ヲ決定スルニ當リ支拂

東稅務署ニ於テ徴收不足ニ屬スルモノ

アリ右ハ大阪市東區井上某ノ昭和三年分所得額ヲ決定スルニ當リ脱漏シタル新大阪土地株式會社ヨリ受ケタル賞與ノ性質

ヲ有スル給與參萬圓ハ所得稅法第二十六條第二項ニ依リ本年度ニ於テ追加決定スヘキモノナルニ之ヲ爲ササリシニ因ルモ

ノニシテ同人ハ四年八月死亡シ追加決定ノ途ナキニ至リタルモノナリ

東稅務署ニ於テ徴收不足ニ屬スルモノ

一七、〇四五、九〇〇

六、〇七五、二五〇

四、六一八、〇四〇

二、四五〇、二六〇

アリ右ハ大阪市東區木村某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ鯛生金山株式會社ヨリ受ケタル賞與ノ性質ヲ有スル給與壹萬五千七百圓ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ
右ハ孰モ取扱ノ過誤ニ因リ徴收不足ヲ生セシメタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

會計檢査院檢査報告ノ通

但シ本人死亡シ又ハ本人ニ於テ追加申告ヲ肯セサル爲稅金徴收ノ途ナキモノノ外昭和八年度ニ於テ更生濟

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 【衆決】 不當 (參照) ○所得稅法第二十六條第二項(九頁參看)

昭和五年度

歳入

租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ八件(五〇)(五一)

租税ノ徴收過ニ屬スルモノ一件(五〇)

合計九件

歳出

其ノ他不當ナルモノ一件(五一)

一般會計

歳入經常部

第一款 租税 第一項 所得税

【報告】

(五〇) 本項ニ於テ石卷稅務署ノ徴收不足ニ屬スルモノ

第三項營業收益稅ニ於テ同署ノ徴收不足ニ屬スルモノ

アリ右ハ齋藤株式會社 自昭和三年四月 二事業年度分所得額及營業純益額ヲ決定スルニ當リ貸金利息等拾參萬五千七百七拾五

既往昭和五年度 歳入 (五〇)

二九三、二七六、五〇

四八、六六三、〇〇

九三

既往昭和五年度 歳入 (五〇)

九四

圓ヲ益金ニ加算セサリシニ因ルモノナリ

淀橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

二六二九二八五〇

アリ右ハ東京市澁谷區福澤某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ合資會社福興社ヨリ受ケタル配當所得八千貳百貳拾圓ヲ脫漏シタルト四年分所得額ヲ決定スルニ當リ脫漏シタル同會社ヨリノ配當所得拾萬貳千七百五拾圓及天龍川電力株式會社ヨリノ報酬四千圓ヲ所得稅法第二十六條第二項ニ依リ本年度ニ於テ追加決定スヘキモノナルニ之ヲ爲ササリシトニ因ルモノナリ

一三、七六一三〇〇

淀橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ
アリ右ハ東京市澁谷區福澤某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ合資會社福興社ヨリ受ケタル配當所得八千百圓賞與九百六拾四圓ヲ脫漏シタルト四年分所得額ヲ決定スルニ當リ脫漏シタル同會社ヨリノ配當所得拾萬千貳百五拾圓ヲ所得稅法第二十六條第二項ニ依リ本年度ニ於テ追加決定スヘキモノナルニ之ヲ爲ササリシトニ因ルモノナリ

一六、〇四四七六〇

東稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ
アリ右ハ大阪市東區木村某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ鯛生金山株式會社ヨリ受ケタル賞與ノ性質ヲ有スル給與壹萬四千圓ヲ脫漏シタルト他人名義ト爲シタル株式ニ對シ同會社ヨリ受ケタル配當所得七萬參千參百六拾圓ヲ脫漏シタルトニ因ルモノナリ

三、六六三〇〇〇

淀橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ
アリ右ハ東京市澁谷區鍋島某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ貸地所得壹萬四千六百五拾貳圓ヲ脫漏シタルニ因ルモノナリ

一、六三二七四〇

西宮稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ
アリ右ハ西宮市辰馬某ノ昭和四年分所得額ヲ決定スルニ當リ他人名義ト爲シタル株式ニ對シ大日本麥酒株式會社ヨリ受ケタル配當所得壹萬七百六拾五圓ヲ脫漏シタルヲ以テ所得稅法第二十六條第二項ニ依リ本年度ニ於テ追加決定スヘキモノナルニ之ヲ爲ササリシニ因ルモノナリ

二、二六七六九〇

淀橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ
アリ右ハ東京市澁谷區清田某ノ昭和四年分所得額ヲ決定スルニ當リ脫漏シタル株式會社清田商店ヨリ受ケタル賞與ノ性質ヲ有スル給與壹萬六百貳拾五圓ヲ所得稅法第二十六條第二項ニ依リ本年度ニ於テ追加決定スヘキモノナルニ之ヲ爲ササリシニ因ルモノナリ

四、九七六八八〇

小松稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ
アリ右ハ石川縣江沼郡瀨越村廣海某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ日本生命保險株式會社ヨリ受ケタル配當所得壹萬五百四拾五圓ヲ脫漏シタルモ大日本紡績株式會社外四會社配當金參萬六千七百七拾七圓ハ廣海商事株式會社ノ所得ナルニ誤テ配當所得貳萬貳千六拾六圓ヲ綜合シタルト日本產業株式會社外七會社ヨリ受ケタル配當所得等八千四百參圓ヲ過大ニ計上シタル等ニ因ルモノナリ

二、六三二七四〇

【辨明】

西宮稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

ニ關シ所得稅法第十四條第一項第四號ニ所謂法人ヨリ受ケタル利益ノ配當トハ株主又ハ社員カ其ノ株主又ハ社員タル資格ニ於テ會社ヨリ受ケタル收入ト解スヘキモノナルヲ以テ所得稅ノ課稅ニ於テハ株主名簿上ノ株主ヲ以テ所得者ト認ムヘク從テ當該稅務署長カ當初株式名義人ニ對シ所得ヲ決定シタルハ敢テ不當トハ認メ難キモ本件ハ既ニ納稅者ノ申出モアリタルヲ以テ昭和七年度ニ於テ適當ニ更正シタリ

一六、〇四四七六〇

東稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

ニ關シ前段ニ付テハ會計檢査院檢査報告ノ通後段ニ付テハ當初決定ハ敢テ不當ト謂フヘカラサルコト前述ノ通ナルモ納稅者ノ事情等ヲ考慮シ孰モ昭和六年度ニ於テ更正シタリ

其ノ他ニ付テハ會計檢査院檢査報告ノ通

但シ昭和六年度又ハ昭和七年度ニ於テ更正濟

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】

注意(西宮稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

二、六三二七四〇) 不當(其ノ他)

(參照) ○所得稅法第十四條第一項第四號及第二十六條第二項(九頁參看)

既往昭和五年度 歳入 (五〇)

九五

既往昭和五年度 歳入 (五二) 内務省 (五二)

九六

第三項 營業收益稅

【報告】(五一) 神田橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

三、六七五、五三〇

アリ右ハ日本石油株式會社自昭和四年十月至同五年三月事業年度分營業純益額ヲ決定スルニ當リ非課稅營業ノ經費ニ屬スル礦產稅拾貳萬六千圓ヲ損金ニ計算シタルト稅法施行地外ニ於ケル販賣益壹萬六千貳百拾壹圓ヲ益金ニ加算シタル等ニ因ルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辯明】會計檢査院檢査報告ノ通

但シ昭和七年度ニ於テ更正濟

【貴決】將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】不當

内務省所管

歳出經常部

第十四款 地方廳 第五項 小笠原島地方費

【報告】(五二) 東京府小笠原支廳ノ支出ニ係ル

二、七六七、五五〇

ハ工事費又ハ物品代等トシテ證明シタル四萬千四百七拾壹圓六拾六錢ノ内ニシテ千貳百八圓參拾五錢ハ昭和二年度ニ參千貳百五圓貳拾錢ハ諸支出金大正十五年昭和三十五年度乃至昭和五年度ニ參萬四千貳百九拾圓五拾六錢ハ歳出臨時部災害費二年度乃至四年度ニ屬スルモノナリ右ハ東京府屬壬生某カ同支廳ニ勤務シ會計事務擔任中大正十五年昭和五年度ヨリ昭和五年度ニ至ル間ニ於テ關係書類ヲ作爲シ日本銀行代理店ニ就キ前掲金額ヲ受領シ内參萬五千五百九拾圓六拾六錢ハ債主ニ支拂ヒ貳百五拾壹圓五拾六錢ハ後任官吏ニ引繼キ五千六百貳拾九圓四拾四錢ハ同人ニ於テ之ヲ橫領費消シタルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辯明】會計檢査院檢査報告ノ通

但シ被害金五千六百貳拾九圓四拾四錢ノ内參千九百六拾八圓六錢ハ徵收濟ナリ

【貴決】將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】不當

昭和六年度

歳入

租稅ノ徵收不足ニ屬スルモノ七件(五三)(五四)(五五)

三三三、三二〇、三三〇

租稅ノ徵收過ニ屬スルモノ一件(五三)

五、五五〇、〇〇〇

國有地ノ賣拂ニ當リ價格ノ評定其ノ宜シキヲ得サルモノ三件(五八)(五九)(六〇)

一、二八、五八九、九三〇

租稅外歳入ノ徵收ニ關シ監督其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(六一)

三、七四六、七一〇

合計十二件

一、七一、二〇六、八七〇

歳出

工事ノ施行ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(五六)

一、六九、三四四、〇〇〇

鹽ノ回送計畫其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(五七)

二、九、六七三、三三三

補助金ノ支給ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(六二)

九、九一九、一〇〇

合計三件

二〇、八、九三六、四二三

國債

臨時國庫證券整理借入金ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ一件(六三)

六、四六八、五七〇

一般會計

歳入經常部

第一款 租稅 第一項 所得稅

【報告】(五三)

神田橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

六、四六八、五七〇

アリ右ハ東京市神田區石川某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ他人名義ト爲シタル株式ニ對シ株式會社主婦之友社ヨリ受ケタル配當所得壹萬七千參拾圓ヲ脱漏シタルト昭和五年分所得額決定ニ當リ同様脱漏シタル配當所得壹萬貳千五百四拾圓ヲ所得稅法第二十六條第二項ニ依リ本年度ニ於テ追加決定スヘキモノナルニ之ヲ爲ササリシトニ因ルモノナリ

既往昭和六年度 歳入 (五三)

九七

既往昭和六年度 歳入 (五三)

九八

神田橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

五、五九六〇一〇

アリ右ハ東京市麴町區河本某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ醫業所得五萬九千圓ヲ貳萬八千圓ト爲シタルニ因ルモノナリ

五、一四二一一〇

淀橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

四、三五一五〇〇

品川稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

四、三五一五〇〇

アリ右ハ東京市品川區松崎某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ共同漁業株式會社ヨリ受ケタル賞與八千貳百五拾圓ヲ脫漏シタルト昭和五年分所得額ヲ決定スルニ當リ脫漏シタル同會社ヨリ受ケタル賞與壹萬九千四百圓ヲ所得稅法第二十六條第二項ニ依リ本年度ニ於テ追加決定スヘキモノナルニ之ヲ爲ササリシトニ因ルモノナリ

三、六二〇八六〇

水道橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

三、六二〇八六〇

アリ右ハ東京市小石川區鳩山某ノ同居家族ノ所得額ヲ決定スルニ當リ他人名義ト爲シタル株式ニ對スル配當所得鬼怒川水力電氣株式會社分五千參百五拾五圓大同電力株式會社分七千貳百圓計壹萬貳千五百五拾五圓ヲ脫漏シタルト昭和五年分所得額ヲ決定スルニ當リ同一事實ニ基キ脫漏シタル配當所得鬼怒川水力電氣株式會社分六千八百八拾五圓大同電力株式會社分九千七百五拾圓計壹萬六千六百參拾五圓ヲ所得稅法第二十六條第二項ニ依リ本年度ニ於テ追加決定スヘキモノナルニ之ヲ爲ササリシ等ニ因ルモノナリ右ノ外既往年度ニ於テ徵收不足ヲ生シタルモノ四千四百餘圓アリ

五、五五〇〇〇〇

名古屋稅務署ノ徵收過ニ屬スルモノ

五、五五〇〇〇〇

アリ右ハ中華民國上海西川某カ豐田紡織株式會社ヨリ配當金七萬四千圓ヲ受ケタルモノトシテ第二種所得稅ヲ徵收セルモノナルモ該配當金ハ事實名古屋市東區豐田某ノ所得ニシテ從來同人ノ所得額中ニ加算シアルニ誤テ第二種所得稅ヲ徵收シタルニ因ルモノナリ

右ハ孰モ取扱ノ過誤ニ因リ徵收上過不足ヲ生セシメタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

神田橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

六、四六八五七〇

水道橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

三、六二〇八六〇

ニ關シ所得稅法第十四條第一項第四號ニ所謂法人ヨリ受ケタル利益ノ配當トハ株主又ハ社員カ其ノ株主又ハ社員タル資格ニ於テ會社ヨリ受ケタル收入ト解スヘキモノナルヲ以テ所得稅ノ課稅ニ於テハ株主名簿上ノ株主ヲ以テ所得者ト認ムヘク從テ當該稅務署長カ當初株式名義人ニ對シ所得ヲ決定シタルハ敢テ不當トハ認メ難キモ本件ハ既ニ納稅者ノ申出モアリタルヲ以テ昭和七年度ニ於テ適當ニ更正シタリ

其ノ他ニ付テハ會計檢査院檢査報告ノ通

六、四六八五七〇

但シ昭和七年度又ハ昭和八年度ニ於テ更正濟

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 注意(神田橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ 六、四六八五七〇)

不當(其ノ他) 三、六二〇八六〇

第三項 營業收益稅

【報告】

(五四) 幸橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

五、六一五六八〇

アリ右ハ日本電氣株式會社自昭和六年一月事業年度分營業純益額ヲ決定スルニ當リ雜收入ノ内七拾萬四千貳拾參圓並退職資金拂出額拾五萬貳千六百七圓及退職給與金拾九萬千六百拾壹圓ハ稅法施行地内營業關係ノモノナルニ之ヲ販賣差益ノ比

ニ依リ施行地内外ニ區分シタルカ爲純益額ニ於テ拾五萬五千九百九拾壹圓ヲ過小ニ計算シタルニ因ルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

會計檢査院檢査報告ノ通

【衆決】 不當

但シ昭和七年度ニ於テ更正濟

第五項 相續稅

【報告】

(五五) 永代橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

一、五二四五〇〇

アリ右ハ東京市日本橋區小西某カ昭和六年十一月二日父ヨリ贈與ヲ受ケタル株式會社小西新兵衛商店株式ノ價額ヲ算定ス

既往昭和六年度 歳入 (五四)(五五)

九九

既往昭和六年度 大藏省 (五六)

一〇〇

ルニ當リ同會社五年十一月十日現在貸借對照表ヲ基準トシ課稅價格貳拾五萬六千八百圓ト爲シタルモノナルモ贈與月日ニ近接セル六年十一月十日現在貸借對照表ニ基キ貳拾八萬六千五百圓ト爲スヲ相當トスルニ因ルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】會計檢査院檢査報告ノ通

但シ昭和七年度ニ於テ更正濟

【貴決】將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】不當

大藏省所管

歳出臨時部

第一款 營繕費 第二款 中央諸官衙建築費

【報告】(五六) 營繕管財局ノ支出ニ係ル

一六九三三四〇〇〇

ハ昭和六年十月東洋コンプレツソル株式會社ニ請負ハシメタル特許局廳舎新築基礎杭打工事費拾九萬貳千圓ノ内ニシテ貳萬貳千六百五拾六圓ハ七年度ニ屬スルモノナリ右ハ本檢査報告昭和七年度ノ部ニ詳悉セシ如ク「マルチベダスタル」式工法ニ依リ鐵筋入混凝土基礎杭ノ施工ヲ爲シタルモノニシテ契約ニ當リ杭長ノ増減ヲ豫想シ之ニ應スル請負代金増減ニ關スル約款ヲ設クルヲ妥當トスルニ之ヲ爲ササリシト一基當混凝土所要見込量過大ニ失シタルカ爲其ノ損失參萬千餘圓ト爲ルノ計算ナリ右ハ工事ノ施行ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス(二〇頁(二)參看)

【辨明】

本辯明書昭和七年度分ニ於ケル本件ト同一趣旨ノ批難ニ對シ辯明ノ通り

【衆決】注意

特別會計

大藏省所管

專賣局

歳出

第一款 專賣局作業費 第二款 事業費

二九六七三三三三

【報告】

(五七) 廣島外二地方專賣局ノ支出ニ係ル

ハ昭和六年十一月兩月中廣島、坂出、大阪各地方專賣局管内收納官署ヨリ東京地方專賣局ニ回送シタル二等鹽四百六十萬二千疋ノ運賃ナリ右ハ例年十一月以降翌年三月ニ至ル間ハ内地鹽ノ收納高激減シ各收納官署ノ官庫ハ大部分空庫ト爲ルノ狀況ナルヲ以テ可及的收納官署ニ藏置スルヲ有利ト爲スノミナラス東京地方專賣局ノ鹽需要高報告ニ依レハ二等鹽ハ十月賣渡見込高二百十六萬疋ニ對シ前月末現在見込高二千五百六十五萬疋又十一月ノ賣渡見込高六百六十九萬餘疋ニ對シ十月末現在見込高二千七百五十四萬餘疋ニシテ年度内回送ノ要ナキコト明ナルニ故ラ回送ヲ行ヒタルモノナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

毎年十一月以後翌年三月迄ハ製鹽閑散期ナルヲ以テ產地收納官署ノ收納高モ月ヲ逐フテ漸次減少スル例ナレトモ一面十月初ヨリ翌年一月迄ノ間ハ漬物用魚類鹽藏用等ノ需要最盛期ニシテ賣行激増ノ爲非產地販賣官署ニ於ケル供給用鹽ノ所要モ之ニ應シ相當多量ノ配備ヲ要スル狀況ナルヲ以テ此ノ季節ニ於ケル鹽ノ回送ハ大部分回送先ニ於ケル販賣準備鹽ニ充當シテ供給ノ安全ヲ期スヘキ必要ニ基ケルモノニシテ產地倉庫ノ不足ヲ理由トスル場合ハ十一月以降ニ於テハ其ノ事例極メテ稀ナリ而シテ東京局ニ在リテハ前月末現在高ヨリスルトキハ新規配賦ノ要ナキカ如キモ鹽倉庫ハ構内北千住、芝浦、深川、月島、平井、新宿等ニ散在シ買受人ニ對シテハ從來引取運賃ノ最有利ナル倉庫ヨリ引取ラシメツツアルヲ以テ配備不足ノ方面ニ對シ其ノ充實ヲ爲シタルモノナリ

ト謂フニ在リ然レトモ東京地方專賣局ノ一箇年賣渡見込高千七百八十五萬餘疋ナルニ對シ九月末ニ於テ其ノ一年六箇月分ニ該當スル二千六百八十五萬餘疋ヲ保有セルヲ以テ需給上何等支障ナク本件回送ノ要アリタルモノト認ムルヲ得ス當局者ハ配備不足ノ方面ニ對シ充實ヲ圖リタルモノノ如ク謂フト雖本件回送鹽ノ倉庫別受入實績ヲ觀ルニ左記ノ如ク貯藏鹽多量

既往昭和六年度 專賣局 (五七)

一〇一

既往昭和六年度 專賣局 (五七)

ヲ保有セル倉庫ニ對シ回送受入ヲ爲セルモノニシテ答辯ハ之ヲ事實ト認メ難シ

倉庫名	九月末在庫高	受入高
北千住	三三、二二九	一七九
芝浦	一四四	〇
深川	一三、九九四	二二、二八三
月島	六、一七四	八三七
平井	二、六三五	三八九
新宿	六七七	四二 (外ニ貨車積ノ儘賣拂ヒタ ルモノ八六九千餘疋アリ)

而シテ廣島、坂出、大阪各地方專賣局管内ニ於ケル官庫ハ六年十月以降各月千六百餘坪乃至七千四百餘坪ノ空庫ヲ擁セルニ反シ東京地方專賣局ニハ官庫少ク多額ノ料金ヲ支拂ヒ借庫又ハ保管寄託ヲ爲セル狀況ナルニ更ニ本件不必要ナル回送ヲ爲シ比較的低廉ナル借庫料ヲ基礎トスルモ壹萬參千四百餘圓ノ損失ヲ生シタルノ計算ニシテ失當ノ措置ト爲ササルヲ得ス尙本件ノ外東京地方專賣局横濱出張所、函館地方專賣局釧路出張所、同小樽出張所等ニ對シテモ同様必要ナキ回送ヲ爲シ倉庫料ニ於テ損失ヲ來シタルモノアルノ狀況ナリ要スルニ本件ハ鹽ノ回送計畫其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】
本件批難ノ要旨ハ昭和六年十一月兩月中廣島坂出、大阪各地方專賣局管内鹽收納官署ヨリ東京地方專賣局及同横濱出張所、函館地方專賣局釧路出張所同小樽出張所へ必要ナキ鹽ノ回送ヲナシ借庫及保管寄託料ノ損失ヲ來シタルハ回送計畫ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリト謂フニアレトモ以下説明ノ事情ニ基クモノニシテ當時ノ狀況ニ於テハ之ヲ不當ナリトナスヲ得ス十月分鹽回送計畫ニ當リ調査シタル本件發送元タル大阪、廣島、坂出各地方專賣局ニ於ケル貯藏力ハ

大阪	三、八七三	一四、八九〇
廣島	八、七四五	三六、一〇九

坂出	計	九月末現在	十月中收納
七、九一四	二八、〇五九	見	見
二〇、五三二	七九、〇五八	九、〇一四	二二、七七六
大阪	二九、六六三	一九、〇一八	四八、六八一
廣島	二四、九四三	一三、一三〇	四八、一七三
坂出	六七、二六八	五二、三六二	一一九、六三〇

ニ付貯藏力不足ハ

大阪	七、八八六
廣島	一一、五七二
坂出	二〇、一一四
計	四〇、五七二
大阪	一五、三〇二
廣島	二〇、六二三
坂出	四四、五三五

ヲ示セリ右貯藏力ハ倉庫ノ全席ヲ充塞スヘキ計算ナルヲ以テ此ノ内幾分ノ餘席ヲ存スルニアラサレハ天候ノ故障ニ因ル納付ノ殺到回送及賣渡鹽ノ引取遅延等ノ場合ニ於ケル處置ノ安全ヲ期スルヲ得サルニ付之等ノ點ヲ勘案左記ノ通り回送命令ヲナシ以テ事業ノ圓滑進行ヲ期シタル次第ナリ

十一月分ハ收納官署ニ於ケル貯藏力ハ收納鹽ノ減少ニヨリ大阪ヲ除ク廣島坂出地方專賣局ニ於テハ相當餘力ヲ生スルニ至リタルヲ以テ主トシテ販賣官署ノ需要ヲ考慮計畫シタルモノナリ

東京地方專賣局ニ於ケル九月末二等鹽現在高ハ二六、八五三千餘疋ニシテ六年四月變更賣渡計畫二二、三三〇千疋ニ對シテハ一箇年餘ノ貯

既往昭和六年度 專賣局 (五七)

藏鹽ヲ擁シ一應回送ノ要ナキカ如キモ當時産地ニ於ケル三等鹽ノ生産ハ販賣官署ノ要求ト相距ルコト多ク之カ緩和ノ方法トシテ上級鹽ニ使用ノ轉換ヲ策シタル爲メ漸次之カ效果ヲ見即チ九月迄ニ於ケル販賣計畫對實績ハ

賣渡計畫	一二、九六〇
賣渡實績	一四、八八二
差引増加	一九二二

即チ一割四分八厘餘ノ増加ヲ示セル狀況ナルヲ以テ之ニ對應スヘク回送ヲ要シタル次第ナリ尙冬期ハ漬物最盛期ニ屬シ殊ニ同年度ニ於ケル漬物用大根ノ作付反別ハ平年ニ比シ三割増ニシテ作柄亦良好ヲ豫想サルルト所謂漁業期ニ入レルヲ以テ不時火急ノ需要ニ應スルノ用意ヲ要スル等勞大消費地ニ於テハ非常時對策トシテ常ニ相當數量ノ準備貯藏ヲ要スル次第ナリ

函館地方專賣局釧路出張所、同小樽出張所ニ對スル回送ハ左述ノ如ク特殊事情ノ存スルモノナリ
北海道販賣官署ハ需要ノ略一定セル一般用途鹽ノ外沿海漁業用鹽ハ勿論千島樺太露領等ノ所謂北洋漁場ニ於ケル漁獲物ノ豐凶ニ依リ需要數量ヲ著シク左右セラレ豫測不可能ナル漁業用鹽ノ供給ヲモ併セ行フヲ以テ常ニ相當數量ノ準備鹽ヲ貯藏スルヲ必要トスル所ナリ
而シテ釧路出張所ニ於テハ當時釧路港ハ港灣トシテ設備不十分ノ爲メ冬期ハ勿論四月前後ニ於テスラ荷揚困難ノ場合往々アルノ實況ナリシヲ以テ左記變更販賣計畫ニ基キ荷揚可能ノ十一月ニ於テ九〇〇千疋ヲ回送セシモノナリ而シテ本回送鹽ハ官庫ニ七五九千疋ヲ保管庫ニ一四一千疋ヲ收容シタルモノナリ

月別	元販賣計畫 千疋	變更販賣計畫 千疋
十一月	二〇九	二五〇
十二月	三〇	四五〇
一月	八七	四〇〇
二月	二一〇	四〇〇
三月	二七七	三〇〇
計	八二三	一、八〇〇

小樽出張所所在地ハ冬期積雪量一夜ニシテ數尺ニ及フコトアリ官庫ノ位置上在庫鹽搬出作業全ク不可能ナルコト屢アルノ實況ナルヲ以テ冬期間ハ倉出ニ最モ便利ナル地域ニ在ル借庫又ハ保管寄託倉庫ニ受入以テ需給ノ圓滿ヲ期セサルヘカラサル特殊事情アリ在庫數量ヨリ見

テ直ニ回送數量ノ過大ヲ斷スルヲ得サル次第ナリ

【貴決】 異議ナシ

【家決】 警告

國有財産整理資金

歳入

第一款 國有財産整理資金收入

第一項 國有財産賣拂代

九七、七七五、三七〇

【報告】

(五八) 大阪稅務監督局ノ徵收ニ係ル

ハ堺市大濱南町所在國有地一萬八百六十三坪餘ヲ昭和七年三月隨意契約ニ依リ堺市ニ賣拂ヒタル代金ナリ右價格評定ノ根據ハ附近土地ニ就キ相續稅時價標準ヨリ觀タル評價參拾七圓餘土地賃貸價格等級ヨリ觀タル貳拾八圓賣實例ヨリ觀タル參拾八圓ノ各時價ヨリ面積廣大ニシテ資金固定スルノ事由ニ依リ二割五分ヲ又盛土費ヲ要スルカ爲坪當拾圓ヲ各控除シ平均拾五圓九拾五錢ト爲シ更ニ借地權價格ヲ四割乃至五割ト認メ結局賣拂價格ヲ坪當九圓ト決定シタルモノナリ然レトモ賣拂地中市カ貸付ヲ爲ササル千三百餘坪ニ對シテハ借地權ヲ認ムルノ要ナキモノナルニ賣拂總面積ニ對シ四割乃至五割ノ借地權價格ヲ認メタルハ高率ニ失スルノミナラス同市ハ轉賣ノ目的ヲ以テ買受ケ現ニ買受後直ニ之カ轉賣ヲ了セル事實ニ徴シ買受資金ノ固定ヲ事由トシ多額ノ金利ヲ見積ルノ要ナキニ二割五分ノ低減ヲ爲シ賣拂價格ヲ決定シタルハ妥當ノ措置ニ非スト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

(一) 賣拂地中貸付ヲ爲シ居ラサル千三百餘坪ニ對シテハ借地權ヲ認メタルニ非ス貸付坪數九千四百餘坪ニ對シテハ借地權ノ價格ヲ土地價格坪當拾五圓餘ノ五割ト評價シ之ヲ賣拂總坪數ニ對シ平均スレハ四割三分餘ト爲リタルヲ以テ時價坪當拾五圓餘ニ對シ四割四分ノ斟酌ヲ爲シタルモノナリ

(二) 堺市ハ轉賣ヲ目的トシテ買受ケタルモノナルカ賣拂地ノ面積ハ一萬八百餘坪之カ價格ハ九萬七千七百餘圓ニシテ此ノ如キ廣大ナル面積ノ土地賣拂ニ付テハ當時ノ如キ財界不況ノ下ニ在リテハ買受人ト雖之ヲ資金化スルコトハ困難ニシテ買受資金ノ固定ヲ見ルノ狀況アリト認メラレタルヲ以テ二割五分ノ低減ヲ爲シタルモノナリ

既往昭和六年度 國有財産整理資金 (五八)

ト謂フニ在リ然レトモ堺市ハ借地人ニ對シ買受後直ニ坪當平均拾四圓餘總額拾五萬五千五百餘圓ヲ以テ轉賣ヲ爲シ差額五萬七千七百餘圓ヲ取得セルノ外買受人ヨリ五千四百餘圓ノ寄附ヲ受ケタルノ事實ニ鑑ミ市ニ於テハ買受前既ニ借地人トノ間ニ賣買ノ協定アリシハ明ナル所ナルヲ以テ資金固定ヲ事由トシ時價參拾四圓餘ニ對シ二割五分八圓六拾五錢ヲ控除スルノ要アリシモノト認メ難シ又盛土費トシテ拾圓ヲ控除セルモ現地ノ狀況並爾後所轄稅務署ニ於テ本地ニ設定シタル賃賃價格等級ニ徵シ過大ニ失スルモノト認メサルヲ得ス而シテ堺市ニ於テ本地ノ維持管理ノ爲相當ノ經費ヲ支出シ來レル事實アルモ元來本件賣拂地ハ堺市カ公共用ニ供スヘキ公園敷地ヲ多年相當ノ使用料ヲ徵シ住宅若ハ別莊地トシテ個人ニ占用セシメ來レルモノニ係リ公園管理ノ本旨ニ悖レルモノナルヲ以テ之カ整理ハ同市當然ノ責務ニ屬スルモノナルニ却テ本件ノ如ク多大ノ斟酌低減ヲ加ヘ同市ニ坪當九圓ノ低價ヲ以テ賣拂ヲ爲スニ至リタルハ畢竟國有地ノ管理ニ關シ永年ニ互リ措置其ノ當ヲ得サリシニ因ルモノト認メサルヲ得ス

參照

要スルニ本件ハ國有地ノ處分ニ當リ賣拂價格ノ決定其ノ當ヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

區分	基準時價	時價	同上ヨリ減額		差引	借地權價格	再差引
			利子(二割五分)	盛土費			
相續稅時價標準ヨリ觀タルモノ	四二、〇〇〇	一割減 三七、八〇〇	九、四五〇	一〇、〇〇〇	一八、三五〇		
土地賃賃價格等級ヨリ觀タルモノ	四〇、〇〇〇	三割減 二八、〇〇〇	七、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一八、〇〇〇		
賣拂實例ヨリ觀タルモノ	三八、〇〇〇	三八、〇〇〇	九、五〇〇	一〇、〇〇〇	一八、五〇〇		
平均	三四、六〇〇				一五、九五〇	約四割三分引 六、九五〇	九、〇〇〇

【辨明】

會計検査院ハ本件賣拂ニ關シ(1)堺市カ借地人ニ對シ買受後直チニ坪當平均拾四圓餘總額拾五萬五千五百餘圓ヲ以テ轉賣ヲ爲シ差額五萬七千七百餘圓ヲ取得セルノ外買受人ヨリ五千四百餘圓ノ寄附ヲ受ケタルノ事實ニ鑑ミ市ニ於テハ買受前既ニ借地人トノ間ニ賣買ノ協定アリシハ明ナル所ナルヲ以テ資金固定ヲ事由トシ時價參拾四圓餘ニ對シ二割五分八圓六拾五錢ヲ控除スルノ要アリシモノト認メ難シ(2)盛土費トシテ拾圓ヲ控除セルモ現地ノ狀況並爾後所轄稅務署ニ於テ本地ニ設定シタル賃賃價格等級ニ徵シ過大ニ失スルモノト認メサルヲ得ス(3)元來本件賣拂地ハ堺市カ公共用ニ供スヘキ公園敷地ヲ多年相當ノ使用料ヲ徵シ住宅若ハ別莊地トシテ個人ニ占用セシメ來レルモノニ係リ公園管理ノ本旨ニ悖レルモノナルヲ以テ之カ整理ハ同市當然ノ責務ニ屬スルモノナルニ係リ借地權ニ相當スル價格ヲ四割乃至五割トシ斟酌低減ヲ加ヘ坪當九圓ニ賣拂ヲナシタルハ不當ナリト云フニ在リ然レトモ本公園ハ明治四十一年十月三日大阪府達第九十一號命令書ヲ以テ大阪府知事ヨリ公園地ニ編入ノ達シアリ次テ同年十月十二日堺市告示第六十五號ヲ以テ兼ニ制定セル公園管理規則及公園使用料條例ヲ本公園ニ適用シタリ然ルニ本地ハ元甚タシキ低濕ノ地ニシテ自然ノ荒廢ニ任サレ葦繁茂シ其ノ中央部ノ如キハ常ニ汚水停溜シ沼狀ヲ呈シ居リシヲ以テ堺市ハ埋立又ハ悪水ノ排除、道路ノ開設若ハ地上ニ松樹ヲ栽植スル等辛シテ宅地トシテ利用シ得ル程度ノ土地トナシ僅ニ公園トシテノ形態ヲ備ヘシムルニ至レリ然ル處本地ハ大都市大阪ヲ控ル關係上夏季ハ本地海岸ニ來遊スル者逐年増加シ加フルニ本地ノ使用許可ヲ受ケ家屋ヲ建設シ夏季ニ寓居スルモノ漸次其ノ數ヲ増加シ終ニ現狀ヲ呈スルニ至レリ而シテ堺市ハ大阪府ノ認可ヲ經タル同市公園管理規則ニ依リ本地ヲ個人ニ使用セシメ其ノ使用料年額九、五九二圓餘ハ之ヲ同市公園ノ維持管理改良費ノ一部ニ充當シ居リシモノナリ

以上ノ沿革並賣拂當時ノ現況ニ鑑ミ前記各事項毎ニ之カ辨明ヲナサントス

(1)資金固定ヲ事由トシ時價參拾四圓餘ニ對シ二割五分八圓六拾五錢ヲ斟酌低減シタル理由

堺市ハ本地ノ賣拂ヲ受ケ現ニ住宅又ハ別莊敷地トシテ使用シ居ル者ニ對シ賣拂ヲ爲シ其ノ代金ヲ以テ他ノ公園(大濱北公園、同南公園及同南新公園)ノ維持改良費ニ充當スル計畫ノ下ニ買受ケタルモノナリ而シテ堺市カ買受人ヨリ五、四八五圓ノ寄附ヲ受ケタルハ名義上寄附金ニシテ事實ハ借地人ノ延滞シタリシ使用料ナリ即チ賣拂地中合資會社大濱溫泉ホテルノ使用シ來リシ土地一、二五二坪九合二勺ハ同ホテルニ於テ買受ノ意思並ニ資力ナカリシヲ以テ堺市ハ直接福原某及鈴木某ノ兩人ニ賣拂ヒタルモノナリ而シテ堺市ハ本地ヲ福原、鈴木兩人ニ賣拂フ條件トシテ大濱溫泉ホテルカ延滞セシ使用料金ニ略相當スル金額ヲ寄附セシメタルモノナリ斯クノ如キ事情ニ依リ五、四八五圓ヲ一部買受人ヨリ寄附セシメタルモノナリ又堺市ハ本地ヲ轉賣ノ目的ヲ以テ買受ケタルモノナルカ賣拂地ノ面積一〇、八六三坪九合三勺之カ價格九七、七七五圓三七ニシテ如斯廣大ナル面積ノ土地ノ賣拂ニ付テハ當時ノ如キ財界不況ノ下ニアリテハ之

ヲ資金化スルコト極メテ困難ニシテ相當期間買受資金ノ固定スヘキモノト認メタルヲ以テ之等ノ事情ヲ斟酌シ二割五分ヲ低減シタルモ
ノナリ蓋シ賣拂當時ノ狀況ヨリセハ右斟酌低減ヲ爲シタルハ不當ナルモノニ在ラス

(2) 盛土費トシテ拾圓ヲ斟酌低減シタル理由

本地ハ元甚シキ低濕ノ地ニシテ自然ノ荒廢ニ任セラレ葎繁茂シ其ノ中央部ノ如キハ常ニ汚水停溜シ沼狀ヲ呈シ居リシヲ以テ堺市ハ漸次
埋立ヲナシタルモ賣拂當時ハ尙從來ノ民有宅地並新國道ニ比シ平均五尺以上ノ低地ナリシノミナラス排水設備不完全ナルヲ以テ稍大ナ
ル降雨ノ際ハ地上ニ雨水停溜シ道路モ通行不能トナレルコト往々アリテ完全ナル宅地トナスニハ五尺以上ノ盛土ヲ要スル狀況ニアリタ
リ、而シテ之カ盛土ハ附近ニ得難カリシ(砂ニテハ地盤軟弱ナルヲ以テ普通土ヲ以テ盛土ヲ爲ササルヘカラス)ヲ以テ盛土費用ハ比較的
多額ニ昇リ一立坪拾貳圓ヲ要スルモノト認メラレシヲ以テ一平面坪ニ付拾圓ヲ要スル計算トナリ之カ費用ヲ斟酌低減シタルモノナリ又
所轄堺稅務署ニ於テ貸賃價格ノ等級ヲ設定シタルハ昭和七年十二月二十八日ニシテ設定當時ニ於テハ本地ヲ貫通スル國道第十六號線ハ
開通シ且排水工事(大正十三年下水工事ヲナシタルモ國道開通後排水設備ヲ爲ス要アリシ爲之カ工事ヲナシタリ)モ完備シ本地附近ノ狀
況ハ賣拂當時ヨリハ豫想以上ノ變化ヲ來シ良好ナル土地トナリタルヲ以テ附近類地ト同等程度ノ貸賃等級ヲ設定シタルモノナリ然レト
モ盛土費拾圓ヲ斟酌シタルハ賣拂當時ノ土地ノ現況ニ鑑ミ低減シタルモノナルヲ以テ右盛土費斟酌低減ハ不當ニアラス

(3) 使用權ニ相當スルモノト認メラルル價格ヲ斟酌低減シ坪當九圓ヲ以テ賣拂ヒタル理由

本地ハ大都市大阪ヲ控フル關係上夏季ハ本地海岸ニ來遊スル者逐年増加シ本地ノ使用許可ヲ受ケ家屋ヲ建設シ夏季之ニ寓居スル者ヲ生
シ漸次其ノ數ヲ増加シ現狀ヲ呈スルニ至レリ然レトモ本地上ニ建物ヲ所有スル者ハ堺市ニ於テ制定シタル公園管理規則ニ依リ適法ニ使
用許可ヲ受ケ權利ヲ有スルノミナラス借受人ハ家屋敷ヲ三尺内外盛土ヲ爲ス等相當造成費ヲ投シ現況宅地トナシタルモノナリ堺市ハ借
地法適用地域ニアラサルモ同法適用地域タル大阪市ニ接續スルヲ以テ家屋所有者ハ勿論一般ノ者モ借地ニ付一種ノ權利ヲ有スルモノト
認メ且其ノ使用權ノ賣買ノ行ハレタル事實又ハ堺市都市計畫ニ依リ道路開設ノ際偶々同市公園使用者ノ使用區域カ道路敷地ニ該當シタ
ルモノアリシカ内務省ハ使用權ノ補償並家屋移轉費トシテ使用地一坪當拾圓以上六拾六圓餘ヲ補償シタル事實等以上ノ實例ヲ綜合スル
ニ本地上ノ家屋所有者ニ對シテモ法理的ニハ免ニ角實際問題トシテハ之カ使用權ヲ認メ價格ヲ斟酌スルコトハ一般社會慣習上ヨリ觀察
スルモ最モ妥當ナル處置ト認メサルヘカラス依ツテ前述ノ使用權ノ賣買、補償又ハ精通者ノ意見等ヨリ綜合勘案シ之カ權利ヲ價格ニ見
積ルトキハ大體土地價格ノ四割乃至五割程度ヲ相當トス依ツテ精通者ノ意見ヲ參酌ノ上本地評定價格坪當拾五圓九拾五錢ニ對シ使用
權價格四割四分ノ割合ヲ斟酌シ坪當九圓(端數切上)ヲ適當ナル價格ト認メ賣拂ヒタルモノニシテ右斟酌低減ハ不當ナルモノト認ムルヲ

得ス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

一五、六六四三二〇

【報告】

(五九) 東京稅務監督局ノ徵收ニ係ル
ハ昭和七年三月箱根土地株式會社ニ對シ隨意契約ニ依リ賣拂ヒタル東京市神田區表神保町所在元東京商科大學敷地二百二

十四坪餘ノ代價ナリ右ハ甲地域百三十四坪餘ヲ坪當六拾圓乙地域五十一坪餘ヲ七拾貳圓丙地域三十八坪餘ヲ百圓ト評價シ
低價ニ賣拂ヒタルモノニシテ之ニ關シ當局者ノ事由トスル所ハ

(一) 甲地域ハ相續稅時價標準ニ依レハ更地坪當貳百七拾圓ナルモ右標準率ハ財界不況ノ爲實際課稅ノ場合ニハ二割乃至
三割ヲ低減シテ適用セル實情ナルニ依リ本地モ其ノ二割五分ヲ斟酌スルトキハ坪當貳百圓ト爲リ又土地貸賃價格ヨリ
觀ルモ目的地附近ノ貸賃價格坪當拾圓ナルヲ以テ財界不況等ノ爲二割ヲ低下シタル八圓ヲ利廻年四分ニテ還元スルト

キハ坪當價格貳百圓ト爲ルヲ以テ本區域ノ更地價格ヲ貳百圓ト評定ス
次ニ本地上ニ設定シアル借地權ノ價格ニ付勘案スルニ普通商業地區域内ノ事例ハ更地價格ノ五割前後(復興局五割五
分)ナルモ本借地權ハ判決ニ依リ確認セラレ且箱根土地株式會社カ本件賣渡地上ニ存セル借地權ヲ買收スルニ當リ坪
當平均參百圓乃至四百圓ヲ支出セルノ事實アリ右支出中ニハ借地權ノ外家屋移轉料及立退料等ヲ包含シ居レルモ其ノ
大部分ハ借地權ノ價格ト認メラル而シテ會社カ殆ト更地價格ニ近キ借地權價格ヲ支拂ヒタルハ目的地ト之ニ接續セル
會社所有地ヲ一括處分セムト欲シタル特別ノ事情ニ因ルモノニシテ之ヲ以テ直ニ正當ナル借地權價格トハ觀ルヲ得サ
ルモノ一面借地人ノ頑強ナリシ等ノ事情ニ因リ相當割高ナリシ關係アルヲ以テ借地權價格ヲ更地價格ノ七割ト爲シ之ヲ
控除シ賣渡價格坪當六拾圓ト評定シ

(二) 乙地域ハ角地ナルヲ以テ甲地域ヨリ二割ヲ昂上シ更地價格ヲ貳百四拾圓トシ借地權價格七割ヲ控除シ賣渡價格ヲ坪
當七拾貳圓ト評定シ

既往昭和六年度 國有財産整理資金 (五九)

(三) 丙地域ハ大迫某ニ其ノ借地權ナキコト判決ニ依リ確定シタルニ因リ地上建物並借地權ヲ買収シタリト稱スル平井某ニ對シ土地明渡訴訟ヲ提起シ之カ訴訟繫屬中前田某ニ於テ再ヒ右建物ヲ買収シ營業中ナリシヲ以テ更ニ同人ニ對シ土地明渡訴訟ヲ提起スルノ要アリシカ本地ニ對シ箱根土地株式會社ニ於テ壹萬五千圓ヲ支出シ右建物ヲ移轉セシメタルニ因リ此等繫争ノ要ナキニ至リタルノ事實ニ鑑ミ借地權アルモノニ準シ更地價格貳百圓ノ五割ヲ控除シ賣渡價格ヲ百圓ト評定シタルモノナリ

(四) 而シテ附近ニ於ケル會社分讓地ノ賣買實例ハ坪當參百四拾七圓餘乃至四百參拾圓平均參百六拾七圓弱ナルモ右ハ昭和三、四年頃ニシテ本件土地ノ處分ハ七年三月ナルヲ以テ土地價格ノ低落甚シキノミナラス會社ノ分讓地ハ會社カ三間道路ヲ設クル等相當整地費ヲ投シタルニ反シ本件賣渡地ハ其ノ一部單獨利用困難ノモノアル等直ニ之ヲ比準ト爲スヲ妥當ナラスト思料シ更地價格ハ相續稅時價標準及土地賃賃價格ヲ基礎トシ評定スルヲ適當ト認メタリ

ト謂フニ在リ然レトモ本件賣渡地ハ會社ノ分讓地ニ接續セルヲ以テ分讓地中ノ賣買實例ヲ參酌シ本件賣渡地ノ評價ニ資スルヲ妥當ナリト認メラルルニ拘ラス前掲(四)ニ述フルカ如キ事由ニ依リ他ニ基準ヲ求メ電車通ニ面シ何等道路ノ施設等ヲ要セシテ直ニ利用シ得ヘキ地位優良ナル本件賣渡地ヲ貳百圓乃至貳百四拾圓ト評定スルカ如キハ其ノ間土地價格低落セル等ノ事情ヲ斟酌スルモ評價低廉ニ失セルモノト認メサルヲ得ス

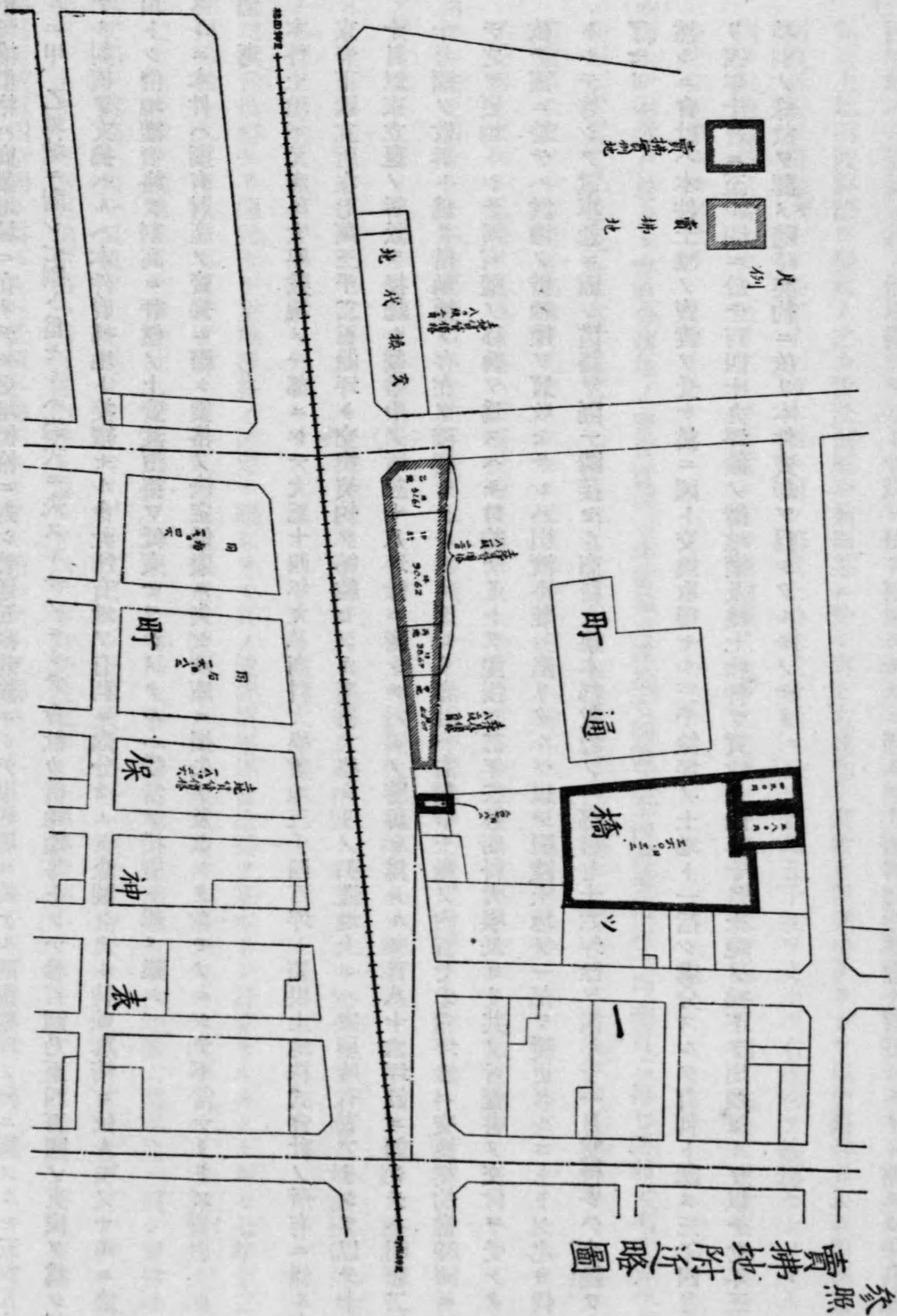
又土地賃賃價格ヨリ還元セル更地價格ノ評定ニ關シテモ其ノ賃賃價格坪當拾圓ヲ基本トシ計算セルモノナルモ七年十二月本件賣拂地ニ設定セル土地賃賃價格ハ貳拾貳圓乃至貳拾四圓ニシテ其ノ査定甚シク當ヲ失シ又四年十一月本件賣拂土地ノ内百七十六坪餘ノ代地トシテ本會社ニ交換引渡ヲ爲シタル商科大學本部敷地ノ一部百七十六坪餘(電車通ニ面シ賣拂地ト道路ヲ隔テ隣接シ同一價值アリト認メタルモノ)ニ設定セル土地賃賃價格ハ坪當貳拾圓ナルヲ以テ當局者評定ノ例ニ倣ヒ算出スルトキハ坪當更地價格ハ四百圓内外ト爲ルヲ以テ本件賣渡地中ノ一部奥行狭小ナルモノアリト雖其ノ更地價格ヲ貳百圓乃至貳百四拾圓ト爲セルハ低價ニ過クルモノト謂ハサルヲ得ス

又借地權價格ハ商業地域ニ在リテモ更地價格ニ對シ普通五割前後ニシテ復興局ニ於ケル區劃整理ノ例ニ徵スルモ五割五分ナルニ甲、乙地域ニ對シ七割ト爲セルハ過大ニ失スルモノニシテ會社カ借地權等トシテ參百圓乃至四百圓ノ支出ヲ爲シ割高ナル對價ヲ支拂ヘルハ本件賣拂地ト接續セル會社所有地ヲ有利ニ處分セムト企圖シタル特殊事情ニ依ルモノナルニ之ヲ事由トシ借地權價格ヲ割高ニ評價ノ上賣渡價格ヲ低廉ナラシメタルハ妥當ノ措置ト認メ難シ
要スルニ本件ハ國有財産ノ賣拂ニ際シ價格ノ決定低廉ニ失シ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

備考

本件土地ハ元商科大學敷地ノ一部ニシテ大正十四年九月商科大學敷地三千四百坪ト箱根土地株式會社ノ所有ニ係ル東京府下國立所在七萬三千二百餘坪ト交換契約ヲ締結セシカ商科大學ヨリノ引渡地上ニハ家屋所有者アリシヲ以テ十年十月以來立退ノ訴訟ヲ提起シ繫争中ノ所三十八坪餘ニ對シテハ國ノ勝訴ト爲レルモ百八十六坪餘ニ對シテハ昭和二年十月國ノ敗訴ト爲リ借地權ノ存在ヲ確認セラルルニ至レリ會社ハ右繫争土地ノ内百七十六坪餘ハ交換契約當時國ニ於テ之ヲ更地トシテ所有權ノ移轉ヲ爲スヘキ口約ナリシヲ主張シ二年二月商科大學長ヨリ其ノ旨覺書ノ交付ヲ受ケタリ依テ國ニ於テハ該地ノ借地權ヲ買収セサレハ引渡不能ニ陥リタルヲ以テ引渡土地ノ一部ヲ變更スルコトトシ之カ代地トシテ等シク電車通ニ面シ道路ヲ隔テ隣接セル商科大學本部敷地ノ一部百七十六坪餘ヲ四年十一月交付シテ交換ヲ完了セリ

然ルニ會社ハ本件土地ノ賣渡ヲ受ケ曩ニ國ト交換取得セル三千餘坪ノ土地ト一括シ處分スルヲ有利ト認メ三年四月ヨリ四年十月ニ至ル間ニ於テ百四十九坪餘ノ借地權及地上物件ヲ買収シ四年十月土地ノ拂下ヲ出願セルヲ以テ七年三月特別ノ緣故ヲ認メ隨時契約ニ依リ本件賣却ヲ爲シタルモノナリ



【辨明】

會計検査院ハ本件賣拂ニ關シ賣渡價格低廉ニシテ其ノ當ヲ得スト批難シ其ノ事由トシテ第一、賣拂地ニ近接シテ買受會社カ分讓シタル土地アルニ不拘之カ分讓價格ヲ評價ノ資料ニ供セス他ニ基準ヲ求メ更地價格ヲ坪當二〇〇圓乃至二四〇圓ト評定シタルハ著シク低廉ナリ第二、土地貸賃價格ヨリ還元シテ時價ヲ求ムルニ際シ假定貸賃價格ノ見積カ拂下後設定セラレタル實際ノ貸賃價格ト著シキ差異ヲ生シ其ノ見積當ヲ失シ從テ之ニ因リ決定シタル評定價格亦低價ニ過ク第三、賣渡地上ノ借地權價格ヲ更地價格ノ七割ト決定シタルハ過大ニ評定シ然レトモ政府カ本件賣拂地ヲ評定スルニ當リ買受會社ニ於テ目的地附近ノ土地ヲ分讓シタル實例價格アルニ之ヲ評價ノ資ニ供セザリシハ會社ノ分讓シタル時期カ昭和三、四年ノ頃ニシテ當時ト本件賣拂當時即チ昭和七年三月ノ頃トハ經濟界ノ事情モ大イニ變化シ實例地トシテ價格評定上引用スルハ不適當ト認メ之ヲ資料ニ供セザリシ次第ナリ

テ價格評定上引用スルハ不適當ト認メ之ヲ資料ニ供セザリシ次第ナリ
 次ニ目的地ニ對スル貸賃價格ノ見積カ其ノ後稅務官廳カ實際設定シタル貸賃價格ト著シキ差異ヲ生シ居レルモ當初目的地ノ貸賃價格ヲ坪當十圓ト見積リタルハ隣接箱根土地株式會社ノ所有地元一ツ橋通町二番ノ十三ニ對スル土地貸賃價格カ坪當十圓(七二級)ト現在三番ノ一賃賃價格九圓二八九厘ナリシニ稽(目的地カ電車通二面スルモ地形狹長ニシテ利用價值劣リ彼是相殺シテ隣地ト同等ヲ相當ト認メタル次ニシテ之ニ因リ還元シ求メタル價格ハ相當ナリト思料ス

次ニ第三、東京市内ニ於ケル借地權ノ價格ハ場所、借地料ノ高低借地期間ノ長短借地人ノ性質職業等ニ依リ高低アルモ本地ハ箱根土地株式會社ニ於テ目的地ヲ買收スルニ當リ家屋移轉料立退料等ヲ包含シ坪當三〇〇圓乃至四〇〇圓總額六萬五千餘圓ヲ支出シアリテ右ノ内大部分ハ借地權ノ價格ナリト認メラル而シテ會社カ殆ント更地價格ニ近キ借地權價格ヲ支拂ヒタルハ目的地ヲ之ニ近接スル自己所有地ト一括シテ處分セムト欲シタル事情ニ因ルモノニシテ直チニ之ヲ以テ正當ノ借地權價格ナリト見ルヲ得サルモ目的地ノ借地權價格ハ借地人ノ頑強ナリシ等ノ事情ニ依リ相當割高ナルモノト認メサルヘカラス尙本借地權ハ判決ニ依リ確認セラレタル關係モアリ其ノ借地權價格ハ七割ヲ以テ適當ト認メタル次第ナリ

【貴決】 異議ナシ

【兼決】 注意

一五、一五〇、二四〇

【報告】

(六〇) 札幌稅務監督局ノ徵收ニ係ル

ハ昭和六年十月有限責任室蘭住宅組合ニ對シ住宅組合法第十三條ニ依リ隨意契約ヲ以テ賣拂ヒタル室蘭市小橋町内町所在國有地九千八百坪(大部分ハ元海軍貯炭場敷地)ノ代金ナリ右坪當單價壹圓六拾八錢ハ三年十月隣接地五千二十四坪(三口分)

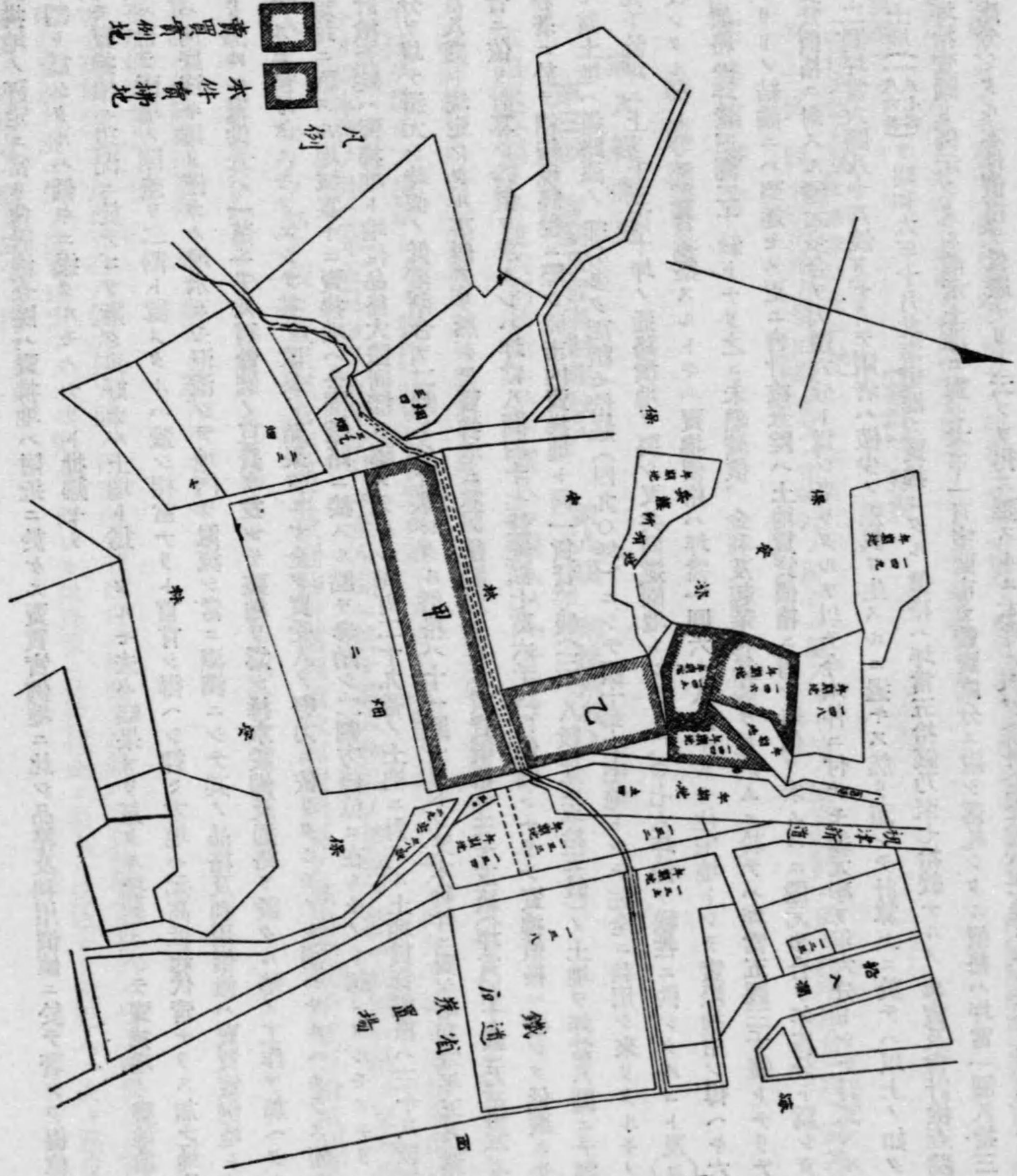
既往昭和六年度 國有財産整理資金 (六〇)

賣買實例壹圓六拾八錢ト比較勘案シ賣拂地ハ賣買實例地ニ比シ地位品格ニ於テ二割方優レルモ土地價格ハ實例地ノ賣買當時ニ比シ二割以上低落セルヲ以テ兩者間開差ナキモノトシ之ヲ同價格ト評定シタルモノナルモ本件賣拂地ノ評價ハ低廉ニ失スルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

實例地ハ地形不正形ナルモ三口合併利用スルモノニシテ散テ不利ナル土地ト認メ難ク殊ニ港内埋立船入澗ニ近ク地理的ニ利用價值多シト認メラルルニ反シ本件賣拂地ノ内甲區ハ地勢上四季西ノ烈風ヲ受クル關係アリテ住宅地トシテハ相當不利ナル地域ナルニ鑑ミ二割程度ノ開差ヲ以テ相當ト認メタル次第ナリ

ト謂フニ在リ然レトモ本件賣拂地ハ港内埋立船入澗ト便否ニ於テ大差ナキノミナラス西方一帶ハ山續キニシテ保安林ヲ負ヒ格別烈風ヲ受クルモノト認メ難ク八年九月實地ノ狀況ヲ觀ルニ實例地ハ三口共極メテ不正形地ニシテ合併利用スルモ道路沿地域ハ其ノ一部ニ過キス一般ニ低濕地ナルヲ以テ完全ナル住宅地ト爲スニハ高十數尺ノ崖地ヲ切取リ土留工事ヲ施シ埋立整地ヲ要スルニ反シ本件賣拂地ノ整地ハ二千四百餘坪ノ鋤取ヲ爲シ不足土量千八百餘坪ヲ補足シ埋立地均ヲ施シ之カ經費壹萬千八百餘圓ヲ以テ完全ナル住宅地ト爲セルモノニ係リ甲乙兩區共殆ト道路ニ沿ヒ住宅地トシテ極メテ格好ノ品格ヲ有シ利用價值著シク優レルモノナルニ實例地ニ比シ其ノ開差僅ニ二割ト爲シタルハ低キニ過クルモノト謂ハサルヲ得ス又本件賣拂地ニ近接シ地位品格大體同等ト認メラルル同町二十九番地ハ宅地三十八級賃貸價格坪當五拾五錢ニシテ右賃貸價格ハ大正十五年現在ノ調査ニ係ルヲ以テ低落歩合ヲ二割トシ年利四分ニテ還元セハ坪當拾壹圓ト爲ルノミナラス室蘭稅務署ニ於テ昭和六年五月相續ニ對スル課稅價格決定ニ當リ同市所在宅地三十八級ヲ坪當八圓ト爲シタル事例アリ現ニ同稅務署ニ於テ七年十二月本件賣拂地ニ對シ道路潰地千五百餘坪ヲ除キタル殘地七千五百餘坪ニ付設定シタル賃貸等級ハ宅地三十五級乃至三十九級ニシテ時價ノ低落歩合二割ヲ斟酌シ之ヲ四分ニテ還元スルトキハ總額七萬六千四百餘圓平均坪當八圓四拾七錢ト爲ル等ノ事實ニ徵シ本件坪當壹圓六拾八錢ハ著シク低廉ニ失シタルモノト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ國有地ノ賣拂ニ當リ評價其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

(二) 賣拂地附近路圖



【辨明】

本件賣拂地ノ評定ニ當リ會計検査院ハ賣拂地ハ附近ニ於ケル賣買實例地ニ比シ品格及利用價值ニ於テ著シク優位ニ在リタルニ其ノ開差僅カニ二割ト爲シタルハ低キニ過クルモノナリト批難セリ

然レトモ賣拂地ハ現況ニ於テコソク良好ナル土地ト爲リタルモ夫ハ結果ヨリ見タル批判ニシテ賣拂地ノ整地前ノ狀態ヲ仔細ニ檢討スルニ於テハ自ラ兩地ノ開差ヲ二割ト認メタルハ蓋シ相當ナリト首肯シ得ヘシ抑々本地ハ元高低起伏密ナラス加之地内ヲ貫流スル「オハシナイ」川ハ河底淺キ爲メ僅カノ増水ニモ氾濫シテ地内ヲ亂流シ常ニ濕潤ニシテ其ノ品格及利用價值ハ賣買實例地ト略同様ナル狀態ニ在リシモノナリ然ルニ買受人ハ一萬一千八百餘圓ノ巨費ヲ投シテ整地ヲ爲シ排水設備及通路ヲ設クル等ノ工作ヲ加ヘタル結果舊態ヲ一變シ現況ヲ構成スルニ至リタルモノニシテ其ノ改良ノ結果タルヤ全ク買受人ノ努力ニ依リタルモノト謂ハサルヘカラス而シテ賣買實例地カ不正形ニシテ道路ニ面スル地域寡キニ賣拂地ハ全面道路ニ接スル點ヲ參酌シ二割方優位ニ在ルモノト認メタルモノナリ

次ニ會計検査院ハ賣拂地ト地位品格大體同様ト認メラルル同町二十九番ノ土地ニ對スル土地賃貸價格ハ三十八級坪當五十五錢ニシテ之ヲ利廻四分ヲ以テ還元シ時價ノ低落割合ヲ二割トシ計算シタル價格ハ十一圓ナリトシ又本物件ニ對シ昭和六年五月室蘭稅務署カ相續稅課稅ニ當リ坪當八圓ト決定シタル事例アリ然シテ賣拂地ニ其ノ後設定シタル賃貸價格ハ三十五級(坪當四十錢)乃至三十九級(坪當六〇錢)ニシテ前記割合ニ依リ計算シ時價ヲ求ムレハ坪當八圓四十七錢總額七萬六千四百餘圓トナリテ賣拂價格ハ著シク低廉ニ失スルモノナリト謂フモ室蘭稅務署ニ於テ相續稅課稅ニ際シ同市内賣拂地ト同一賃貸等級(三十八級坪當五拾五錢)ノ土地ヲ坪當八圓ニテ課稅決定シタル事例アリトスルモ該土地ハ道路添ノ部分多ク面積モ恰好(四九〇坪)ニシテ數十年來宅地トシテ完全ニ利用シ來リタルモノナルニ賣拂地ニ付テハ(イ)面積九千餘坪ニ上リ千五百坪ノ通路潰地ヲ要シ又共同遊園地トシテ 一、〇七六坪餘ヲ犧牲ニ供シタルコト及(ロ)一萬一千八百餘圓ノ整地費ヲ投シタルコト等ヲ綜合考察スルトキハ賣拂價格ハ坪當一圓六十八錢ナルモ住宅地トシテ實際利用シ得ヘキ六千四百三十一坪餘ニ對スル平均價格ハ坪當四圓二十錢トナリ之ニ未熟減價、金利及起業利益等ヲ見込ムニ於テハ坪當五圓三十錢トナリテ會計検査院ノ謂フカ如キ低廉ナリトノ結論ニハ到達セス更ニ會計検査院ハ土地賃貸價格ニ對シ時價ヲ求ムルニ還元歩合ヲ年四分ト爲シタルモ北海道ニ於テハ從來土地賃貸價格ニ對スル還元歩合ヲ大體六分ト爲シ來リタルヲ以テ今本件ニ付テモ還元率ヲ年六分トシテ計算スルニ於テハ總額四萬四千二百七十二圓坪當六圓八十八錢トナリテ兩者ハ僅少ノ差異ヲ生スルニ過キス然リ而シテ計算上ニ於テハ以上ノ如クナルモ賣拂地ノ北方ニ近接スル土地(一八七番)ヲ昭和六年十月北海道廳カ賣拂ヒタル價格ハ坪當五拾錢乃至七拾錢ナルノ事實及會計検査院カ土地賃貸價格ヨリ還元計算シ坪拾壹圓ト例示シタル前示土地ニ對シ本年一月室蘭市カ競賣處分ニ附シ落札シタル價格ハ坪當一圓八拾三錢ナルノ事實ニ徴スルモ政府カ處分シタル本件價格ヲ低廉ナリト云フヲ得ス要スルニ本件ニ對シ會計検査院ハ宅地トナリタル現況ニ於テ評價シ其ノ賣拂價格低

廉ナリト批難シタルモ政府ハ賣拂當時ニ於ケル現況ニ於テ附近ノ賣買實例及精通者ノ意見、相續稅標準並經濟界ノ推移等價重ニ調査ヲ遂ケ價格ヲ決定シタルモノニシテ本地ノ評價ハ妥當ナリシモノト思料ス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 警告

(參照) ○住宅組合法(大正十年四月十二日法律第六十六號)

第十三條 國、北海道地方費、府縣、郡又ハ市町村ノ所有ニ屬スル土地ハ隨意契約ニ依リ住宅組合ニ之ヲ賣拂又ハ貸付スルコトヲ得

拓務省所管

朝鮮總督府

歳入經常部

第三款 官業及官有財産收入 第八項 刑務所收入

三、七四六、七一〇

【報告】

(六一) 本項決算額ノ外戚與刑務所ニ於テ歳入ニ編入スヘキモノ

アリ右ハ朝鮮總督府看守長藤原某外數名カ咸興刑務所元山支所ニ勤務中大正十三年八月ヨリ昭和六年三月ニ至ル間ニ於テ正規ノ手續ヲ爲サス横領シタル製作品賣却代壹萬貳千九百七拾圓八錢ノ内ニシテ九千貳百貳拾參圓參拾七錢ハ補填ヲ了セルモノナリ尙本件ノ外二年五月ヨリ五年十月ニ至ル間ニ於テ購入物品ノ價格ヲ恣ニ高價ニ改メ又ハ物品ヲ購入セサルニ拘ラス購入シタルモノノ如ク裝ヒ歳出經常部第五款刑務所第四項收容費所屬ノ歳出金貳千貳百拾貳圓貳拾八錢ヲ騙取シタルモノアリ右ハ監督其ノ宜シキヲ得サリシニ因ルモノニシテ不當ナリトス

三、七四六、七一〇

【辨明】

本項決算額ノ外戚與刑務所ニ於テ歳入ニ編入スヘキモノ

會計検査院検査報告ノ通

但シ被害金總額金五千九百五拾八圓九拾九錢ノ内歳出金千四百六拾圓五拾錢ハ犯罪發覺前犯人ニ於テ辨償濟殘額金四千四百九拾八圓四拾九錢ハ附帶私判決ニ依リ債務確定シタルモ犯人ハ何レモ無資産ニ付貸付金ニ編入ノ見込ナリ尙犯人ハ夫々懲役八月乃至一年六月ニ處セラレ監督上ノ責任者ハ譴責處分ニ附シタリ

既往昭和六年度 朝鮮總督府 (六一)

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 【衆決】 不當

歳出臨時部

第四款 補助費 第六項 私設鐵道補助

【報告】

(六一) 朝鮮總督府鐵道局ノ支出ニ係ル

九、九一九一〇〇

ハ朝鮮京南鐵道株式會社 自昭和六年二月 事業年度ノ私設鐵道補助金六拾九萬四千百貳拾四圓六拾參錢ノ内過拂ニ屬スル金

額ナリ右ハ昭和六年五月片桐某ヨリ會社溫泉業ニ對シ寄附シタル忠清南道舒川郡所在番二千六百九十三坪ニ對スル見積價

格ヲ貳萬貳千參百拾六圓ト爲セル會社ノ計算ニ基キ鐵道業ヨリ溫泉業ニ對スル九千九百拾九圓拾錢ノ繰入金ヲ是認シ前掲

補助金ヲ支出シタルモノナルモ該評價格ハ低キニ失スルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

六年五月會社ノ受贈地ニ對スル評價格貳萬貳千參百拾六圓カ天安郡ノ評價格參萬八千七百八拾壹圓ニ比シ低廉ナルハイ

前記受贈地附近一帶ハ片桐某カ公有水面埋立ヲ爲シタルモノニシテ埋立完成後日尙淺ク實際賣買取引ノ行ハレタルハ附

近樞要部分ニ於ケル僅少ノ實例アルニ止ルヲ以テ郡ノ評價ハ自然此等ノ實例ヲ基礎トシタルカ爲幾分高價ト爲リ居ルモ

ノカト思惟セラレロ(會社)ノ評價受入ハ六年七月ナルカ郡ノ評價ハ七年二月以降ニシテ其ノ間此ノ種新開市街計畫地ノ常

トシテ多少ノ値上リアルハ想像ニ難カラス(前記受贈地)ハ市街地トシテ計畫中ノモノニシテ之ヲ分割整理ノ上賣却スル

ニハ其ノ全面積ノ二割乃至三割ハ道路敷又ハ下水敷トシテ賣却不能ニ歸スヘキヲ以テ此等ヲ含ム全面積ノ平均單價ハ現

實賣買取引ヲ爲ス正味面積ノ賣買單價ヨリ低廉ナルヘキハ當然ナリ(受贈地)ニ連續セル鐵道用地トシテ會社カ買收セル

價格ハ坪當參拾五錢乃至六拾錢ニシテ之ヨリ推考スルモ本件評價ハ不當ニ低廉ナルモノニ非ス

ト謂フニ在リ然レトモ會社ハ受贈地 山西里五五三番ノ八外二筆六百九十三坪ヲ坪當拾貳圓及長項里二番ノ一三三九、二千坪

ヲ坪當七圓ト評價セルモノナルモ天安郡守ノ調査スル所ニ依レハ片桐某カ本件土地附近一帶ノ土地ヲ六年四月群山信託株

式會社ニ信託シ同會社ニ於テ計畫セル長項市街建設豫定圖ニ示セル區劃番號九五、九六ノ分讓豫定價格坪當拾七圓同上三

二八、二二九ノ坪當拾五圓一七九、一八〇、二〇三、二〇四ノ坪當拾貳圓ナル等ヨリ類推シ總價格參萬八千七百八拾壹圓ヲ適

當トセルモノニ係リ又受贈地ニ隣接セル一區劃ヲ六年三月片桐某カ坪當拾五圓ヲ以テ直接分讓シタル實例アルニ徴シ會社

ノ見積價格貳萬貳千參百拾六圓ハ低廉ニ失スルモノト認メサルヲ得ス當局者ハ受贈地ノ内二割乃至三割ノ道路又ハ下水敷

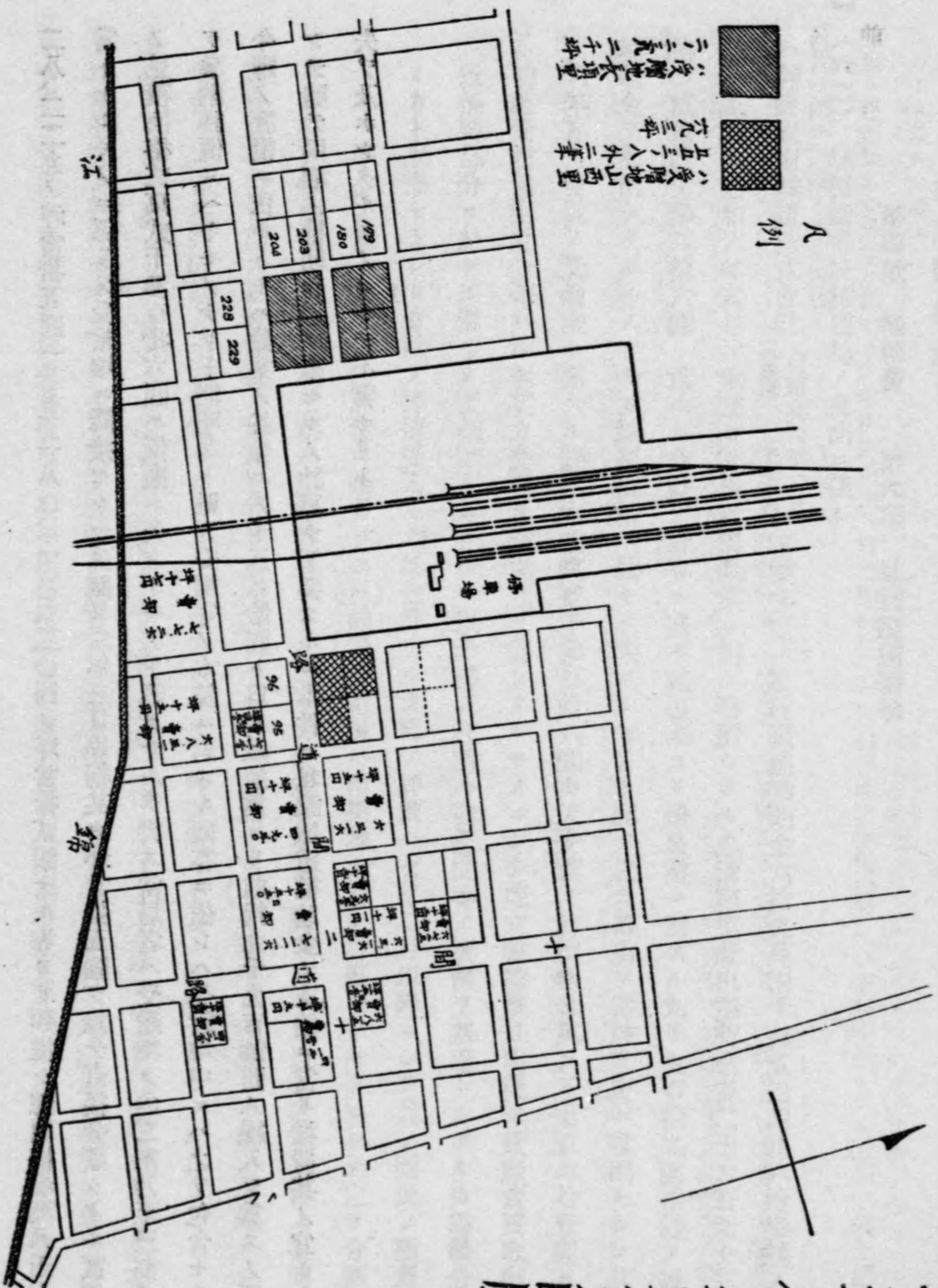
ヲ參酌評價スヘキモノナリト辯明スト雖天安郡守ノ本院ニ對スル回答ニ依レハ受贈地中ニハ之ヲ包含セサルモノニ屬セリ

今郡ノ評價ニ依ルトキハ兼業ノ益金ハ六千五百餘圓ト爲リ鐵道業ヨリ前掲九千九百餘圓ノ繰入ヲ爲スノ要ナカリシモノニ

シテ隨テ同額ノ補助超過ヲ來セルノ計算ナリ要スルニ本件ハ私設鐵道補助金ノ支給ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得ス國庫ニ損

失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス

長項市街建設豫定略圖



【辨明】

朝鮮總督府鐵道局ノ支出ニ係ル

九一九一〇〇

本項會計検査院批難ノ要點ハ朝鮮京南鐵道株式會社兼業ニ於ケル受贈土地ノ受入評價低廉ニ失シ會社カ其ノ評價額ヲ含ム兼業會計ノ損益計算ニ基キ爲セル鐵道業ヨリ兼業ニ對スル繰入金ヲ其ノ儘是認シタル計算ニ基キ交付シタル補助金ハ不當ナリト謂フニアリ然レトモ鐵道局カ是認シタル朝鮮京南鐵道株式會社ノ評價ハ受贈土地ニ關スル各般ノ實狀ニ鑑ミ適切堅實ナル評價ヲ爲シタルモノニシテ會計検査院ノ主張ニ係ル評價ハ長項附近ニ於テ公有水面埋立土地約八十町歩ノ廣大ナル土地ヲ所有スル片桐和三カ之ヲ以テ營利的ニ長項市街建設計畫ヲ樹立シ之ヲ群山信託株式會社ニ信託シ會社ニ於テ假想セル分讓豫定價格及一部權要場所ニ於ケル僅少ナル取引實例等ヲ參酌査定セル天安郡ノ評價ヲ以テ批難ノ論據ト爲セルモ會社ニ於ケル評價ノ時期ハ埋立完成後日猶淺ク一部分ノ僅少ナル實例以外ニ最モ適切ナル標準トナルヘキ相場ナキノ實狀ニ在リシヲ以テ兩者評價ニ於テ多少ノ相違アルハ蓋シ已ムヲ得サル所ナリ而シテ本件受贈地中山西里所在地六百九十三坪ハ偶々埋立工事完成期ノ都合上分割寄贈ヲ受ケタル二千三百七坪ト連續セル三千坪一團ノ土地ニシテ長項驛用地ヲ挾ム二千坪ノ受贈地ト對在シ之等ヲ市街住宅地トシテ分讓スル場合ニ於テハ埋立工事終了セル儘ノ本件土地ヲ一筆トシテ利用スルコトハ至難ニシテ之ヲ數筆ニ分割スルコト蓋シ已ムヲ得サルヘク從テ道路又ハ下水道等ノ爲其ノ面積ノ二割乃至三割ヲ要スルモノトシ又分割ノ結果道路表面又ハ裏通等ノ關係ヲ生シ價格ニ差等ヲ來スモ當然ニシテ受贈土地ノ全面積ニ對スル評價ニ方リ之等ノ事情ヲ忖度參酌シ以テ價格ノ算定ヲ爲セルハ之亦妥當ナル措置ト謂フヘシ

尙受贈地中ニ道路敷ヲ包含スルコトハ事實ニ微シ明ナル所ニシテ假リニ右三千坪及二千坪ニ對シ道路及下水道等ノ爲其ノ面積ノ三割ヲ要スルモノトシ之ヲ控除シタル殘面積ニ對シ舒川郡廳査定ノ評價額ニ依リ算出セハ四萬九千七百圓トナリ朝鮮京南鐵道株式會社ノ評價額五萬圓ト略々同額トナル計算ナリ

前述ノ事由並ニ受贈地ニ隣接セル停車場用地ノ買收價格カ三十五錢乃至六十錢程度ナル點等ニ鑑ミルモ本件受贈土地評價ハ不當ニ低廉ナルモノニ非スト認ム

記

京南鐵道會社ノ評價	全面積ノ三割ヲ控除シ舒川郡廳ノ評價ニ依リ評價シタル場合ノ評價
三、〇〇〇坪×一、二圓＝三六、〇〇〇圓	三、〇〇〇坪×〇、七×一、五圓＝三一、五〇〇圓
二、〇〇〇坪×七圓＝一四、〇〇〇圓	二、〇〇〇坪×〇、七×一、三圓＝一八、二〇〇圓
合計 五〇、〇〇〇圓	合計 四九、七〇〇圓

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 警告

國債

【報告】

(六三) 昭和七年二月國債整理基金特別會計法第五條ニ依リ橫濱正金銀行ヨリ借入ニ係ル二分利付臨時國庫證券整理借入金七千貳拾八萬八千貳百貳拾五圓ノ借換トシテ同行引受ノ形式ヲ以テ五分利公債額面貳千六百拾九萬圓ヲ發行セルモノアリ

右五分利公債ハ發行價格額面百圓ニ付八拾七圓五錢總額貳千貳百七拾九萬八千參百九拾五圓トシ之カ收入金ヲ以テ同行ヨリ借入ニ係ル二分利付臨時國庫證券整理借入金七千貳拾八萬餘圓ノ債務全額ニ付返價ヲ完了スルコトト爲シタルモノニシテ之カ計算ノ基ク所ハ借入金七千貳拾八萬餘圓ノ利子(年二分)百四拾萬餘圓ヲ五十五箇年間五分利ヲ以テ運用スル場合ノ累積額參億八千參百參拾六萬餘圓ヲ五分利公債ニ引直シタル場合ノ現在價格ニ還元シ額面貳千六百拾九萬圓ト決定セルモノナリ

抑同行ヨリ借入ニ係ル臨時國庫證券整理借入金ハ舊露國政府ニ對シ民間當業者カ賣却セル軍需品代金決済ノ爲大正七年度乃至九年度中臨時國庫證券收入金特別會計ニ於テ二分利付臨時國庫證券額面七千貳拾八萬八千餘圓(內五拾五萬千餘圓ハ大正十二年迄五分利付)ヲ發行シ民間當業者ニ交付スルト共ニ橫濱正金銀行ヲシテ同行カ有スル露國政府二分利付通知預

金ノ元利金ヲ引當トシ總額六千七百四拾八萬九千餘圓ヲ以テ之ヲ買取ラシメ昭和二年六月臨時國庫證券ノ償還期限到來ノ際之ヲ七年六月一日ヲ期限トスル借入金ニ借換ヘタルモノニ係リ此ノ如ク民間當業者ノ軍需品賣却代金ニ對シ舊露國政府覆滅後タル大正七年度乃至九年度ニ於テ國庫ノ負擔ニ依リ前記二分利付臨時國庫證券ヲ發行シ決済ヲ爲スニ至リタルハ畢竟正金銀行カ有スル舊露國政府預金ヲ引當ト爲シタルニ因ルモノニシテ正金銀行ヲシテ該臨時國庫證券ヲ買取ラシメタルモ亦同行カ右預金ヲ有スル以上之カ爲同行ニ損失ヲ被ラシムルノ虞ナカリシニ因ルモノナリ加之該露國政府預金ハ歐洲大戰當時日本政府ニ於テ財政援助ノ目的ヲ以テ舊露國政府カ軍需品代金調達ノ爲發行セル同國大藏省證券ヲ引受ケ依リテ生シタル預金ノ殘高ト認メラレモ日本政府ニ於テハ當該大藏省證券其ノ他對露債權約參億圓ヲ未決ノ儘引續キ保有セルノ狀況ナルヲ以テ該預金ト對露債權並本件借入金トハ緊密ナル關係ヲ有スルハ此等ノ沿革ニ徴シ明ナルヲ以テ右預金ノ處理ニ關シテハ政府ニ於テ最善ノ注意ヲ加ヘ優先的ニ國庫ノ利益ヲ擁護シ適當ノ措置ヲ講シ遺漏ナキヲ期スヘキハ當然ノ事ニ屬スルモノト謂ハサルヲ得ス然ルニ昭和七年ニ至リ橫濱正金銀行ニ於テ右預金約五千八百五拾萬圓ノ拂戻義務ヲ免レタルモノトシ處理セルニ際シ政府ハ之カ利益ヲ同行ニ歸屬セシメ之ヲ引當トセル本件臨時國庫證券整理借入金ニ對シテハ之カ借換ヲ名義トシテ五分利公債額面貳千六百餘萬圓ヲ發行シ同行ニ交付スルニ至レルハ其ノ措置妥當ナラスト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其ノ答辯ノ要旨ハ

露國政府ニ對スル軍需品代金決済ノ爲發行シタル臨時國庫證券七千貳拾八萬餘圓ヲ橫濱正金銀行ヲシテ買入レ保有セシメタルハ同銀行ニ露國政府ノ預入シタル通知預金ヲ引當ト爲シタルモノナリト雖本臨時國庫證券ニ依リ日本政府カ橫濱正金銀行ニ對シテ有スル債務ト橫濱正金銀行カ露國政府ニ對シテ有スル預金債務トハ全然別箇ノ關係ニシテ兩者間ニ不可分ノ關係アルモノニ非ス隨テ橫濱正金銀行カ露國政府ニ對シ預金拂戻ノ義務ヲ免レタリトスルモ日本政府ノ橫濱正金銀行ニ對スル債務ハ當然消滅スルモノニ非ス然レトモ同行カ露國政府ニ對シ預金ノ拂戻ヲ爲スノ見込ナキニ至リタルトキハ政府トシテハ最有利ナル條件ヲ以テ臨時國庫證券整理借入金ノ處理ヲ爲スヲ要スルハ勿論ナリ隨テ同行ト數次ノ交

涉ヲ重ネタル結果本件ノ如ク處理スルニ至リタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ舊露國政府ノ橫濱正金銀行ニ對スル預金カ我國ノ對露債權ト密接ナル關係ヲ有シ殊ニ臨時國庫證券整理借入金カ右預金ヲ引當ト爲シタルモノナルコトハ其ノ沿革ニ徴シ明ナル所ニシテ現ニ大正十一年「ゼノア」會議ニ於テ勞農政府代表ヨリ聯合國側ニ對シ舊露國政府預金ニシテ聯合國ノ銀行ニ現存スルモノノ支拂ヲ要求シタル際帝國政府ハ聯合國ト共同シテ舊露國政府ノ自國銀行ニ於ケル貸方勘定ハ自國政府ニ移轉スヘキ旨ノ對露通牒ヲ發セルノ事實アリ他日右預金ヲ勞農政府ニ對シ支拂フノ必要ヲ生スル際ニハ帝國政府對露債權ノ一部ト決濟處理スルヲ相當ト認メラルルモノナルヲ以テ右預金ノ處理ニ際シテハ政府ニ於テ國庫ノ利益ニ副フヘク最善ノ措置ヲ採リ遺漏ナキヲ期スヘキハ當然ノ責務ニ屬ス然ルニ今回橫濱正金銀行ニ於テ本件舊露國政府ニ對スル預金拂戻義務ヲ免レタルモノトシテ處理セルニ際シ其ノ利益ヲ同行ニ歸セシメ之ヲ引當トセル臨時國庫證券整理借入金ニ付同行ニ對シテ負擔セル償還義務ノ全部ヲ離脱セシメス五分利公債貳千六百餘萬圓ニ借換ヘタルハ措置當ヲ得タルモノニ非ス

右ニ關シ當局者ハ兩者ノ間法律上何等ノ關係ナキ旨辯明スト雖既述ノ如ク特種ノ沿革ヲ有シ且政府ニ於テモ爾來該預金ニ關シテハ同行ノ任意ノ處理ニ委セス對露債權ノ確保ニ資セシムルノ意圖ナリシニ拘ラス遽ニ本件ノ如キ處理ヲ爲サシメ法律上ノ關係ヲ云云スルカ如キハ妥當ノ措置ト認メ難ク縱ヒ他ノ關係ニ於テ同行ニ對シ一定ノ資金ヲ得セシムルノ要アリトスルモ此ノ如キ方法ニ依リ處理スルカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス

【辨明】 橫濱正金銀行ヨリ借入ニ係ル二分利付臨時國庫證券整理借入金七千二十八萬餘圓ハ沿革上同行ニ露國政府ノ預入シタル預金ト密接ノ關係アリト雖モ本借入金ニ依リ日本政府カ橫濱正金銀行ニ對シテ有スル債務ト橫濱正金銀行カ露國政府ニ對シテ有スル預金債務トハ法律上別箇ノ關係ニ立ツモノニシテ兩者間ニ不可分ノ關係アリト謂フヲ得ス從テ橫濱正金銀行カ露國政府ニ對シ預金拂戻ノ義務ヲ免レタリトスルモノヲ以テ直ニ日本政府ノ同行ニ對スル債務ヲ消滅セシムル理由トナスヲ得ス然レトモ橫濱正金銀行カ露國政府ニ對シ預金ノ拂戻ヲナス

ノ見込ナキニ至リタルトキハ政府トシテハ此ノ機會ニ於テ出來得ル限り有利ナル條件ヲ以テ該借入金ノ處理ヲ爲シ國庫ノ利益ヲ擁護ス可キハ勿論ナリ依テ政府ハ昭和七年一月同行ト協議ノ上五分利公債額面二千六百十九萬圓ヲ發行シ之カ收入金二千二百七十九萬餘圓ヲ以テ借入金七千二十八萬餘圓ノ債務全額ノ返済ヲ完了スルコトトセリ右ノ結果利拂年額及元金償還額ニ於テ國庫負擔額ヲ減少セシムルコトヲ得タルモノナリ

之ヲ要スルニ本件ハ國債整理基金特別會計法第五條ニ依リ借入金ヲ公債ニ借換ヘ以テ國庫ノ負擔ヲ輕減セシメタルモノニシテ公債政策上適當ナル措置ナリト認ム

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 警告

（前略）

本件ニ關シ決算委員會ニ於テ慎重審査ノ結果會計検査院ノ見解ハ問題ヲ正金銀行ニ對スル借入金ニ局限シテ之レヲ觀レハ至當ナルカ如キモ當局者ハ寧ロ我國ノ對露債權ヲ保持スルト同時ニ出來得ル限り有利ノ條件ヲ以テ借入金ノ處理ヲ爲シ以テ國庫ノ利益ヲ擁護セムトセルモノニシテ即チ借換處分ニヨリ何等對露債權ニ影響ヲ及ホスコトナク事實借入金ノ債務全額ニ相當スル程度ノ減額ヲ爲シ得タルハ其ノ處理亦諒トスヘキ點アリ要スルニ「ゼノア」會議ニ於ケル對露通牒及其ノ後ニ於ケル北京會商等ニ依リ我對露債權ニ對スル我國ノ主張ハ明白ナルモ其債權ノ確保ニ當リテハ尙今後ノ交渉ニ俟ツヘキモノニシテ本件正金銀行ニ對スル政府借入金ノ處理ニ付キ對露債權ニ對シ直ニ法律上ノ引當ヲ云々スルハ妥當ナリト云フヲ得ス仍テ政府ハ將來對露債權ノ處理ニ關シテハ飽迄國庫ノ利益ヲ保持スヘク最善ノ注意ヲ拂ヒ適當ナル機會ヲ捉ヘ適法適切ナル措置ヲ講シ萬遺漏ナキヲ期スルト共ニ正金銀行ニ對シテ交付セル五分利公債貳千六百餘萬圓ニ對シテハ出來ル限り速ニ有利ノ條件ニ借換フル等更ニ深甚ノ考慮ト適當ナル措置ニ出ツルコトヲ要ス

（參照） ○國債整理基金特別會計法(明治三十九年三月二日法律第六號)

第五條 政府ハ國債ノ整理又ハ償還ノ爲必要ナル額ヲ限度トシ起債スルコトヲ得

昭和七年度各特別會計決算未確定金額表

所管名稱	臺灣總督府			臺灣總督府			臺灣總督府			金額
	臨時	出	入	臨時	出	入	臨時	出	入	
款	臺灣總督府			臺灣總督府			臺灣總督府			證 明 廳
項	第二項 事業費			第二項 事業費			第二項 事業費			
項	補助費			補助費			補助費			金額
項	第十九項 灌溉排水工事費補助			第十九項 灌溉排水工事費補助			第十九項 灌溉排水工事費補助			
項	第一款 鐵道用品及工作費			第一款 鐵道用品及工作費			第一款 鐵道用品及工作費			
項	第一款 用品及工作費			第一款 用品及工作費			第一款 用品及工作費			
項	第二款 補助費			第二款 補助費			第二款 補助費			
項	第一款 地方費補助			第一款 地方費補助			第一款 地方費補助			
項	第一款 稅			第一款 稅			第一款 稅			
項	第二款 所 得 稅			第二款 所 得 稅			第二款 所 得 稅			
項	第三項 營業收益稅			第三項 營業收益稅			第三項 營業收益稅			
項	第八項 漁 業 稅			第八項 漁 業 稅			第八項 漁 業 稅			
項	第二款 官業及官有財產收入			第二款 官業及官有財產收入			第二款 官業及官有財產收入			
項	第六項 官有物貨下料			第六項 官有物貨下料			第六項 官有物貨下料			
項	第二款 樺 太 廳			第二款 樺 太 廳			第二款 樺 太 廳			
項	第二款 樺 太 廳			第二款 樺 太 廳			第二款 樺 太 廳			
項	第九款 諸 支 出 金			第九款 諸 支 出 金			第九款 諸 支 出 金			
項	第一項 諸 支 出 金 同			第一項 諸 支 出 金 同			第一項 諸 支 出 金 同			

(別表第三號表)

既往年度總決算未確定額中檢查確定金額表

年度	出入	部	昭 和 五 年 度			昭 和 四 年 度			昭 和 三 年 度			前年度檢査報告提出ノ際未確定額	爾後確定額	未確定殘額					
			入	出	合	入	出	合	入	出	合								
年度	出入	部	第一項	租	稅	計	第一項	所	得	稅	計	前年度檢査報告提出ノ際未確定額	爾後確定額	未確定殘額					
															1,101,152,310	797,760,230	1,040,615,110	310,386,490	1,060,637,180
															556,786,920	79,104,330	791,043,300	79,104,330	477,525,990
															363,333,100	300,000	2,533,100		1,100,000
															6,244,470	3,696,200	3,696,200	2,518,270	
															6,000,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000	
															392,572,950	90,092,960	3,011,479,990		
															20,333,860	1,369,186	1,369,186		
															422,886,810	103,784,820	309,101,990		
															722,246,500	239,853,420	472,393,080		
852,237,300	70,533,070	1,468,660																	
3,000,000	3,000,000	3,000,000																	
797,760,230	310,386,490	487,373,740																	

既往年度總決算未確定額中檢查確定金額表

既往年度總決算未確定額中檢査確定金額表

昭 和 五 年 度 入 歲	昭 和 五 年 度 出 歲		昭 和 五 年 度 入 歲 部 常 經	昭 和 五 年 度 出 歲 部 常 經			昭 和 五 年 度 入 歲 部 時 臨	昭 和 五 年 度 出 歲 部 時 臨	昭 和 五 年 度 入 歲 部 常 經	昭 和 五 年 度 出 歲 部 常 經	
	計	省 務 內		計	省 務 內	省 務 外					計
	第一項 所得稅		第一項 租稅								
	第三項 營業收益稅		第二項 館費								
	第四項 資本利子稅		第五項 裁判及登記諸費								
	第五項 相續稅		第六項 在外国居留民取締費								
	計	二,七二四,〇〇一八〇〇	計	二,七二四,〇〇一八〇〇							
	省務內	八六二,八五四〇六〇	省務內	八六二,八五四〇六〇							
	省務外	六,三六七三〇	省務外	六,三六七三〇							
	計	一,四九一,八三九一〇	計	一,四九一,八三九一〇							
	省務內	四,四七六三〇	省務內	四,四七六三〇							
	省務外	一,七〇〇,〇〇〇	省務外	一,七〇〇,〇〇〇							
	計	二,一七二,四七〇	計	二,一七二,四七〇							
	前年度檢査報告提出ノ際未確定額		前年度檢査報告提出ノ際未確定額								
	爾後確定額		爾後確定額								
	未確定殘額		未確定殘額								

昭 和 六 年 度 出 歲																		
部 常 經																		
省	軍	海	省 務 內			省 務 外												
			第一項 補助費	第二項 救護費補助	第三項 職業紹介所費補助	第一項 諸支出金	第二項 諸支出金	第三項 電信料	第四項 地所家屋借料	第五項 收容費	第六項 在外国居留民取締費	第七項 裁判及登記諸費	第八項 館費					
			第一項 俸給	第二項 軍事費	第三項 雜給及雜費	第四項 造船造兵及修理費	第一項 補助費	第二項 救護費補助	第三項 職業紹介所費補助	第四項 諸支出金	第五項 諸支出金	第六項 電信料	第七項 地所家屋借料	第八項 收容費	第九項 在外国居留民取締費	第十項 裁判及登記諸費	第十一項 館費	第十二項 在外公館給
			二,〇七五,二六四〇	二,六七〇,〇〇〇	五,六七一七三	一,八三三,二〇〇	二,一七〇,〇〇〇	二,六七〇,〇〇〇	一,一七〇,〇〇〇	四,六四六,七三四	四,六四六,七三四	六五,〇一六,九二八	四一,六五九,八一〇	二一,六四五,六七	七二,二九九,四八〇	三,四七〇,八三四	五〇,七二八,七〇二	四三,三四九,八一〇
			二,〇七五,二六四〇	二,六七〇,〇〇〇	五,六七一七三	一,八三三,二〇〇	二,一七〇,〇〇〇	二,六七〇,〇〇〇	一,一七〇,〇〇〇	四,六四六,七三四	四,六四六,七三四	六五,〇一六,九二八	四一,六五九,八一〇	二一,六四五,六七	七二,二九九,四八〇	三,四七〇,八三四	五〇,七二八,七〇二	四三,三四九,八一〇

既往年度總決算未確定額中檢査確定金額表

既往年度總決算未確定額中檢査確定金額表

昭和		和											年度			
		歲											出入			
部所管	款項	經常部											前年度檢査報告提出ノ際未確定額			
		臨		信		遞		省林農		省法司		省軍海				
第九項	經營費													二,四七六,〇九八	二,四七六,〇九八	
第三款	諸支出金															
第一款	諸支出金													二,五〇〇	二,五〇〇	
第三款	刑務費															
第二款	事務費													五八四六〇		五八四六〇
第三項	收容費													一,七五,一〇〇		一,七五,一〇〇
第一款	農林本省															
第三項	國際協約分擔金													二四,七六七九九	二四,七六七九九	
第一款	遞信本省															
第二款	遞信費													六〇〇,〇〇〇	六〇〇,〇〇〇	
第二款	遞信事業費													二,一六〇,〇〇〇	二,一六〇,〇〇〇	
計														三六〇,一九八二二	三六〇,二四二五二	一,七三三五六〇
第一款	營業繕費															
第一款	在外公館修築費													八,六三五七五〇	八,六三五七五〇	
第三款	補助費															
第一款	在外教育費補助													四一,五〇〇,〇〇〇	四一,五〇〇,〇〇〇	

六		年											年度			
		出											出入			
部所管	款項	臨時部											前年度檢査報告提出ノ際未確定額			
		省		內		務		省		務		內				
第四款	在外國居留民臨時保護取締費													八六,一七八二〇	八六,一七八二〇	
第二款	事務費															
第六款	移民保護獎勵費													八六,一〇〇,〇〇〇	八六,一〇〇,〇〇〇	
第一款	移民保護獎勵費															
第十款	滿洲事件費													一,〇五五,三五四七五六	一,〇五五,三五四七五六	
第一款	滿洲事件費															
第一款	補助費													五二六,二九九五〇	五二六,二九九五〇	
第四項	給付															
第二款	治水事業費													五九,二九九一一〇	五九,二九九一一〇	
第一款	事務費															
第四款	道路改良費													二四,七〇,〇〇〇	二四,七〇,〇〇〇	
第一款	道路改修及助成費															
第二十九款	復興事業費補助													二九四,〇七七〇〇〇	二九四,〇七七〇〇〇	
第二款	地方復興事業費補助															
第三十四款	失業救濟道路改良費													一三三,一〇,〇一〇	一三三,一〇,〇一〇	
第三款	補助費															
第一款	營業繕費													一六九,三四四〇〇〇	一六九,三四四〇〇〇	
第二款	中央諸官衙建築費															

既往年度總決算未確定額中檢査確定金額表

附

錄

項目	單位	數量	備註
1. 第一項	第一分隊	100	
2. 第二項	第二分隊	150	
3. 第三項	第三分隊	200	
4. 第四項	第四分隊	250	
5. 第五項	第五分隊	300	
6. 第六項	第六分隊	350	
7. 第七項	第七分隊	400	
8. 第八項	第八分隊	450	
9. 第九項	第九分隊	500	
10. 第十項	第十分隊	550	
11. 第十一項	第十一分隊	600	
12. 第十二項	第十二分隊	650	
13. 第十三項	第十三分隊	700	
14. 第十四項	第十四分隊	750	
15. 第十五項	第十五分隊	800	
16. 第十六項	第十六分隊	850	
17. 第十七項	第十七分隊	900	
18. 第十八項	第十八分隊	950	
19. 第十九項	第十九分隊	1000	
20. 第二十項	第二十分隊	1050	

歳入出		事 項	所管及部局	件 數	金 額
入	出				
		租税外歳入ノ徴收ニ關シ監督其ノ宜シキヲ得サルモノ	朝鮮總督府	(二)	昭和六年度 (三、七四六七一〇)
		物件ノ賣拂ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ	製鐵所	(一)	(三、七七五〇〇)
		官有地ノ貸付ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ	臺灣總督府	(一)	五、七四一、四七〇
		官有地ノ拂下ニ當リ價格ノ決定其ノ宜シキヲ得サルモノ	臺灣總督府	(一)	一、一九三、三五六〇三〇
		官有地ノ賣拂ニ當リ價格ノ評定其ノ宜シキヲ得サルモノ	臺灣總督府	(一)	一、二四五、〇九七五〇〇
		國有地ノ賣拂ニ當リ價格ノ評定其ノ宜シキヲ得サルモノ	樺太廳	(一)	五八七、三〇〇
		國有財產整理資金	特別會計	(三)	(二、八、五八九九三〇)
		國有財產整理資金	一般會計	(一)	昭和六年度 (一、三、四〇八、二七〇)
		國有財產整理資金	特別會計	(三)	(八、四六七、三八〇)
		製鐵所	朝鮮總督府	(一)	(二、八、五八九九三〇)
		朝鮮總督府	朝鮮總督府	(一)	五、七四一、四七〇
		合 計			(七、二六二、七〇〇)
					(三、七四六七一〇)

歳入出		事 項	所管及部局	件 數	金 額
入	出				
		豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ	臺灣總督府	(二)	一、一九三、九四三、三三〇
		虛構ノ事實ニ對シ支拂ヲ爲シタルモノ	樺太廳	(二)	六三、一二九、四八〇
			合 計	(四)	(一、三、一六〇、四〇五、五〇〇)
			特別會計	(一)	(一、三、三三六、六四〇)
			帝國鐵道	(一)	(一、四二八、四八八、二〇〇)
			一般會計	(三)	(三、一八八、〇四〇、二〇〇)
			帝國鐵道	(一)	一、二一〇、四三〇
			大藏省	(一)	一九九、〇九一、一五〇
			農林省	(一)	九四、六六四、〇〇〇
			工商省	(一)	一六、一七七、二〇〇
			特別會計	(三)	四五五、五二七、一五〇
			造幣局	(一)	二七、八七八、〇〇〇
			印刷局	(一)	八三、四四〇、〇〇〇
			大藏省預金部	(一)	一一、一四〇、〇〇〇
			米穀需給調節	(一)	四九、七七〇、〇〇〇
			製鐵所	(一)	四五、一六一、一五〇
			帝國鐵道	(一)	三三、七五〇、九三三、七七〇

昭和七年度豫算及法律勅令違背事項別件數並金額表

歳入出		事 項		所管及部局		件 數		金 額	
豫算ノ使用其ノ宜シキヲ得サルモノ		豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ		海軍省		一		六〇、五八二、五五〇	
工事ノ施行ニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ		工事ノ請負及物品ノ購入ニ關シ不當ナルモノ		海軍省		一		二、〇五五、九六〇	
				大藏省		二		二、六五六、〇〇〇	
				海軍省		一		一、四三二、四五〇	
				特別會計		二		三六、九八〇、五五〇	
				學校及圖書館		一		二、〇五五、九六〇	
				一般會計		一		三六五、一四九、九九〇	
				陸軍省		三		三〇、四二九、六三〇	
				遞信省		一		三九五、五七九、六二〇	
				特別會計		四		一、〇六三、九八七、五七〇	
				專賣局		一		八、六三四、五一〇	
				陸軍造兵廠		一		一、〇六三、九八七、五七〇	
				計		九		三四、三七四、七四七、二七〇	
				計		六		三四、八三〇、二七四、四二〇	

歳入出		出 費		所管及部局		件 數		金 額	
物件ノ製作ヲ請負ニ付スルニ當リ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ		鹽ノ回送計畫其ノ宜シキヲ得サルモノ		海軍工廠資金		一		一、三六、五一、一八〇	
				帝國鐵道		二		三、一七、九一、三二八	
				臺灣官設鐵道用品資金		一		一、三、三七四、四九〇	
				計		六		一、五四〇、四二一、〇三〇	
				一般會計		一〇		一、九三六、〇〇〇、六五〇	
				陸軍省		一		二八、八〇〇、〇〇〇	
				特別會計		一		九二、〇九七、七五〇	
				朝鮮鐵道用品資金		一		一二〇、八九七、七五〇	
				計		二		二、〇六、〇〇〇、〇〇〇	
				特別會計		二		二、〇六、〇〇〇、〇〇〇	
				專賣局		一		二、〇六、〇〇〇、〇〇〇	
				一般會計		二		四、三六、七三五、二七〇	
				內務省		二		二、一六三、三〇〇、〇〇〇	
				農林省		一		四、五八、三六八、二七〇	
				計		三		九、九一、九一〇、〇〇〇	
				特別會計		一		九、九一、九一〇、〇〇〇	
				朝鮮總督府		一		九、九一、九一〇、〇〇〇	

昭和七年度豫算及法律勅令違背事項別件數並金額表

昭和七年度豫算及法律勅令違背事項別件數並金額表

歳入出		事 項	所管及部局	件 數	金 額
歳 出					
補助金ノ支給ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ		合 計	臺灣總督府	一	一三八、九七〇、五三〇
其ノ他不當ナルモノ			合 計	(一) 四	五九七、三三八、八〇〇 (九、九一九、一〇〇)
		一 般 會 計		(一)	三六、一七五、七〇〇 (二、七六七、五五〇)
		內 務 省		(一)	昭和五年度 九一、一九〇、〇〇〇
		遞 信 省		(二)	一二七、三六五、七〇〇 (二、七六七、五五〇)
		特 別 會 計		(一)	四、五五一、七六〇
		學 校 及 圖 書 館		(一)	一三一、九一七、四六〇 (二、七六七、五五〇)
		合 計		(一) 四	
		一 般 會 計		(一)	四七、二九一、〇九七 (二、七六七、五五〇)
		內 務 省		(一)	二二、一七四、七五〇 (二、九、三四四、〇〇〇)
		大 藏 省		(一)	三九三、九四九、九九〇
		陸 軍 省		(四)	七四、九〇七、一〇〇
		海 軍 省		(二)	一一六、二九七、〇〇〇
		農 林 省		(二)	一六、一七二、〇〇〇
		商 工 省		(一)	一六、一七二、〇〇〇

歳入出		出 給	合 計	遞 信 省	特 別 會 計	造 幣 局	印 刷 局	專 賣 局	大 藏 省 預 金 部	陸 軍 造 兵 廠	海 軍 工 廠 資 金	學 校 及 圖 書 館	米 穀 需 給 調 節	製 鐵 所	帝 國 鐵 道	朝 鮮 總 督 府	朝 鮮 鐵 道 用 品 資 金	臺 灣 總 督 府	臺灣官設鐵道用品資金	計		
歳 入																						
				三																	一、二一、六一九、六三〇	
				(一) 七																		一、五六三、二〇三、八四〇 (一、七二一、一五五、〇〇)
																						二七、八七八、〇〇〇
																						八三、四四〇、〇〇〇
																						一、〇六三、九八七、五七〇 (二、九六七、三三三、三三)
																						一一、一四〇、〇〇〇
																						八、六三四、五一〇
																						一三六、五一、一八〇
																						六、六〇七、七二〇
																						四九、七七〇、〇〇〇
																						四五一、六一、一五〇
																						三四、〇七〇、〇五七、四八〇
																						(九、九一九、一〇〇)
																						九二、〇九七、七五〇
																						一三八、九七〇、五三〇
																						一三、三七四、四九〇
																						三六、一五四、〇五四、七三〇 (三、九五九、二四二、三三)

昭和七年度豫算及法律勅令違背事項別件數並金額表

昭和七年度豫算及法律勅令違背事項別件數並金額表

國債	歲出	歲入出	事	項	所管及部局	
					件數	金額
	臨時國庫證券整理借入金ニ關シ措置其ノ宜シキヲ得サルモノ		合	計	昭和大年度	
			合	計	(二)	三七七、一七、二五八、四
			天	藏	(一)	(二) 三、七、七、三
			一	般		
			歲	入	(一)	一、一、四、〇、八、二、七、〇
			內	務	(三)	(一) 八、六、四、六、七、三、八、〇
			大	藏	(二)	四、七、二、九、一、〇、九、七、〇
			陸	軍	(二)	(一) 七、六、七、五、五、〇、〇
			海	軍	(二)	(一) 二、一、七、四、七、一、五、〇
			農	林	(二)	(一) 六、九、三、四、四、〇、〇、〇
			商	工	(一)	三、九、三、九、四、九、九、〇
			遞	信	(三)	七、四、九、〇、七、一、〇、〇
			特	別	(二)	一、一、六、二、九、七、〇、〇、〇
			造	幣	(一)	一、六、一、七、七、二、〇、〇、〇
			印	刷	(一)	二、七、八、七、八、〇、〇、〇
			專	賣	(一)	八、三、四、四、〇、〇、〇、〇
			大	藏	(一)	一、〇、六、三、九、八、七、五、七、〇
			省	預	(一)	(二) 九、六、七、三、三、三、三、〇
			部	金	(一)	一、一、一、一、四、〇、〇、〇、〇
			計	總	(二)	(一) 六、七、五、六、一、二、一、〇、〇
			計	總	(三)	(三) 五、八、五、七、八、九、三、〇、〇

計

總	國	合	計	榊	臺灣	朝鮮	帝	製	米	學	海	陸	國
計	債	計	計	太	官	鐵	國	鐵	穀	校	軍	軍	有
八	(一)	(二)	(三)	廳	設	道	鐵	所	需	及	工	造	財
一				應	鐵	道	道	所	給	圖	廠	兵	產
					道	道	道		調	書	資	廠	整
					用	用	用		節	館	金	廠	理
					品	品	品						資
					資	資	資						金
					金	金	金						(三)
					一	一	一						(二) 八、五、八、九、九、三、〇
					三	三	三						八、六、三、四、五、一、〇
					一	一	一						一、三、六、五、一、一、八、〇
					三	三	三						六、六、〇、七、七、二、〇
					一	一	一						四、九、七、七、〇、〇、〇
					二	二	二						五、〇、三、三、五、二、九、七、〇
					四	四	四						三、四、〇、七、〇、〇、五、七、四、八、〇
					(一)	(一)	(一)						七、二、二、六、二、七、〇
					(二)	(二)	(二)						(一) 三、六、六、五、八、一、〇、〇
					(三)	(三)	(三)						九、二、〇、九、七、七、五、〇
					一	一	一						一、三、三、一、九、一、三、八、六、〇
					二	二	二						一、三、三、七、四、四、九、〇
					二	二	二						六、三、一、二、九、四、八、〇
					(二)	(二)	(二)						三、七、四、七、〇、〇、九、五、二、八、〇
					(三)	(三)	(三)						(一) 七、一、九、二、九、〇、六、三、〇
					(四)	(四)	(四)						三、九、一、四、五、七、〇、七、三、九、〇
					(五)	(五)	(五)						(二) 三、〇、七、七、九、九、三、〇
					八	八	八						三、九、六、七、六、二、一、五、三、八、三

昭和七年度豫算及法律勅令違背事項別件數並金額表

